

Tohoku University Fact Book 2011

東北大学概要 2011



東北大学

CONTENTS

〈はじめに〉

歴史的背景	01
使命と目指す大学の姿	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11
学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク	13

〈組織〉

運営組織	15
機構図	16
役員・主な役職者	17
総長選考会議	20
役員会	20
経営協議会	20
教育研究評議会	20
役員・職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所	25
学内共同教育研究施設等	25
特定事業組織	25
教養教育院	26
原子分子材料科学高等研究機構	26
総合技術部	26
情報シナジー機構	26
マイクロシステム融合研究開発センター	26
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター	26
附属図書館	26
病院	27

〈学生〉

学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数	32
学位授与者数	32
卒業後の状況	33
産業別就職者数	34
学友会	35

〈財務〉

平成22年度収入・支出予算	37
研究費等受入状況	37
土地・建物	39

〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉

世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)	41
COE 等	41
大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	44
教育	45
寄附講座・寄附研究部門	47
産学官連携ポリシー	47
産学連携	48
社会との連携協力	48
東北大学校友会	50

〈国際交流〉

学術交流協定締結等	53
研究者等受入状況	59
海外拠点	60
外国人留学生数	61
国際交流戦略の基本指針	63
国際的な大学連合への加盟	63

〈キャンパス〉

施設所在地一覧	65
建物配置図	67

歴史的背景(Historical Background)

東北大学は、1907年（明治40年）に、東京帝国大学、京都帝国大学に続く3番目の帝国大学として創立。設立当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、さらに1913年（大正2年）には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

東北帝国大学は、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、東北大学は、戦前からいち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

このような精神は、第二次世界大戦、戦後の成長期を経て、グローバル化が進行する現代にも生き生きと息づいている。

2005年12月27日

■東北大学の使命(Mission Statement)

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

■東北大学が目指す大学の姿(Towards Tohoku University 2016)

東北大学は、その使命を果すため、今後10年間で、次のような大学になることを目指す。

〈世界最高水準の総合研究拠点の確立〉

- 自然科学、人文科学、社会科学にわたる、幅広い分野において、世界をリードする研究成果を恒常的に創造する。
- 知識の加速度的集積と知識基盤型社会の要請に応えるために、たえず最適の研究組織の編成を図る。
- 国内外の主要研究機関との研究ネットワーク連携を整備すると共に、世界的総合研究拠点としての声望・評価を確立する。

〈社会の発展と新たな知の創造を担う指導的人材の養成〉

- 教員は、最先端の研究に従事しながら、その成果を教育に反映させる。
- すべての授業を「世界最高水準の教育拠点」にふさわしい内容と方法で提供する。
- 新たな知の創造に必要な基礎知識と社会の指導者としての責任意識を涵養する教育を実施する。
- 高度の国際性、専門知識、応用能力を備えた高度専門職業人を養成する教育プログラムと組織を整備・発展させる。

〈世界と地域への貢献〉

- 研究成果を社会に普及させ、指導的人材を社会に送り出すことによって、人類社会及び地域社会の発展に寄与する。
- 資質と意欲があれば、誰もが、国籍・人種・性別・年齢・宗教・社会階層等に関わりなく、平等に、学生・職員として受け入れられる機会を与える。
- 「実学尊重」の伝統を踏まえて、産学連携を推進し、サイエンスパークを整備する。
- 市民を対象にした教育や、専門知識を活用する相談サービス等の提供を、質・量ともに飛躍的に充実させる。
- キャンパスを市民との共生の場として開放すると共に、大学所蔵の図書・学術資料・施設等の知的資源・財産の社会的有効活用を図る。

〈世界最高水準の研究・教育拠点にふさわしい文化・環境・経営体制の整備〉

- 世界最高水準の研究・教育を活性化するような学内の文化を保持・発展させる。
- キャンパスの景観の美的統一と自然環境との調和を図り、知的創造活動にふさわしい雰囲気醸出する。
- 世界最高水準の研究・教育活動を柔軟且つ機動的に展開するのに必要な施設、人的・物的・財政的基盤及び経営体制を整える。

～世界リーディング・ユニバーシティに向けて～

東北大学は、1907年（明治40年）の建学以来、「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重の精神を基に、研究の成果を人類社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献してきました。その歴史は、東北大学に関わる人々のたゆまぬ挑戦を通して築き上げられてきたものです。



現代社会は、人間の生存と尊厳を揺るがす深刻な事態が次々と起こる予測困難な時代です。地球温暖化に伴う気候変動など自然破壊現象が相次ぎ、医療問題、エネルギー問題、食糧問題、貧困問題など、様々な複雑かつ困難な課題に直面しています。そして2011年3月11日に発生した東日本大震災の現実を直視したとき、学術研究に関わるすべての人が、「想定外」を専門家の責任解除とすることなく、その責務としてこの不条理を克服する答えを示すべく、決意を新たに挑戦しなければなりません。

今、東北大学は人類社会の発展に貢献するため、100年余という歴史の中で継承してきた知の蓄積と、絶えざる研究・教育の創造を通して、人類社会の諸課題に堂々と立ち向かう先導力となることこそ、「世界リーディング・ユニバーシティ」としての大学のミッションであると考えます。

このような「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指して、東北大学は2007年3月に「井上プラン2007」（東北大学アクションプラン）を策定し、教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織・経営という5つの柱ごとにそのアクションプランをとりまとめました。

その公表から4年。この間のプランへの取組により本学は着実に進化を続けています。一例を挙げると、教育面においては、海外インターンシップ制度の拡充を含めて、国際水準の教養教育カリキュラムの構築や実施体制の強化が進んでいます。国際化拠点整備事業（グローバル30）の採択を契機に、「Future Global Leadership」と名付けた英語での教育コースの準備・実施、本学の留学生を10年間で約1,300人から3,000人へ倍増する計画など、教育の国際化に向けた取組を加速しています。

研究面においては、卓越した知識と創造的総合知を備えた、21世紀の学術をリードする研究者を育成する「国際高等研究教育機構」を創設しました。世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムとして国際高等原子分子材料研究拠点構想が採択され、「原子分子材料科学高等研究機構」を発足させました。グローバルCOEの12件、最先端研究開発支援プログラムの2件の採択に加え、次世代研究開発支援プログラムに31件の課題が採択されました。

さらに、APLU、T.I.M.E.、AEARUへの加盟等を通じた国際的プレゼンスの向上、産学連携事業等を通じた新実業創出の先導、世界に開かれた国際水準キャンパスの整備、国際競争力を支える人事システムの構築、東北大学基金の創設、欧州大学協会による外部評価の実施など、オリジナリティに溢れた取組を進めています。このような取組は、本学ならではの誇りを感じており、本学の教職員、学生、そして同窓生の想いと行動がまとまって発揮されていることの表れと自負しています。

“2011年” — 研究・教育の拠点である大学は、空前のスケールで激変を続ける世界の潮流の中でその存在意義を問われています。社会から知の本源として人類社会への貢献を委託されている東北大学は、「研究第一」の神髄を發揮して、堅忍不拔な努力と真摯な研鑽によって絶えず新たな研究・教育を創造し、社会の公器として主体的な変革を見える形で実行していかなければなりません。

これからの東北大学が果たすべき使命、行うべき活動を皆様にご理解いただくとともに、多くの方々と共に果敢に挑戦を続けていくことにより、社会から信頼、尊敬、そして愛情を受けられる大学として人類社会の持続的発展に貢献して参る所存です。

2011年6月
東北大学総長 井上明久

【東日本大震災と東北大学の新たな挑戦～Brand New Tohoku University】

2011年3月11日に発生しました東日本大震災により被災された方々に、心からお見舞い申し上げますとともに、被災地で救援活動、復興支援に精励されている方々に敬意と感謝を申し上げます。また、海外から寄せられた心強い激励と迅速な救援活動に対しても、深く感謝を申し上げます。

今回の地震は観測史上最大級のもので、津波によって甚大な被害をもたらしたにもかかわらず、本学キャンパス内では安全が確保され、幸い人的被害はありませんでした。原子力発電所からの放射能物質の漏出という重大事故も注視していますが、現地より80km以上離れており、本学独自のモニタリングで放射能レベルは正常値にあります。

東北大学は、教育研究基盤の回復に総力を挙げて取り組み、2011年5月6日に新たな学年期をスタートいたしました。

歴史上かつてない未曾有の大震災に対しては、想定外を乗り越える「安全・安心社会の構築」を目指した新たな人類社会へのパラダイムシフトが求められています。東北大学は、研究者個人の専門家としての貢献はもちろん、世界の英知を結集する学術研究拠点として「東北大学災害復興新生研究機構」を創設し、復興・地域再生を先導する研究・教育・社会貢献活動に戦略的・組織的に取り組み、その成果を発信・実践していきます。新たな価値創造で次世代のために人と自然が共存し得る、安全・安心な社会づくりに邁進していくことを通じて、地域、日本、そして人類社会の新生に貢献してまいります。

歴代総長

歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代	澤柳 政太郎	明治44(1911)年 3月24日～ 大正 2(1913)年 5月 8日
第2代	北條 時敬	大正 2(1913)年 5月 9日～ 大正 6(1917)年 8月24日
(事務取扱)	小川 正孝	大正 6(1917)年 8月25日～ 大正 6(1917)年10月14日
第3代	福原 鏝二郎	大正 6(1917)年10月15日～ 大正 8(1919)年 6月20日
第4代	小川 正孝	大正 8(1919)年 6月21日～ 昭和 3(1928)年 6月14日
第5代	井上 仁吉	昭和 3(1928)年 6月15日～ 昭和6(1931)年 6月14日
第6代	本多 光太郎	昭和 6(1931)年 6月15日～ 昭和15(1940)年 5月30日
第7代	熊谷 岱蔵	昭和15(1940)年 5月31日～ 昭和21(1946)年 2月11日
第8代	佐武 安太郎	昭和21(1946)年 2月12日～ 昭和24(1949)年 3月31日
第9代	高橋 里美	昭和24(1949)年 4月 1日～ 昭和32(1957)年 6月30日
第10代	黒川 利雄	昭和32(1957)年 7月 1日～ 昭和38(1963)年 6月30日
第11代	石津 照璽	昭和38(1963)年 7月 1日～ 昭和40(1965)年10月 4日

代数	氏名	在任期間
(事務取扱)	元 村 勲	昭和40(1965)年10月 5日～ 昭和40(1965)年11月19日
第12代	本川 弘一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年 2月 2日
(事務取扱)	水野 弥彦	昭和46(1971)年 2月 3日～ 昭和46(1971)年 4月30日
第13代	加藤 陸奥雄	昭和46(1971)年 5月 1日～ 昭和52(1977)年 4月30日
第14代	前田 四郎	昭和52(1977)年 5月 1日～ 昭和58(1983)年 4月30日
第15代	石田 名香雄	昭和58(1983)年 5月 1日～ 平成 元(1989)年 4月30日
第16代	大谷 茂盛	平成 元(1989)年 5月 1日～ 平成 2(1990)年 9月30日
(事務取扱)	吉 永 馨	平成 2(1990)年10月 1日～ 平成 2(1990)年11月 5日
第17代	西澤 潤一	平成 2(1990)年11月 6日～ 平成 8(1996)年11月 5日
第18代	阿部 博之	平成 8(1996)年11月 6日～ 平成14(2002)年11月 5日
第19代	吉本 高志	平成14(2002)年11月 6日～ 平成18(2006)年11月 5日
第20代	井上 明久	平成18(2006)年11月 6日～



初代 澤柳政太郎



第2代 北條時敬



第3代 福原鏝二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志

沿革図

はつめい

明治9(1876)年8月
札幌農学校

明治40(1907)年 創立
明治40(1907)年9月 農科大学
明治40(1907)年6月 東北帝国大学

大正7(1918)年4月 分離独立・北海道帝国大学
大正8(1919)年4月 大学令 東北大学

昭和22(1947)年10月 昭和24(1949)年5月
東北大学 新制大学

明治44(1911)年1月 理科大学
大正8(1919)年4月 理学部

明治20(1887)年8月 第二高等中学校医学部
明治34(1901)年4月 仙台医学専門学校
明治45(1912)年4月 医学専門部
大正4(1915)年7月 医科大学
大正7(1918)年4月 廃止
大正8(1919)年4月 医学部
昭和14(1939)年5月 臨時附属医学専門部
昭和19(1944)年3月 附属医学専門部

明治39(1906)年4月 仙台高等工業学校
明治45(1912)年4月 工学専門部
大正8(1919)年5月 工学部
大正10(1921)年4月 分離独立・仙台高等工業学校
昭和19(1944)年4月 仙台工業専門学校



正門(昭和初期)



史料館(旧図書館・昭和初期)

昭和22(1947)年4月
農学部

大正11(1922)年8月 法文学部
昭和24(1949)年4月 3学部に分立

明治20(1887)年4月 第二高等中学校
明治27(1894)年6月 第二高等学校大学予科
大正8(1919)年4月 第二高等学校
昭和24(1949)年5月 教育学部
昭和24(1949)年5月 昭和25(1950)年3月 包括 廃止
昭和24(1949)年6月 分校第一教養部
昭和24(1949)年6月 分校第二教養部
昭和24(1949)年6月 分校第三教養部

明治19(1886)年4月 宮城県尋常師範学校
明治31(1898)年4月 宮城県師範学校
大正2(1913)年4月 宮城県女子師範学校
大正15(1926)年4月 宮城県女子専門学校
昭和18(1943)年4月 宮城師範学校
昭和24(1949)年5月 併合
昭和24(1949)年5月 包括
昭和24(1949)年6月 分校教育教養部
昭和32(1957)年4月 北分校に改称
昭和20(1945)年4月 宮城青年師範学校
昭和24(1949)年6月 包括



片平キャンパス 本部棟

大正8(1919)年5月 附属鉄鋼研究所
大正11(1922)年8月 金属材料研究所
昭和16(1941)年12月 抗酸菌病研究所
昭和18(1943)年10月 高速力学研究所
昭和10(1935)年9月 附属電気通信研究所
昭和19(1944)年1月 電気通信研究所
昭和14(1939)年8月 農学研究所
昭和16(1941)年3月 選鉱製錬研究所
昭和18(1943)年1月 科学計測研究所
昭和18(1943)年10月 昭和21(1946)年1月 航空医学研究所 廃止
昭和19(1944)年1月 非水溶液化学研究所
昭和20(1945)年1月 硝子研究所(ガラス研究所)

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

(平成23年5月現在)

ノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	部局(誉博…名誉博士)	受賞理由
1987年	ハンス・ハインリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、誉博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイエル	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田中耕一	工学研究科(客)、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	金属材料研究所(客)、誉博	巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見

文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受賞	文化功労賞	氏名	部局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本多光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡部金治郎	工学部	分割陽極マグネトロン等の極短波に関する研究
昭和21年		宮部金吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理学部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理学部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田辺元	理学部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晩翠	法文学部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	抗酸菌病研究所	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢部長克	理学部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法文学部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩原雄祐	理学部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増本量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工学部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法文学部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野副鉄男	理学部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医学部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀四郎	理学部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医学部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済学部	我が国の近代経済学の発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石原謙	文学部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理学部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医学部	X線CTの基礎となる回転断層撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法文学部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中西香爾	理学部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
平成21年	昭和61年	日沼頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
平成21年	平成15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
—	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
—	昭和33年	高橋里美	法文学部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
—	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
—	昭和35年	武内義雄	法文学部	中国哲学、特に老子に関する研究
—	昭和38年	原龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
—	昭和40年	真島正市	理学部	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
—	昭和45年	渡辺寧	電気通信研究所	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
—	昭和51年	坂村徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
—	昭和51年	沼知福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
—	昭和53年	武井武	理学部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
—	昭和60年	金倉圓照	文学部	インド哲学、特にインド中世精神史
—	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
—	平成4年	今井勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
—	平成4年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
—	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
—	平成12年	増本健	金属材料研究所	アモルファス金属に関する基礎的および応用的研究
—	平成15年	岩田靖夫	文学部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
—	平成18年	伊藤英覺	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
—	平成19年	小田滋	法学部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
—	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立

(平成23年5月現在)

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第4回 大正3年	日下部 四郎太	理学部	岩石の力学的研究
第6回 大正5年	本多 光太郎	金属材料研究所	鉄に関する研究
第7回 大正6年	真島 利行	理学部	漆の主成分に関する研究
○第8回 大正7年	柴田 桂太	農科大学	植物界に於けるフラヴォン体の研究
○第9回 大正8年	石原 純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第9回 大正8年	市川 厚一	農科大学	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○第11回 大正10年	布施 現之助	医学部	脳の解剖的研究
第11回 大正10年	松本 彦七郎	理学部	蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第15回 大正14年	畑井 新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△第15回 大正14年	曾 禰 武	金属材料研究所	気体の磁気係数の測定
△第17回 昭和2年	村上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○第18回 昭和3年	掛谷 宗一	理学部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回 昭和6年	宇井 伯寿	法文学部	印度哲学研究(全六巻)
第21回 昭和6年	増本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△第22回 昭和7年	宇田 新太郎	工学部	超短波長電波の研究
△第23回 昭和8年	野村 博	理学部	生薑の辛味成分の研究
第24回 昭和9年	田所 芳秋	理学部	耐火物に関する研究
第25回 昭和10年	海野 三朗	理学部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○第26回 昭和11年	吉田 富三	医学部	o-Amidoazotoluolの経口的投与による肝臓癌成生の実験的共同研究
△第26回 昭和11年	星野 敏雄	理学部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊田 多利男	臨時理化学研究所	鑄鉄の研究
○第31回 昭和16年	岡部 金治郎	工学部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾形 輝太郎	理学部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原 玉汝	医学部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第34回 昭和19年	小竹 無二雄	理学部	毒物の化学的研究
第34回 昭和19年	寺尾 博	農学研究所	水稻冷害の生理学的研究
○第36回 昭和21年	増本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島 正市	理科大学	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼知 福三郎	高速力学研究所	翼型のキャピテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川 鼎三	医学部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第42回 昭和27年	鮫島 實三郎	理学部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉 圓照	文学部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副 鐵男	理学部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成瀬 政男	工学部	歯車に関する研究(共同研究)
○第43回 昭和28年	吉田 富三	医学部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本川 弘一	医学部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉 圓照	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	山田 龍城	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	羽田野 伯猷	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	多田野 等観	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	赤堀 四郎	理学部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第46回 昭和31年	堀 一郎	文学部	我が国民間信仰史の研究
第47回 昭和32年	折茂 豊	法学部	国際私法の統一性
○第47回 昭和32年	中村 元	文学部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田 修	文学部	居庸関(共同研究)
○第50回 昭和35年	高田 修	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○第50回 昭和35年	宮 次男	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
第50回 昭和35年	神田 英蔵	金属材料研究所	低温度における凝縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第51回 昭和36年	佐藤 知雄	工学部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第51回 昭和36年	磯 永吉	農科大学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第53回 昭和38年	関口 春次郎	金属材料研究所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第57回 昭和42年	今井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第58回 昭和43年	加藤 愛雄	理学部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第58回 昭和43年	神立 誠	農学研究所	反芻胃内消化に対する纖毛虫類の機能に関する生化学的研究

*9ページにつづく

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第59回 昭和44年	宮田 光雄	法 学 部	西ドイツの精神構造
第59回 昭和44年	水島 宇三郎	農 学 部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第60回 昭和45年	山本 義一	理 学 部	大気放射の研究
第60回 昭和45年	広中 平祐	理 学 部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横堀 武夫	工 学 部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡本 耕造	医 学 部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西山 善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第64回 昭和49年	西澤 潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回 昭和50年	北住 敏夫	文 学 部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋口 陽一	法 学 部	近代立憲主義と現代国家
第65回 昭和50年	伊藤 英覺	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回 昭和50年	久保田 尚志	理 学 部	植物の苦味物質に関する研究
※ 第67回 昭和52年	高橋 信次	医 学 部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年	島田 謹二	法 文 学 部	日本における外国文学—比較文学研究—
第67回 昭和52年	赤祖父 俊一	理 学 部	磁気圏攪乱の研究
第69回 昭和54年	佐藤 武敏	法 文 学 部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀谷 哲治	薬 学 部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回 昭和56年	木下 彰	経 済 学 部	名子遺制の構造とその崩壊—農村における封建的労働の構造分析—
※ 第72回 昭和57年	角谷 静夫	理 学 部	函数解析の研究
第73回 昭和58年	増本 健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回 昭和62年	石田 名香雄	医 学 部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回 昭和62年	岩崎 俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第77回 昭和62年	坪井 善勝	工 学 部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎ 第78回 昭和63年	沼田 眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※ 第79回 平成元年	日沼 頼夫	歯 学 部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※ 第80回 平成2年	中西 香爾	理 学 部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工 学 部(併)	火災の構造および基礎的特性の研究
第82回 平成4年	鈴木 秀次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山本 肇	歯 学 部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多田 啓也	医 学 部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊地 吾郎	医 学 部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※ 第84回 平成6年	櫻井 英樹	理 学 部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸山 雍成	文 学 部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉原 高嶺	法 学 部	国際司法裁判制度
※ 第92回 平成14年	飯島 澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎ 第92回 平成14年	栗原 康	理 学 部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井上 明久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日向 康吉	農 学 部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自己識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡本 宏	医学系研究科	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠藤 實	理 学 部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※ 第94回 平成16年	安元 健	農 学 部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大野 英男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴木 厚人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第97回 平成19年	加藤 康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝彦	理 学 部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※ 第99回 平成21年	村上 哲見	文 学 部	宋词に関する研究
第99回 平成21年	川人 貞史	法学研究科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」
第100回 平成22年	大類 洋	生命科学研究科	新規生物機能性分子の創製とその応用に関する研究(共同研究)
◎ 第100回 平成22年	西平 守孝	生命科学研究科	沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究

○は恩賜賞のみ受賞

※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞

◎日本学士院賞エジンバラ公賞のみ受賞者

△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東京御成婚記念賞のみ受賞者

日本学士院会員

選定年月日	氏名	部局
大正 11年 12月 26日	本多 光太郎	金属材料研究所
大正 14年 6月 27日	藤原 松三郎	理学部
大正 14年 6月 27日	矢部長 克	理学部
大正 15年 5月 5日	真島 利行	理学部
昭和 7年 3月 2日	神津 椒祐	理学部
昭和 9年 7月 31日	掛谷 宗一	理学部
昭和 12年 3月 23日	加藤 武夫	理学部
昭和 12年 5月 8日	大類 伸	法文学部
昭和 12年 12月 1日	片山 正夫	理学部
昭和 14年 5月 27日	柴田 桂太	農科大学
昭和 17年 5月 30日	武内 義雄	法文学部
昭和 18年 12月 11日	熊谷 岱蔵	医学部
昭和 19年 7月 10日	萩原 雄祐	理学部
昭和 20年 12月 12日	宇井 伯寿	法文学部
昭和 21年 2月 8日	布施 現之助	医学部
昭和 22年 2月 5日	田辺 元	理学部
昭和 22年 6月 25日	阿部 次郎	法文学部
昭和 22年 6月 25日	窪田 忠彦	理学部
昭和 22年 7月 19日	河村 又介	法文学部
昭和 22年 10月 1日	雨宮 育作	農学研究所
昭和 24年 10月 5日	土居 光知	法文学部
昭和 25年 10月 6日	伊藤 誠哉	農科大学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操三	法文学部
昭和 25年 10月 6日	佐武 安太郎	医学部
昭和 25年 10月 6日	高橋 里美	法学部
昭和 25年 10月 6日	真島 正市	理科大学
昭和 25年 10月 6日	松村 松年	農科大学
昭和 25年 10月 6日	村上 武次郎	金属材料研究所
昭和 26年 10月 17日	小宮 豊隆	法文学部
昭和 26年 10月 17日	八木 秀次	工学部
昭和 28年 10月 22日	青木 正児	法文学部
昭和 28年 10月 22日	石原 謙	法文学部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言人	医学部
昭和 32年 3月 12日	田中 義麿	農科大学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫島 実三郎	理学部
昭和 35年 4月 12日	加藤 豊治郎	医学部
昭和 35年 4月 12日	勝本 正晃	法文学部
昭和 35年 4月 12日	増本 量	金属材料研究所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠司	金属材料研究所
昭和 38年 2月 12日	金倉 圓照	文学部
昭和 39年 2月 12日	赤堀 四郎	理学部
昭和 39年 2月 12日	坂村 徹	農科大学
昭和 39年 2月 12日	田岡 良一	法文学部
昭和 39年 2月 12日	中川 善之助	法文学部

選定年月日	氏名	部局
昭和 40年 1月 12日	岡崎 義恵	法文学部
昭和 40年 1月 12日	黒川 利雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉田 富三	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼知 福三郎	工学部
昭和 41年 11月 12日	小川 鼎三	医学部
昭和 41年 11月 12日	堀 経夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木村 亀二	法学部
昭和 42年 11月 13日	清宮 四郎	法文学部
昭和 43年 11月 12日	三宅 剛一	法文学部
昭和 43年 11月 12日	本川 弘一	医学部
昭和 45年 11月 12日	半沢 洵	農科大学
昭和 49年 12月 12日	小竹 無二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山本 義一	理学部
昭和 51年 11月 12日	広中 平祐	理学部(併)
昭和 51年 11月 12日	新明 正道	法文学部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高柳 真三	法文学部
昭和 52年 11月 12日	岡本 耕造	医学部
昭和 52年 11月 12日	永井 健三	工学部
昭和 52年 11月 12日	野副 鐵男	理学部
昭和 52年 11月 12日	柳瀬 良幹	法文学部
昭和 54年 11月 12日	今井 勇之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥山 四男	工学部
昭和 56年 12月 12日	高橋 信次	医学部
昭和 58年 12月 12日	矢島 羊吉	文学部
昭和 60年 11月 12日	加藤 愛雄	理学部
昭和 61年 12月 12日	熊谷 尚夫	経済学部
平成 元年 12月 12日	小川 環樹	法文学部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工学部(併)
平成 6年 12月 12日	伊藤 英覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小田 滋	法学部
平成 7年 12月 12日	西澤 潤一	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	松本 達郎	農学部
平成 8年 12月 12日	横堀 武夫	工学部
平成 9年 12月 12日	樋渡 宏一	理学部
平成 10年 12月 14日	鈴木 禄彌	法学部
平成 12年 12月 12日	樋口 陽一	法学部
平成 13年 12月 12日	源 了圓	文学部
平成 14年 12月 12日	金谷 治	文学部
平成 15年 12月 12日	岩崎 俊一	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田中 耕一	工学部
平成 18年 12月 12日	井上 明久	金属材料研究所
平成 22年 12月 13日	小山 貞夫	法学部
平成 22年 12月 13日	飯島 澄男	科学計測研究所

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

受賞年月日	氏名	職名等	受賞理由
平成21年 9月25日	中 沢 正 隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器 (EDFA) の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川 人 貞 史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加 藤 康 司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井 上 明 久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料『金属ガラス』を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小 柳 光 正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴 木 厚 人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小 谷 元 子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大 野 英 男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成22年度

氏名	職名等	受賞理由
清 水 悟	理学研究科准教授	全学教育科目「解析学」に関する授業において、毎回演習問題を解かせ理解を定着させる工夫をするなどした、優れた授業実践が学生から高く評価された。
佐 藤 英 明	農学研究科教授	アニマルテクノロジーに関わる多くの教科書及び実験指導書の出版を行い、それを活用した優れた講義を行い学生から高い評価を受けた。また、新領域開拓マインドをもつ人材育成に大きく貢献した。
中 尾 光 之	情報科学研究科教授	「産学協同による地域創造型アジアIT人材育成・定着プログラム (ASIST)」を活用し、アジアからの留学生への実践的ITスキルやビジネス日本語能力の修得等、独自のアイデアの実践を通じ本学の教育の国際化及び産学連携教育へ大きく貢献した。
高 木 敏 行	流体科学研究所教授	国際交流戦略室小委員会の活動を通じて、「諸外国との学術交流協定の締結」や「共同教育プログラム」、「サマープログラム」を積極的に推進し、本学の教育の国際交流の発展に大きく貢献した。
山 口 昌 弘	理学研究科教授	「東北大学デイ」事業及び国際広報に関する企画立案・実施を通じて、本学の教育・研究活動を積極的に海外に情報発信する等、留学生受け入れ等本学の教育の国際化の進展に大きく貢献した。
小 谷 元 子	理学研究科教授	

平成21年度

氏名	職名等
スペイン語教科部会	
石 田 秀 輝	環境科学研究科教授
古 川 柳 輝	環境科学研究科准教授
末 光 眞 希	学友会文化部長 (電気通信研究所教授)
永 富 良 一	学友会体育部長 (医工学研究科教授)

平成20年度

氏名	職名等
佐 藤 明	医学系研究科准教授
末 松 和 子	経済学研究科准教授

総長賞受賞者 平成22年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

五十嵐 ゆう子	文学部	柴 本 彩	歯学部
佐 藤 潤 美	文学部	板 井 恵 理	薬学部
白 井 裕 子	教育学部	伊 福 遠 太	工学部
高 田 晃	法学部	苗 村 伸 夫	工学部
米 満 祥 人	法学部	大 友 雄 平	工学部
王 文 博	経済学部	正 直 花 奈 子	工学部
高 橋 裕 美 子	経済学部	嶋 森 修 子	工学部
若 月 雄 大	経済学部	植 田 正 輝	工学部
高 橋 遼 理	理学部	中 島 悠 介	工学部
齊 藤 勇 祐	理学部	大 田 原 眞 祐	農学部
中 谷 貴 之	理学部	高 木 志 秋	農学部
荻 島 信 也	医学部		
齋 藤 明 博	医学部		

修士

岩 田 直 道	工学研究科
加 賀 谷 宗 仁	工学研究科
高 橋 広 樹	医工学研究科

専門職

今 井 智 文	法学研究科
---------	-------

博士

山 本 志 帆 子	文学研究科
横 谷 謙 次	教育学研究科
山 口 朋 泰	経済学研究科
荒 金 俊 行	理学研究科
水 瀬 賢 太	理学研究科
大 森 康 孝	理学研究科
黒 田 康 勝	医学系研究科

住 吉 晃	医学系研究科
安 彦 友 希	歯学研究科
佐 藤 茂 樹	薬学研究科
柴 田 圭	工学研究科
関 根 宗 一郎	工学研究科
遠 藤 将 起	工学研究科
今 井 崇 博	工学研究科
阿 部 健 一	工学研究科
福 田 睦	農学研究科
車 佳	国際文化研究科
Fadlullah Zubair MD.	情報科学研究科
北 西 健 一	生命科学研究科
張 沛 霖	環境科学研究科
行 場 絵 里 奈	教育情報学教育部

学友会長賞受賞者 平成22年度

4年間の競技成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

氏名	部・団体名	氏名	部・団体名
澤 野 正 樹	演劇部	寺 田 あ す か	弓道部
太 田 尚 吾	囲碁部	藤 本 貴 史	トリアスロン部
三 森 創 一 朗	オリエンテーリング部	加 藤 三 香 子	女子ラクロス部

学内表彰

沢柳賞受賞者

「沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

平成22年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
茂木 洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門	Affirmative Actionの正当化理由～過去向きのAffirmative Actionと将来志向のAffirmative Action～
阿部 比佐久	理学研究科再雇用職員	プロジェクト部門 (特別賞)	地域の子育て情報交換の場と父親の育児参加を促す企画としての科学普及活動
久利 美和	理学研究科助教		
村上 祐子	理学研究科准教授		

平成21年度

氏名	職名等	受賞部門
下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研究部門
青 葉 理 学	学 振 興 会	活動部門
女 性 と 労 働 研 究 会		プロジェクト部門
山 崎 都 病 院 医 員		活動部門(特別賞)

平成19年度

氏名	職名等	受賞部門
齊 藤 綾 美	教育学研究科特別研究員	研究部門
阿 部 未 央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会 同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門
尾 崎 博 美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
八 木 美 保 子	教育学研究科博士課程学生	
水 原 克 敏	教育学研究科教授	
生 田 久 美 子	教育学研究科教授	
ヤマモト リシア エミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)

平成20年度

氏名	職名等	受賞部門
東北大学川内けやき保育園保護者会		活動部門
トクルムソフ オソトヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)

平成18年度

氏名	職名等	受賞部門
吉 田 浩	経済学研究科助教	研究部門
遠 山 智 子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
鈴 木 美 智 子	理学研究科教育研究支援者	
玉 江 京 子	理学研究科助手	活動部門
海老原 孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	
橋 本 鈺 市	教育学研究科助教	

東北大学藤野先生賞受賞者(魯迅賞)

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

東北大学藤野先生賞

- 平成22年度該当なし
- 平成21年度該当なし
- 平成20年度該当なし
- 平成19年度該当なし
- 平成18年度該当なし

授賞年度	氏名	所属等
平成17年	孫 毅	北京魯迅博物館館長

東北大学魯迅賞

授賞年度	氏名	所属等
平成16年	顧 秉 林	清華大学総長

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

東北大学藤野先生記念奨励賞

授賞年度	氏名	部 局
平成22年	王 疆	経済学研究科
	陳 桂 興	理学研究科
	胡 春 艷	医学系研究科
	張 志 宇	工学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成21年	王 秀 芳	文学研究科
	珠 欄 其 格	医学系研究科
	馬 麟	工学研究科
	車 佳	国際文化研究科
	王 紅 霞	生命科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成20年	張 蓉 蓉	経済学研究科
	吳 哈 申	理学研究科
	王 保 珍	薬学研究科
	張 宇	工学研究科
	王 弘	情報科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成19年	王 冷 然	法学研究科
	劉 晨 光	理学研究科
	陳 銳	歯学研究科
	岳 新 艷	工学研究科
	袁 媛	農学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成18年	覃 慧 玲	理学研究科
	杜 璋	医学系研究科
	韓 峰	薬学研究科
	常 春 涛	工学研究科
	侯 旭 濱	生命科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成17年	薩 日 娜	文学研究科
	金 光 宇	経済学研究科
	代 紅 梅	医学系研究科
	俞 志 前	歯学研究科
	白 晨	工学研究科

学内表彰

本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

本多光太郎記念賞

平成22年度該当なし
平成21年度該当なし
平成20年度該当なし
平成19年度該当なし



本多記念館

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成18年	パトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工科学学校リヨン校 学長
	ルノー財団		
	アルベール・ブレヴォ	フランス	国際教育学研究センター 所長
	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校 学長
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工科学学校 国際交流部長
	アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所 教授

平成17年度該当なし

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官

東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、平成19年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

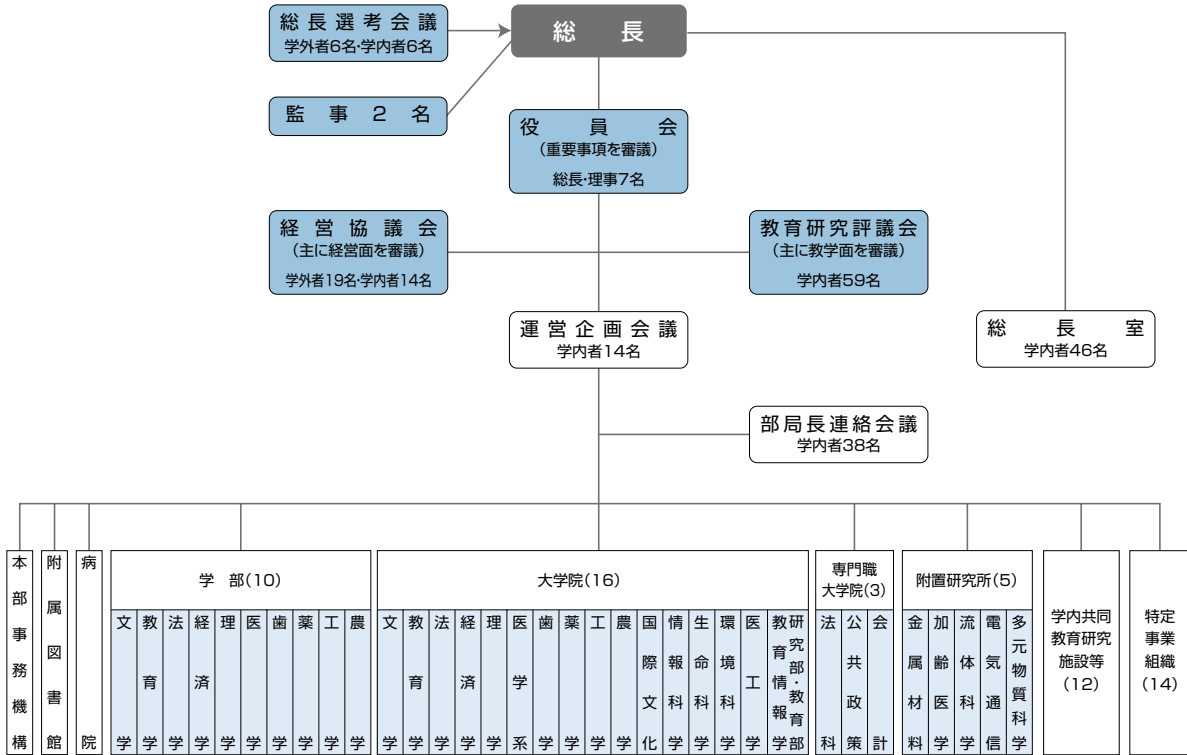
ロゴマークは、平成19年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、平成17年4月に制定されました。“creativity” “global” “tradition” をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。



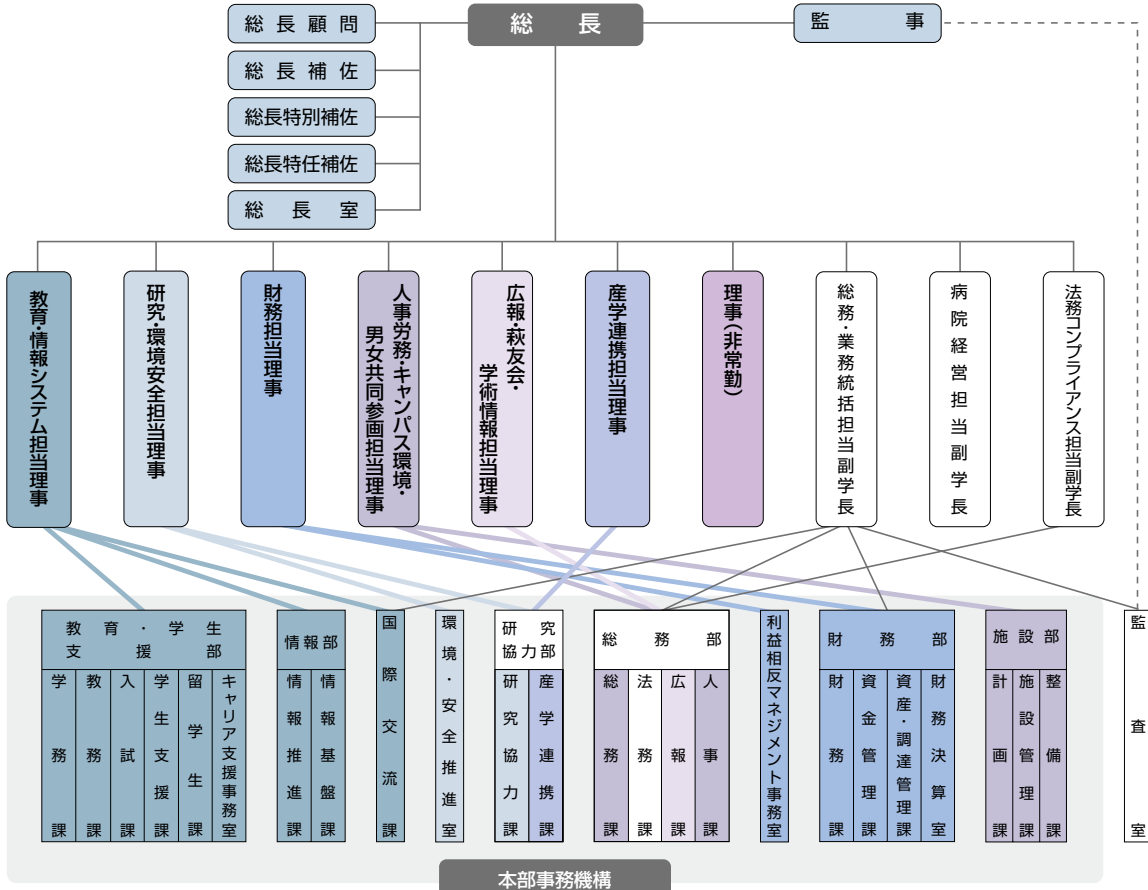


組
織

運営組織

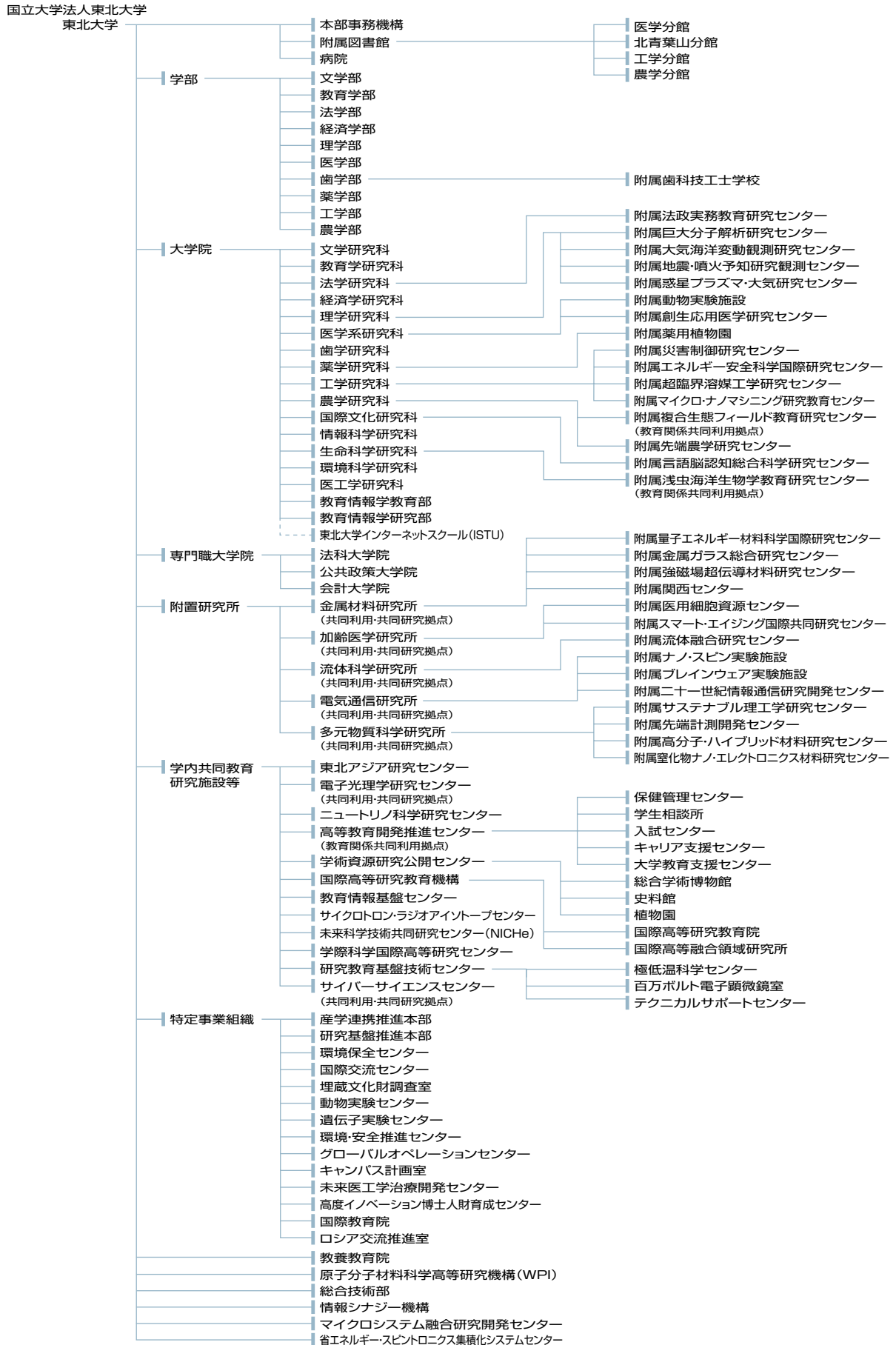


理事・副学長・本部事務機構



機構図

(平成23年4月1日現在)



組織

役員・主な役職者

総長	井上 明久	総長特別補佐 (国際交流担当)	櫻井 利夫
理事 (教育・情報システム担当)	根元 義章	総長特任補佐	木島 明博
理事 (研究・環境安全担当)	飯島 敏夫	総長特任補佐	兵頭 英治
理事 (財務担当)	植木 俊哉	総長特任補佐	阿部 宏
理事 (人事労務・キャンパス環境・男女共同参画担当)	甲野 正道	総長特任補佐	水原 克敏
理事 (広報・校友会・学術情報担当)	野家 啓一	総長特任補佐	秋田 次郎
理事 (産学連携担当)	数井 寛	総長特任補佐	藤本 雅彦
理事 (非常勤)	日野 正晴	総長特任補佐	小蘭 英雄
監事	中西 八郎	総長特任補佐	早坂 忠裕
監事 (非常勤)	西川 知久	総長特任補佐	山口 昌弘
副学長 (総務・業務統括担当)	北村 幸久	総長特任補佐	五十嵐 和彦
副学長 (病院経営担当)	里見 進	総長特任補佐	宮田 敏男
副学長 (法務コンプライアンス担当)	兵頭 英治	総長特任補佐	伊藤 貞嘉
総長補佐	山本 雅之	総長特任補佐	下瀬川 徹
総長補佐	内山 勝	総長特任補佐	高橋 信博
総長補佐	木島 明博	総長特任補佐	青木 淳賢
総長補佐	東谷 篤志	総長特任補佐	伊藤 彰則
総長特別顧問	吉川 弘之	総長特任補佐	小池 淳一
総長顧問	天野 平八郎	総長特任補佐	滝澤 博胤
総長顧問	大山 健太郎	総長特任補佐	西村 修
総長顧問	岡本 宏	総長特任補佐	湯上 浩雄
総長顧問	小田 滋	総長特任補佐	竹中 興慈
総長顧問	勝股 康行	総長特任補佐	青木 孝文
総長顧問	マーティ・キーナート	総長特任補佐	橋本 浩一
総長顧問	杉山 一彦	総長特任補佐	牟田 達史
総長顧問	リチャード・ダッシャー	総長特任補佐	吉岡 敏明
総長顧問	マスード・ベニア	総長特任補佐	宇田 聡
総長顧問	増本 健	総長特任補佐	佐藤 靖史
総長顧問	八島 俊章	総長特任補佐	大林 茂
総長特別補佐 (入試担当)	米本年 邦	総長特任補佐	枝松 圭一
総長特別補佐 (学生支援担当)	小田中 直樹	総長特任補佐	及川 英俊
総長特別補佐 (利益相反マネジメント担当)	西澤 昭夫	総長特任補佐	奥村 誠
総長特別補佐 (校友会担当)	圓山 重直	総長特任補佐	小谷 元子
総長特別補佐 (男女共同参画担当)	大隅 典子		
■ 本部			
【総長室】		【財務部】	
総長室長	北村 幸久	財務部長	伊豆 仁志
事務主幹	大川 俊治	財務課長	大島 英夫
総長室主任経営企画スタッフ	関根 仁博	資金管理課長	藤原 昇
総長室主任経営企画スタッフ	内山 博之	資産・調達管理課長	志田 昌幸
総長室主任経営企画スタッフ	佐藤 義幸	【研究協力部】	
総長室主任経営企画スタッフ	伊豆 仁志	研究協力部長	村岡 利光
総長室主任経営企画スタッフ	佐々木 清浩	研究協力課長	伊藤 保春
		産学連携課長	玉水 敏明
【総務部】		【施設部】	
総務部長	高橋 秀市	施設部長	西川 和慶
次長	齋藤 仁	次長	川田 裕
総務課長	米本 善則	計画課長	川田 裕
法務課長	齋藤 仁	施設管理課長	天野 良治
広報課長	佐藤 吉和	整備課長	高橋 勝治
人事課長	植垣 健一	【情報部】	
【教育・学生支援部】		情報推進課長	佐々木 清浩
教育・学生支援部長	上口 孝之	情報基盤課長	千葉 実
学務課長	柳橋 雪男	【国際交流課】	
教務課長	斉野 貴浩	国際交流課長	平田 純一
入試課長	信坂 健	【環境・安全推進室】	
学生支援課長	白崎 隆典	環境・安全推進室長	武内 由美
留学生課長	角田 賢次	【監査室】	
		監査室長	金子 雅人
■ 大学院研究科・学部等及び附属施設			
【文学研究科・文学部】		【教育学研究科・教育学部】	
文学研究科長・文学部長	大淵 憲一	教育学研究科長・教育学部長	宮腰 英一
文学研究科副研究科長・文学部副学部長	座小田 豊	教育学研究科副研究科長・教育学部副学部長	本郷 一夫
文学研究科副研究科長・文学部副学部長	森本 浩一	事務長	菅原 正記
事務長	佐藤 克義		

(平成23年7月1日現在)

■ 大学院研究科・学部等及び附属施設	
【法学研究科・法学部】	
法学研究科長・法学部長	水野紀子
法学研究科副研究科長・法学部副学部長	樺島博志
法学研究科副研究科長・法学部副学部長	小粥太郎
法科大学院長	佐藤隆之
公共政策大学院長	牧原出
法政実務教育研究センター長	大西仁
事務長	畠山一典
【経済学研究科・経済学部】	
経済学研究科長・経済学部長	大滝精一
経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長	照井伸彦
経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長	平本厚
会計大学院長	青木雅明
事務長	鈴木孝
【理学研究科・理学部】	
理学研究科長・理学部長	福村裕史
理学研究科副研究科長	今泉俊文
理学研究科副研究科長	日笠健一
理学研究科副研究科長	早坂忠裕
巨大分子解析研究センター長	寺田眞浩
大気海洋変動観測研究センター長	中澤高清
地震・噴火予知研究観測センター長	海野徳仁
惑星プラズマ・大気研究センター長	岡野章一
事務部長	影山洋正
総務課長	石井俊明
【医学系研究科・医学部】	
医学系研究科長・医学部長	山本雅之
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	伊藤貞嘉
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	五十嵐和彦
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	進藤千代彦
動物実験施設長	笠井憲雪
創生応用医学研究センター長	宮田敏男
事務長	齋藤嘉信
【歯学研究科・歯学部】	
歯学研究科長・歯学部長	佐々木啓一
歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長	小坂健
歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長	高橋信博
歯科技工士学校長	菊池雅彦
事務長	丸山正彦
【薬学研究科・薬学部】	
薬学研究科長・薬学部長	大島吉輝
薬学研究科副研究科長・薬学部副学部長	安齋順一
薬学研究科副研究科長・薬学部副学部長	根東義則
薬用植物園長	大島吉輝
事務長	朝倉知明
■ 附置研究所及び附属施設	
【金属材料研究所】	
金属材料研究所長	新家光雄
金属材料研究所副研究所長	高梨弘毅
金属材料研究所副研究所長	古原忠
量子エネルギー材料科学国際研究センター長	四電樹男
金属ガラス総合研究センター長	後藤孝
強磁場超伝導材料研究センター長	渡邊和雄
関西センター長	正橋直哉
事務部長	佐藤義幸
総務課長	星雄藏
経理課長	阿部芳浩
【加齢医学研究所】	
加齢医学研究所長	福田寛
加齢医学研究所副研究所長	佐竹正延
医用細胞資源センター長	佐藤靖史
スマート・エイジング国際共同研究センター長	川島隆太
事務長	渡見裕
【工学研究科・工学部】	
工学研究科長・工学部長	内山勝
工学研究科副研究科長	原信義
工学研究科副研究科長	田中仁
工学研究科副研究科長	金井浩
災害制御研究センター長	今村文彦
エネルギー安全科学国際研究センター長	三浦英生
超臨界溶媒工学研究センター長	猪股野宏
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	桑野博喜
事務部長	佐藤一永
総務課長	小野寺泰央
教務課長	藤王勉
経理課長	田屋修一
【農学研究科・農学部】	
農学研究科長・農学部長	山谷知行
農学研究科副研究科長	國分牧衛
農学研究科副研究科長	中井裕
複合生態フィールド教育研究センター長	齋藤雅典
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	陶山佳久
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	池田実
先端農学研究センター長	中井裕
事務長	小林忠雄
【国際文化研究科】	
国際文化研究科長	小林文生
国際文化研究科副研究科長	布田勉
言語脳認知総合科学研究センター長	宮本正夫
事務長	熊谷功
【情報科学研究科】	
情報科学研究科長	亀山充隆
情報科学研究科副研究科長	出口光一郎
情報科学研究科副研究科長	徳山豪
事務長	石田秀明
【生命科学研究科】	
生命科学研究科長	高橋秀幸
生命科学研究科副研究科長	山元大輔
浅虫海洋生物学教育研究センター長	占部城太郎
事務長	早坂憲司
【環境科学研究科】	
環境科学研究科長	田路和幸
環境科学研究科副研究科長	高橋弘
【医工学研究科】	
医工学研究科長	松木英敏
医工学研究科副研究科長	永富良一
【教育情報学教育部】	
教育情報学教育部長	渡部信一
【教育情報学研究部】	
教育情報学研究部長	渡部信一
【流体科学研究所】	
流体科学研究所長	早瀬敏幸
流体科学研究所副研究所長	高木敏行
流体融合研究センター長	大林茂
事務長	草刈芳実
【電気通信研究所】	
電気通信研究所長	中沢正隆
電気通信研究所副研究所長	庭野道夫
電気通信研究所副研究所長	塩入論
ナノ・スピン実験施設長	室田淳一
ブレインウェア実験施設長	中島康治
21世紀情報通信研究開発センター長	村岡裕明
事務長	佐藤巖
【多元物質科学研究所】	
多元物質科学研究所長	河村純一
多元物質科学研究所副研究所長	及川英俊
多元物質科学研究所副研究所長	佐藤次雄

役員・主な役職者

(平成23年7月1日現在)

組織

■ 附置研究所及び附属施設			
サステナブル理工学研究センター長	有山達郎	事務部長	芳賀英子
先端計測開発センター長	進藤大輔	総務課長	及川義孝
高分子・ハイブリッド材料研究センター長	宮下徳治	経理課長	小林正行
窒化物ナノ・エレクトロニクス材料研究センター長	山根久典		
■ 附属図書館及び分館			
図書館長	野家啓一	医学分館長	柴原茂樹
図書館副館長	柳澤輝行	事務長	長井孝行
事務部長	片山俊治	北青葉山分館長	岩淵好治
総務課長	米澤誠	工学分館長	宮城俊彦
情報管理課長	松井好次	農学分館長	加藤和雄
情報サービス課長	小陳左和子		
■ 病院			
病院長	里見進	副病院長	菊池雅彦
総括副病院長	島内英俊	事務部長	多田晴観
副病院長	下瀬川徹	総務課長	富田有一
副病院長	八重樫伸生	経営管理課長	宇和野周一
副病院長	荒井陽一	経理課長	及川良房
副病院長	五十嵐薫	医事課長	佐藤俊男
■ 学内共同教育研究施設等			
東北アジア研究センター長	佐藤源之	史料館長	佐藤伸宏
東北アジア研究センター副センター長	岡洋樹	植物園長	中静透
東北アジア研究センター副センター長	奥村誠	国際高等研究教育機構長	福田寛
電子光物理学研究センター長	清水肇	国際高等研究教育院長	井原聰
ニュートリノ科学研究センター長	井上邦雄	国際高等融合領域研究所長	福田寛
高等教育開発推進センター長	木島明博	教育情報基盤センター長	静谷啓樹
高等教育開発推進センター副センター長	関内隆	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長	石井慶造
保健管理センター所長	飛田渉	未来科学技術共同研究センター長	内山勝彦
保健管理センター副所長	木内喜孝	未来科学技術共同研究センター副センター長	長谷川史彦
学生相談所長	木島明博	未来科学技術共同研究センター副センター長	関根仁博
学生相談所副所長	吉武清實	学際科学国際高等研究センター長	新家光雄
入試センター長	米本年邦	研究教育基盤技術センター長	飯島敏夫
キャリア支援センター長	木島明博	極低温科学センター長	青木晴善
大学教育支援センター長	羽田貴史	百万ボルト電子顕微鏡室長	今野彦夫
大学教育支援センター副センター長	関根勉	テクニカルサポートセンター長	飯島敏彦
学術資源研究公開センター長	中静透	サイバーサイエンスセンター長	小林広明
総合学術博物館長	柳田俊雄	サイバーサイエンスセンター副センター長	曾根秀昭
■ 特定事業組織			
産学連携推進本部長	数井寛	環境・安全推進センター長	飯島敏夫
産学連携推進本部副本部長	和田直人	グローバルオペレーションセンター長	北村幸久
産学連携推進本部副本部長	田中信義	キャンパス計画室長	杉山丞
研究基盤推進本部長	飯島敏夫	未来医工学治療開発センター長	里見進
環境保全センター長	大井秀一	未来医工学治療開発センター副センター長	八重樫伸生
国際交流センター長	根元義章	高度イノベーション博士人財育成センター長	根元義章
国際交流センター副センター長	重野芳人	国際教育院長	根元義章
埋蔵文化財調査室長	阿子島香	ロシア交流推進室長	木島明博
動物実験センター長	山本雅之	ロシア交流推進室副室長	工藤純一
遺伝子実験センター長	田村眞理		
■ 教養教育院			
教養教育院長	根元義章		
■ 原子分子材料科学高等研究機構			
原子分子材料科学高等研究機構長	山本嘉則	事務部門長	岩本渉
原子分子材料科学高等研究機構副機構長	小谷元子		
■ 総合技術部			
総合技術部長	甲野正道	総合技術部副部長	柴崎義信
■ 情報シナジー機構			
情報シナジー機構長	鈴木陽一	情報シナジー機構副機構長	曾根秀昭
情報シナジー機構副機構長	小林広明		
■ マイクロシステム融合研究開発センター			
マイクロシステム融合研究開発センター長	江刺正喜	マイクロシステム融合研究開発センター副センター長	小野崇人
■ 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター			
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長	大野英男	省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター副センター長	笠井直記
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター副センター長	遠藤哲郎		

総長選考会議・役員会・経営協議会・教育研究評議会

(平成23年4月1日現在)

総長選考会議

学外委員	
天野平八郎	社団法人宮城県自動車会議所会長
岸輝雄	独立行政法人物質・材料研究機構 NIMS 顧問
黒田玲子	東京大学大学院総合文化研究科教授
高橋宏明	東北電力株式会社取締役会長 東北経済連合会会長
中村久三	株式会社アルバック代表取締役会長
東哲郎	東京エレクトロン株式会社代表取締役会長

学内委員	
山本雅之	総長補佐 (医学系研究科長)
内山勝	総長補佐 (工学研究科長)
宮腰英一	教育学研究科長
佐々木啓一	歯学研究科長
山谷知行	農学研究科長
早瀬敏幸	流体科学研究所長

役員会

井上明久	総長
根元義章	理事
飯島敏夫	理事
植木俊哉	理事

甲野正道	理事
野家啓一	理事
数井寛	理事
日野正晴	理事

経営協議会

学外委員	
天野平八郎	社団法人宮城県自動車会議所会長
安西祐一郎	慶應義塾大学学事顧問・理工学部教授
奥山恵美子	仙台市長
小野元之	独立行政法人日本学術振興会理事長
小野寺正	KDDI 株式会社代表取締役会長
岸輝雄	独立行政法人物質・材料研究機構 NIMS 顧問
久保田隆	千代田化工建設株式会社代表取締役社長
黒田玲子	東京大学大学院総合文化研究科教授
杉田亮毅	株式会社日本経済新聞社取締役会長
鈴木茂晴	株式会社大和証券グループ本社取締役会長
清野智	東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長
高橋宏明	東北電力株式会社取締役会長 東北経済連合会会長
遠山敦子	公益財団法人トヨタ財団理事長 公益財団法人パナソニック教育財団理事長 元文部科学大臣
中村久三	株式会社アルバック代表取締役会長
東哲郎	東京エレクトロン株式会社代表取締役会長
古河直純	日本ゼオン株式会社代表取締役社長
マーク・デュノワイエ	グラクソ・スミスクライン株式会社代表取締役会長
丸森仲吾	仙台商工会議所顧問 七十七銀行相談役
村井嘉浩	宮城県知事

学内委員	
井上明久	総長
根元義章	理事
飯島敏夫	理事
植木俊哉	理事
甲野正道	理事
野家啓一	理事
数井寛	理事
日野正晴	理事
北村幸久	副学長 (総長室長)
里見進	副学長 (病院長)
兵頭英治	副学長 (総長室副室長)
山本雅之	総長補佐 (医学系研究科長)
内山勝	総長補佐 (工学研究科長)
木島明博	総長補佐 (総長室副室長)

教育研究評議会

井上明久	総長	佐々木啓一	歯学研究科長	伊藤貞嘉	医学系研究科教授
根元義章	理事	大島吉輝	薬学研究科長	高橋信博	歯学研究科教授
飯島敏夫	理事	山谷知行	農学研究科長	安齋順一	薬学研究科教授
植木俊哉	理事	小林文生	国際文化研究科長	大村達夫	工学研究科教授
甲野正道	理事	亀山充隆	情報科学研究科長	國分牧衛	農学研究科教授
野家啓一	理事	高橋秀幸	生命科学研究所長	布田勉	国際文化研究科教授
数井寛	理事	田路和幸	環境科学研究科長	出口光一郎	情報科学研究科教授
日野正晴	理事	松木英敏	医工学研究科長	山元大輔	生命科学研究所教授
北村幸久	副学長 (総長室長)	新家光雄	金属材料研究所長	吉岡敏明	環境科学研究科教授
里見進	副学長 (病院長)	福田寛	加齢医学研究所長	出江紳一	医工学研究科教授
兵頭英治	副学長 (総長室副室長)	早瀬敏幸	流体科学研究所長	高梨弘毅	金属材料研究所教授
山本雅之	総長補佐 (医学系研究科長)	中沢正隆	電気通信研究所長	高井俊行	加齢医学研究所教授
内山勝	総長補佐 (工学研究科長)	河村純一	多元物質科学研究所長	圓山重直	流体科学研究所教授
木島明博	総長補佐 (総長室副室長)	渡部信一	教育情報学研究所長	大野英男	電気通信研究所教授
東谷篤志	総長補佐	佐藤源之	東北アジア研究センター長	及川英俊	多元物質科学研究所教授
大淵憲一	文学研究科長	座小田豊	文学研究科教授	島内英俊	病院総括副院長
宮腰英一	教育学研究科長	上埜高志	教育情報学研究所長	関内隆	教育基盤施設群教授
水野紀子	法学研究科長	渡辺達徳	法学研究科教授	石井慶造	学術基盤施設群教授
大滝精一	経済学研究科長	照井伸彦	経済学研究科教授	福田寛	国際高等研究教育機構長
福村裕史	理学研究科長	大谷栄治	理学研究科教授	山本嘉則	原子分子材料科学高等研究機構長

役員・職員数

(平成23年5月1日現在)

部 局	職 種	総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
総長		1										1
理事			6 (1)									7
監事				1 (1)								2
本部事務機構	総長室								1	1	10	11
	総務部							1		1	81	82
	教育・学生支援部									0	92	92
	財務部									0	82	82
	研究協力部									0	22	22
	施設部									0	46	46
	情報部									0	25	25
	国際交流課									0	9	9
	環境・安全推進室									0	6	6
	利益相反マネジメント事務局								1	1	1	2
	監査室									0	7	7
文学部・文学研究科					40	37		18	2	97	18	115
教育学部・教育学研究科					15	15		2		32	11	43
法学部・法学研究科					30	25		7	7	69	16	85
経済学部・経済学研究科					40	20	1		4	65	17	82
理学部・理学研究科					76	81	5	109	3	274	59	333
医学部・医学系研究科					91	70	28	110	28	327	40	367
歯学部・歯学研究科					23	9	8	56		96	15	111
薬学部・薬学研究科					20	16	6	27	7	76	16	92
工学部・工学研究科					119	107	2	134	6	368	96	464
農学部・農学研究科					41	38		38	6	123	24	147
国際文化研究科					30	21				51	11	62
情報科学研究科					36	30	2	30	1	99	13	112
生命科学研究科					26	18	2	35	1	82	12	94
環境科学研究科					21	19		17	2	59	7	66
医工学研究科					18	7		3	1	29	4	33
教育情報学研究部					4	1	1	3		9		9
金属材料研究所					26	34	1	56	2	119	36	155
加齢医学研究所					19	13	4	25		61	14	75
流体科学研究所					16	9	5	12		42	11	53
電気通信研究所					27	17		30		74	14	88
多元物質科学研究所					41	29	5	62		137	24	161
図書館	図書館									0	34	34
	医学分館									0	8	8
	北青葉山分館									0	4	4
	工学分館									0	9	9
	農学分館									0	4	4
病院					5	17	62	220	12	316	1,561	1,877
東北アジア研究センター					10	6		7	1	24		24
電子光物理学研究センター					3	3		7		13	0	13
ニュートリノ科学研究センター					1	5	1	6		13	0	13
高等教育開発推進センター					13	12	16	15	2	58	9	67
学術資源研究公開センター					3	4		6		13	1	14
国際高等研究教育機構					1	1		17		19	2	21
教育情報基盤センター					2	3		2	1	8	0	8
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター					3	4		7	3	17	1	18
未来科学技術共同研究センター					9	14		13	1	37	4	41
学際科学国際高等研究センター					3	4				7	0	7
サイバーサイエンスセンター					4	4		1		9		9
産学連携推進本部										0	5	5
環境保全センター					1			3	2	6	2	8
国際交流センター					3		1			4	1	5
埋蔵文化財調査室										0	3	3
環境・安全推進センター					1	1		1		3	0	3
グローバルオペレーションセンター										0	0	0
キャンパス計画室										0	3	3
未来工学治療開発センター					3	1	1	1	7	13	7	20
高度イノベーション博士人材育成センター										0	1	1
国際教育院					1	10				11	1	12
教養教育院					4					4		4
原子分子材料科学高等研究機構					19	10	2	29	30	90	18	108
総合技術部										0	448	448
情報シナジー機構										0	2	2
マイクロシステム融合研究開発センター						1		4		5	2	7
省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター					4			3		7	2	9
合 計		1	7	2	852	716	153	1,117	131	2,969	2,971	5,950

※再雇用職員含む。
 ※休職者含む。
 ※ () は非常勤で外数。

学部

文学部 1学科5科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	人 文 社 会 学 科	5	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
教育学部 1学科2科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	教 育 科 学 科	2	教育学、教育心理学
法学部 1学科1科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	法 学 科	1	法学・政治学
経済学部 2学科6科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	経 済 学 科 経 営 学 科	3 3	基礎理論、応用経済、経済史 経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	数 学 科	1	数学
	物 理 学 科	1	物理学
	宇 宙 地 球 物 理 学 科	1	宇宙地球物理学
	化 学 科	1	化学
	地 圏 環 境 科 学 科	1	地圏環境科学
	地 球 惑 星 物 質 科 学 科 生 物 学 科	1 1	地球惑星物質科学 生物学
医学部 2学科15科目 7講座	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	医 学 科 保 健 学 科	15 7 (講座)	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、 内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、 感覚器病学、麻酔・救急医学、社会医学 基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、 放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	歯 学 科	5	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、 口腔保健発育学、口腔病態基礎外科学
薬学部 2学科2科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	薬 学 科 創 薬 科 学 科	1 1	薬学 創薬科学
工学部 5学科47科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	機 械 知 能 ・ 航 空 工 学 科	15	知的デザイン学、エネルギーシステム工学、材料メカニクス、ナノテクノロジー、 シミュレーション科学、スペーステクノロジー、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、 粒子ビーム工学、バイオメカニクス、ロボティクス、太陽地球システム・エネルギー学、 自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学
	情 報 知 能 シ ス テ ム 総 合 学 科	11	電磁工学、電力システム工学、通信システム工学、波動通信工学、 電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、知能情報処理工学、 システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	8	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、 プロセス要素工学、プロセスシステム工学、生体分子化学、生体機能化学
	材 料 科 学 総 合 学 科	7	創形創質プロセス学、宇宙材料学、材料環境学、ナノ材料物性学、 情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	建 築 ・ 社 会 環 境 工 学 科	6	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、 建築計画学、建築構成学
農学部 2学科13科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	生 物 生 産 科 学 科 応 用 生 物 化 学 科	8 5	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、 動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学 分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

専攻	講座数	講座	
文学研究科	文化科学	5	日本文化学、中国文化学、インド文化学、西洋文化学、哲学
	言語科学	3	言語学、日本語学、日本語教育学
	歴史科学	6	日本史学、東洋史学、ヨーロッパ史学、美術史学、○比較文化史学、※文化財科学
	人間科学	5	社会学、行動科学、心理学、人間文化科学、○科学技術社会論
教育学研究科	総合教育科学	5	人間形成論、教育政策科学、成人継続教育論、教授学習科学、人間発達臨床科学
	教育設計評価	1	教育設計評価
法学研究科	綜合法制(法科大学院)	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公共法政策(公共政策大学院)	2	行政法政策、ガバナンス研究
	法政理論研究(研究大学院)	3	トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析
経済学研究科	経済経営学	8	経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム
	会計専門職(会計大学院)	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理
理学研究科	数学	5	代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理
	物理学	16	量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、 相関物理学、領域横断物理学、○原子核物理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、 ○金属物理学、○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測
	天文学	2	天文学、理論天体物理学
	地球物理学	7	固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、 ○惑星圏物理学、※固体地球物理学
	化学	11	無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、 ○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学、○分子変換学
地球科学	7	地圏進化学、環境地球学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、 ※地圏物質循環学、※地球内部反応	
医学系研究科	医科学	33	細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、 社会医学、○医用動物学、○加齢制御学、○腫瘍制御学、○加齢脳科学、○サイクロトロン核医学、 ※分子・神経イメージング、※がん医科学、※先進成育医学、※がん生命科学、 ○先進漢方治療医学(ツムラ)、○造血器病理学、○循環器先端医療開発学、○多発性硬化症治療学、 ○循環器EBM開発学、○ナノ医科学、○臨床微生物解析治療学、○中心血圧研究、○視覚先端医療学、 ○創薬科学(持田製薬)、○統合癌治療外科学、○血液分子治療学、○大動脈疾患治療開発学、 ○周産期医療人材養成、○感染症診療地域連携、○上肢運動器学
	障害科学	3	機能医科学、○高齢者高次脳医学、○先進感染症予防学
保健科学	6	基礎・健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、 臨床検査医科学	
歯学研究科	歯科学	12	口腔生物学、口腔機能形態学、口腔修復学、口腔保健発育学、口腔病態外科学、顎口腔創建学、 ○口腔腫瘍病態学、※口腔免疫病態制御学、※長寿口腔科学、○口腔ケア推進開発、 ○生体適合性計測工学、○次世代歯科材料工学
薬学研究科	創薬化学	2	分子制御化学、分子解析化学
	医療薬科学	5	機能解析薬学、医療薬学、○病態分子薬学、○医薬開発構想、○地域薬局学(オオノひかり薬局)
	生命薬科学	3	生体情報薬学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
	分子薬科学	4	分子制御化学、分子解析学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
	生命薬科学	2	生命解析学、生命情報薬学
工学研究科	機械システムデザイン工学	7	知能システム工学、先進機械システムデザイン工学、知的デザイン学、エネルギーシステム工学、 ○破壊機構学、○知能流体システム学、○多元物質応用システム工学
	ナノメカニクス	7	ナノシステム工学、先進ナノメカニクス、材料メカニクス、ナノテクノロジー、○破壊予知学、 ○ナノ流動学、○表面ナノ物性計測制御学
	航空宇宙工学	6	航空宇宙システム工学、先進航空宇宙工学、シミュレーション科学、スペーステクノロジー、 ○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学
	量子エネルギー工学	11	先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、粒子ビーム工学、 ○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、○加速器放射線工学、 ※分子イメージング工学、※核融合炉システム工学、※核融合炉材料工学
	電気・通信工学	9	知的通信ネットワーク工学、電磁工学、電力システム工学、通信システム工学、波動工学、 ○電磁材料工学、○伝送工学、○先端情報システム工学、○先端電力工学(東北電力)
	電子工学	7	超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、○電子デバイス工学、 ○電子材料工学、○極限表面制御工学
	応用物理学	5	応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学

工学研究科	専攻	講座数	講座
	応用化学	4	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学
	化学工学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バイオ工学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	5	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、○プロセス設計学、○プロセス制御学
	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材料システム工学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土木工学	6	数値システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、○環境機能利用工学(三菱マテリアル)
農学研究科	専攻	講座数	講座
	資源生物科学	7	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学、※資源環境政策学
	応用生命科学	7	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、○応用遺伝子工学、○家畜福祉学、○環境保全型牛肉生産技術開発学(アレア)
国際文化研究科	専攻	講座数	講座
	国際地域文化論	5	アジア文化論、ヨーロッパ文化論、アメリカ研究、イスラム圏研究、比較文化論
	国際文化交流論	7	言語コミュニケーション論、国際経済交流論、科学技術交流論、国際環境システム論、○言語文化交流論、○異文化間教育論、○国際資源政策論
情報科学研究科	専攻	講座数	講座
	情報基礎科学	9	情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○超高速情報処理論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論
	システム情報科学	9	システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
	人間社会情報科学	5	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学
生命科学研究科	専攻	講座数	講座
	分子生命科学	3	生命有機情報科学、遺伝子システム学、○生体機能分子科学
	生命機能科学	4	細胞機能構築統御学、脳機能解析構築学、○海洋生物学、○分化制御学
環境科学研究科	専攻	講座数	講座
	環境科学	17	環境遺伝生態学、進化生態科学、○植物構造機能進化学、○地域生態学、※ゲノム生態学
医工学研究科	専攻	講座数	講座
	医工学	10	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学
教育情報学教育部	専攻	講座数	講座
	教育情報学	3	IT教育デザイン論、IT教育ネットワーク論、○IT教育システム論
教育情報学研究部	部門数	研究部門	
	5	IT教育システム原論、IT教育認知科学、IT教育アーキテクチャー、IT教育応用実践論、△比較IT教育論	
専門職大学院	専攻	講座数	講座
	法科大学院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公共政策大学院	2	行政法政策、ガバナンス研究
会計大学院	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理	

注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、△は客員研究部門を表す。

■ 附置研究所

研究所	部門数	研究目的及びその研究部門
金属材料研究所 (共同利用・共同研究拠点)	29	材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属材料学、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、※材質制御学、結晶欠陥物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料放射工学、原子力材料物性学、原子力材料工学、電子材料物性学、※材料設計学、ランダム構造物質学、生体材料学、超構造薄膜化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、放射線金属化学、先端分析、分析科学、※材料プロセス評価学
加齢医学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	7	加齢医学に関する学理及びその応用の研究 加齢制御、腫瘍制御、脳科学、◎抗感染薬開発、◎認知機能発達(公文教育研究会)、◎加齢ゲノム制御プロテオーム(DNA修復)、◎高齢者薬物治療開発
流体科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	4	流動現象に関する学理及びその応用の研究 極限流、知能流システム、マイクロ熱流動、複雑系流動
電気通信研究所 (共同利用・共同研究拠点)	5	高次情報通信に関する学理およびその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア、◎環境適応型高度情報通信工学
多元物質科学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	5	多様な物質に関する学理及びその応用の研究 有機・生命科学、無機材料、プロセスシステム工学、計測、◎窒化物結晶(三菱化学・日本製鋼所)

※は客員研究部門を、◎は寄附研究部門を表す。

■ 学内共同教育研究施設等

施設名	設置目的
東北アジア研究センター	東北アジア(東アジア及び北アジア並びに日本をいう。)地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
電子光物理学研究所 (共同利用・共同研究拠点)	電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを主要な手段として、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質階層の基礎と応用の研究を推進し、並びに新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、電子光科学諸分野における研究者、技術者等の養成を行う。
ニュートリノ科学研究センター	低エネルギー・ニュートリノの観測及び極低放射能環境における実験的研究を通じて、素粒子物理学、宇宙物理学及び地球物理学の発展に寄与する。
高等教育開発推進センター (教育関係共同利用拠点)	高等教育等に関する研究開発、企画及び支援を行うとともに、併せて教育内容及び教育方法の高度化を推進する。
学術資源研究公開センター	学術標本、歴史資料として重要な公文書その他の本学の歴史に関する資料、植物園の敷地内に生育する生物資源等、本学が所蔵する学術資料の収集、保管又は保全及び研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、これらを広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
国際高等研究教育機構	異分野の融合領域における新たな研究分野の創出並びにその学理及び応用の研究並びに国際的に通用する若手研究者の養成の推進を図り、もって本学の研究教育の高度化に資する。
教育情報基盤センター	本学における教育の情報化及び情報教育に関する研究開発及び支援を行うとともに、教育上の情報システムに関する管理運用を一元的に行い、もって本学における教育の高度化及び学生サービスの充実に資する。
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の实用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを旨とし、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
学際科学国際高等研究センター	部局間の連携により、未踏学際領域を開拓し、国際化を進めて最先端学術分野の創生を目指した研究を行う。
研究教育基盤技術センター	研究教育の推進に資する大型研究設備を設置し、及び管理運営することにより、本学の教員その他これに準ずる者等の共同利用に供し、並びに低温寒剤の安定供給及び低温技術の指導を行うとともに、本学における研究教育の高度化及び融合化並びに社会貢献の推進を図るため、本学の指定する研究設備及び機器を部局との連携により広く学内外への利用に供する。
サイバーサイエンスセンター (共同利用・共同研究拠点)	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、本学の情報化の推進において中核的な役割を担う。

■ 特定事業組織

組織名	設置目的
産学連携推進本部	広範な領域の学術研究の推進を図り、知の創造に資するとともに、学術研究の成果を本学の知的財産として組織的に管理し、及び活用し、並びに新たな事業の創出を支援することにより、産学官連携の推進及び社会の発展に寄与する。
研究基盤推進本部	戦略的に競争的資金等を獲得するための方策等に関し、企画し、並びに情報を収集し、及び発信することにより、本学の研究推進に資する。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤(放射性物質を含む廃棄物を除く。)を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制することを旨とし、環境の保全に資する。
国際交流センター	本学の学生及び研究者の受入れ、派遣、国際展開活動等の支援を行うとともに、外国人留学生及び外国人研究者に対する修学支援及び生活上の支援を行い、もって国際交流の推進を図る。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
動物実験センター	環境・安全委員会動物実験専門委員会が行う動物実験計画の審査、動物実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに動物実験実施者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における動物実験の適法性を確保し、及び動物実験に係る安全管理を推進する。
遺伝子実験センター	環境・安全委員会遺伝子組換え実験安全専門委員会が行う遺伝子組換え実験計画の審査、遺伝子組換え実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに遺伝子組換え実験従事者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における遺伝子組換え実験の適法性を確保し、及び遺伝子組換え実験に係る安全管理を推進する。
環境・安全推進センター	本学の部局と連携協力して、環境マネジメント及び安全衛生管理活動に係る業務を行う。
グローバルオペレーションセンター	戦略的かつ機動的に国際交流に取り組むことによって、本学が国際競争力のある世界最高水準の研究・教育拠点として発展し、また世界のアカデミック・コミュニティにふさわしい組織を完備する。
キャンパス計画室	本学におけるキャンパスの整備及び将来計画に関する調査・研究、資料作成及び原案の立案に当たるとともに、キャンパス関係委員会を専門的な観点から支援する。
未来医学治療開発センター	医学連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチの支援拠点として、医療機器及び医療材料並びに細胞治療、創薬等に関する基礎研究の成果を臨床応用まで一貫して支援するとともに、トランスレーショナルリサーチを担う人材を育成する。
高度イノベーション博士人財育成センター	本学の若手研究者に対し、実務応用力、人間力及び実践力を培うとともに、そのキャリアの形成を支援することにより、産業界の発展に貢献することができる広い視野と創造力を持つ人材を育成する。
国際教育院	関係部局、学務審議会等と連携し、英語による授業のみで学位が取得できるコース及び全学教育英語コースの企画、実施及び支援を行うことにより国際的な教育環境を整備し、並びに留学生の受入体制の充実を図ることにより、本学の学生に対し国際的な視野、高度な教養及び専門的知識並びに確かな研究・実践能力を身に付けさせ、国際社会で活躍する指導的人材の育成に資する。
ロシア交流推進室	関係部局等と連携し、本学とロシアの大学その他研究機関等との全学的な交流を推進するとともに、本学がグローバル30事業としてロシアに整備する海外大学共同利用事務所の運営等を通じて、研究・教育のグローバル・ネットワークの構築に資する。

教養教育院

設置目的	本学の学生に対し幅広い教養を身に付けさせるため、高等教育開発推進センターと連携して教養教育の実施及び支援を行い、もって創造力豊かで高い問題解決能力を有する指導的人材の養成に資する。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------

原子分子材料科学高等研究機構

設置目的	革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合技術部

設置目的	技術職員（専ら教育研究の支援に従事する者に限る。）の能力等の向上を図り、及び適正な配置を実現することにより、本学の教育研究に関する技術的支援を行い、もって本学における教育研究支援体制の一層の充実に資する。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

情報シナジー機構

設置目的	本学全体の情報基盤整備等に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講ずることにより、本学の情報化の推進を図る。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

マイクロシステム融合研究開発センター

設置目的	集積化マイクロシステムの研究開発拠点として、企業等との連携によりマイクロシステム融合技術の開発を推進して半導体集積回路分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野において当該技術の実用化を図る。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター

設置目的	スピントロニクス素子と論理集積回路とを融合した革新的な省エネルギー論理集積回路を開発し、及びその技術に係る産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代半導体分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、低炭素・省エネルギー社会の実現に貢献する。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

附属図書館

所蔵冊数 (2011年3月31日現在)

区分	種別	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計	
蔵書冊数	図書	和漢書	1,479,813	173,358	78,603	168,396	77,059	1,977,229
		洋書	1,132,335	258,357	300,294	178,942	61,907	1,931,835
		計	2,612,148	431,715	378,897	347,338	138,966	3,909,064
	雑誌	和雑誌	25,295	4,763	2,216	3,778	3,847	39,899
		洋雑誌	16,863	9,003	7,105	4,123	1,893	38,987
		計	42,158	13,766	9,321	7,901	5,740	78,886

利用状況 (2010年度)

区分	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	659,624	193,630	61,855	117,681	44,621	1,077,411
学外閲覧者	28,735	1,211	1,864	157	305	32,272
貸出図書	176,837	16,895	16,097	46,116	7,635	263,580
レファレンスサービス	8,652	3,714	2,912	4,707	1,785	21,770
情報検索サービス	16,235	7,914	1,310	2,118	803	28,380
文献複写	9,700	40,474	5,249	9,247	1,969	66,639

蔵書の特徴

1. 国宝	史記 孝文本紀第十（平安時代） 類聚國史 卷第二十五（平安時代）
2. 貴重本	和漢書820点（うち狩野文庫574点） 洋書110点 } 計930点
3. 特殊文庫等	狩野文庫（前記の国宝2点を含む約108,000冊）、和算関係文庫、西蔵大蔵経（デルゲ版）、漱石文庫、阿部（次郎）文庫、晩翠文庫、大類（伸）文庫、児島（喜久雄）文庫、石津（照鹽）文庫、梅原（末治）文庫、矢島（玄亮）文庫、柳田（民藏）文庫、長谷田（泰三）文庫、和田（佐一郎）文庫、須永（重光）文庫、木下（彰）文庫、高柳（真三）文庫、宮田（光雄）文庫、伊東（信雄）文庫、河野（与一）文庫、中野（正）文庫、中村（吉治）文庫、平山（諭）文庫、松本（金寿）文庫、柳瀬（良幹）文庫、金谷（治）文庫、ヴント文庫（Wilhelm Wundt）、ケーベル文庫（Raphael von Koeber）、シュタイン文庫（Friedrich Stein）、ゼッケル文庫（Emil Seckel）、チーテルマン文庫（Ernst Zitelmann）、ヴェルフェル文庫（Georg Würfel）、秋田家史料、晴山文書、齋藤養之助家史料

■ 病院

(平成23年4月1日現在)

部門	診療科	病床数	
医科部門	内科	循環器内科、感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液・免疫科、糖尿病代謝科、消化器内科、老年科、漢方内科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科	1,308
	外科	肝・胆・膵外科、胃腸外科、移植・再建・内視鏡外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、麻酔科、緩和医療科、呼吸器外科	
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科	
	脳・神経・精神科	神経内科、脳神経外科、脳血管内治療科、精神科	
	小児科	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科	
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、てんかん科、内部障害リハビリテーション科、高次脳機能障害科	
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科、加齢核医学科	
歯科部門	口腔育成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科、咬合機能成育室	
	口腔維持系診療科	口腔診断科、歯科顎顔面外科、歯科口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科	
	口腔修復系診療科	保存修復科、咬合修復科、歯内療法科	
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科	

患者数 (平成22年度)

部門/入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	383,483	1,050.6
歯科部門	8,343	22.9
部門/外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	525,945	2,209.9
歯科部門	125,770	528.4

先進医療

泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術

インプラント義歯

定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価

人工括約筋を用いた尿失禁の治療

低出力体外衝撃波治療法 虚血性心疾患

パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びペバシズマブ静脈内投与の併用療法（これらを三週間に一回投与するものに限る。）並びにペバシズマブ静脈内投与（三週間に一回投与するものに限る。）による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん

重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植

パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん

内視鏡的大腸粘膜下層剥離術

腹腔鏡補助下腓体尾部切除又は核出術

X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術

歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法



大学病院

学生

学生数

学生総数

(平成23年5月1日現在)

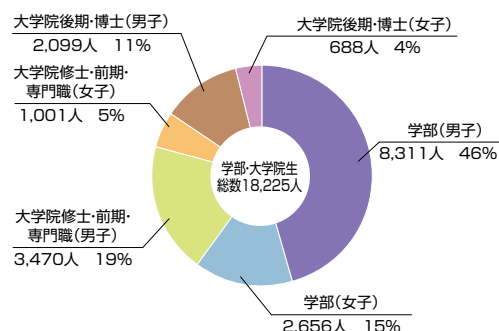
区分	学生定員	在籍者		内 留学生数			研究生 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 日本語研修コース
				国費	私費	計	
学部学生	9,921	10,967	(2,656)	60	75	135	215
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,956	4,471	(1,001)	76	493	569	134
大学院学生(後期・博士)	2,678	2,787	(688)	158	382	540	
計	16,555	18,225	(4,345)	294	950	1,244	349
附属学校	40	39	(28)	—	—	—	—
研究所	—	—	—	—	—	—	33
その他	—	—	—	—	—	—	19
合計	16,595	18,264	(4,373)	294	950	1,244	401

() の数は女子で内数
私費留学生については、政府派遣留学生を含む

学部

学部名	総定員	在籍者		
文学部	840	984	(526)	[16]
教育学部	280	304	(149)	[2]
法学部	640	710	(176)	[3]
経済学部	1,080	1,162	(204)	[20]
理学部	1,296	1,409	(213)	[12]
医学部	1,257	1,294	(518)	[5]
歯学部	328	340	(114)	[0]
薬学部	360	378	(110)	[6]
工学部	3,240	3,703	(385)	[69]
農学部	600	683	(261)	[2]
計	9,921	10,967	(2,656)	[135]

() の数は女子で内数、[] の数は留学生で内数



大学院

研究科等名	修士・前期・専門職				後期・博士			
	総定員	在籍者			総定員	在籍者		
文学研究科	178	173	(90)	[37]	135	198	(68)	[30]
教育学研究科	86	77	(48)	[8]	54	98	(49)	[12]
法学研究科	350	285	(67)	[9]	60	45	(17)	[24]
経済学研究科	180	209	(87)	[95]	60	72	(24)	[27]
理学研究科	524	589	(70)	[39]	390	284	(32)	[42]
医学系研究科	184	196	(106)	[26]	573	649	(184)	[53]
歯学研究科	12	17	(12)	[4]	183	166	(53)	[7]
薬学研究科	108	145	(37)	[13]	78	82	(10)	[8]
工学研究科	1,272	1,530	(141)	[128]	522	580	(54)	[179]
農学研究科	218	284	(100)	[31]	111	101	(29)	[18]
国際文化研究科	96	85	(59)	[55]	114	97	(66)	[47]
情報科学研究科	280	332	(41)	[61]	126	118	(22)	[32]
生命科学研究科	212	206	(60)	[7]	141	106	(29)	[14]
環境科学研究科	170	224	(52)	[33]	86	121	(35)	[39]
医工学研究科	62	87	(17)	[6]	30	48	(8)	[8]
教育情報学教育部	24	32	(14)	[17]	15	22	(8)	[0]
計	3,956	4,471	(1,001)	[569]	2,678	2,787	(688)	[540]

() の数は女子で内数、[] の数は留学生で内数

附属学校

学校名	定員	入学者		在籍者	
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	20	(16)	39	(28)

() の数は女子で内数

入学状況

(平成23年度)

学部名	入学定員	入学志願者	入学者
文学部	210	629 (351)	226 (139)
教育学部	70	214 (108)	70 (35)
法学部	160	502 (113)	164 (41)
経済学部	260	1,084 (198)	260 (48)
	20	71 (17)	20 (4)
理学部	324	1,544 (260)	327 (51)
医学部			
医学科	120	406 (86)	124 (23)
保健学科	144	400 (293)	152 (112)
	16	23 (18)	2 (2)
歯学部	53	150 (63)	51 (17)
薬学部	80	277 (97)	83 (14)
工学部	810	2,291 (280)	869 (99)
農学部	150	440 (198)	161 (74)
計	2,381	7,937 (2,047)	2,487 (653)
	36	94 (35)	22 (6)

() の数は女子で内数

下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、() の数は女子で内数

大学院

(平成23年度)

研究科等名	修士・前期・後期・博士・専門職別	入学定員	入学志願者	入学者
文学研究科	前期	89	121 (67)	73 (37)
	後期	45	55 (23)	39 (17)
教育学研究科	前期	43	89 (61)	36 (25)
	後期	18	29 (11)	16 (6)
法学研究科	前期	10	8 (2)	2 (0)
	後期	20	5 (4)	4 (3)
	専門職	110	372 (67)	99 (23)
経済学研究科	前期	50	84 (37)	40 (16)
	後期	20	14 (3)	11 (3)
	専門職	40	99 (26)	38 (11)
理学研究科	前期	262	354 (42)	272 (28)
	後期	130	72 (9)	68 (8)
医学系研究科	修士	40	54 (23)	40 (16)
	博士	130	118 (34)	112 (33)
	前期	52	58 (36)	55 (33)
	後期	21	25 (11)	23 (10)
歯学研究科	修士	6	6 (5)	6 (5)
	博士	42	42 (17)	40 (15)
薬学研究科	修士	54	82 (22)	67 (18)
	後期	26	33 (3)	32 (3)
工学研究科	前期	636	914 (90)	720 (66)
	後期	174	120 (14)	113 (13)
農学研究科	前期	109	166 (54)	123 (44)
	後期	37	31 (11)	31 (11)
国際文化研究科	前期	48	72 (47)	33 (23)
	後期	38	28 (16)	16 (12)
情報科学研究科	前期	140	186 (17)	147 (15)
	後期	42	35 (8)	30 (8)
生命科学研究科	前期	106	118 (36)	93 (29)
	後期	47	31 (9)	30 (8)
環境科学研究科	前期	85	125 (29)	102 (24)
	後期	27	21 (4)	19 (4)
医工学研究科	前期	31	53 (11)	39 (7)
	後期	10	4 (1)	4 (1)
教育情報学教育部	前期	12	16 (5)	14 (4)
	後期	5	8 (3)	6 (3)
計	修士	100	142 (50)	113 (39)
	博士	172	160 (51)	152 (48)
	前期	1,673	2,364 (534)	1,749 (351)
	後期	660	511 (130)	442 (110)
	専門職	150	471 (93)	137 (34)

() の数は女子で内数



平成23年度 入学式、オリエンテーション

入学状況

(平成23年4月1日現在)

出身都道府県別 学部入学志願者・入学者

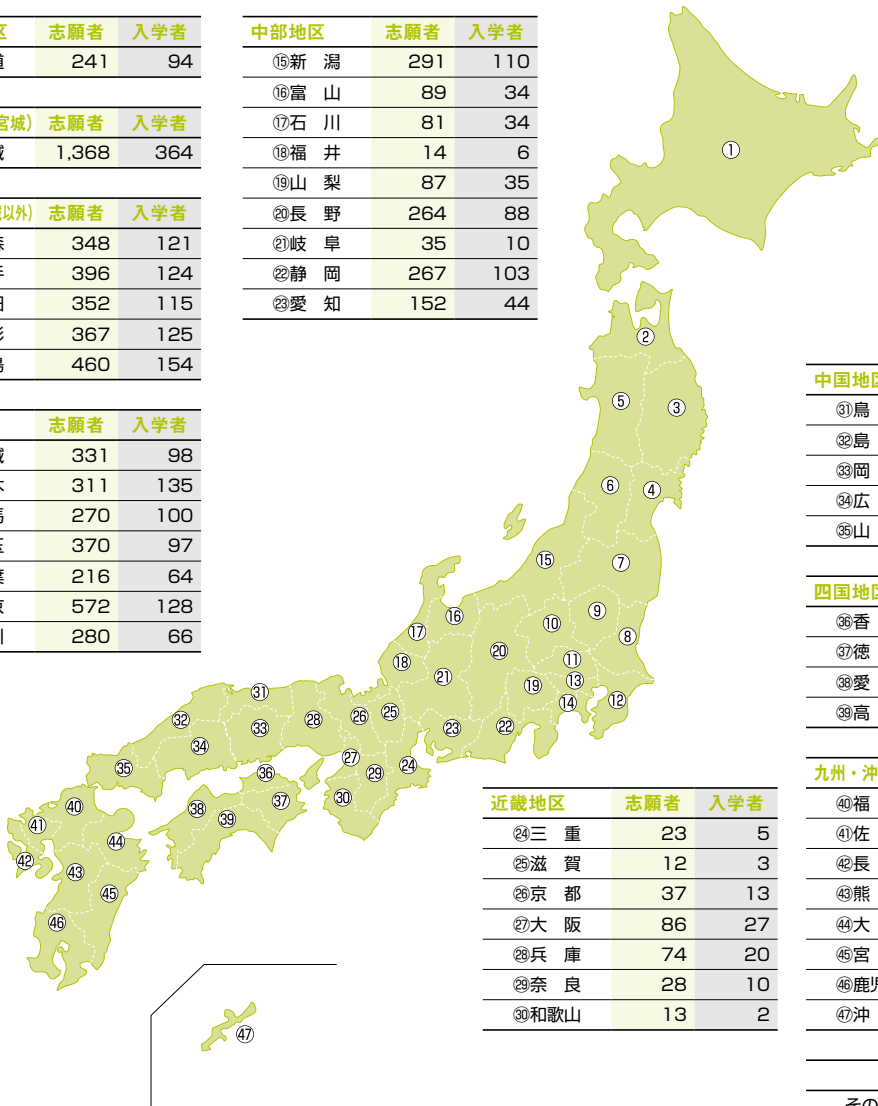
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	241	94

東北地区(宮城)	志願者	入学者
④宮城	1,368	364

東北地区(宮城以外)	志願者	入学者
②青森	348	121
③岩手	396	124
⑤秋田	352	115
⑥山形	367	125
⑦福島	460	154

関東地区	志願者	入学者
⑧茨城	331	98
⑨栃木	311	135
⑩群馬	270	100
⑪埼玉	370	97
⑫千葉	216	64
⑬東京	572	128
⑭神奈川	280	66

中部地区	志願者	入学者
⑮新潟	291	110
⑯富山	89	34
⑰石川	81	34
⑱福井	14	6
⑲山梨	87	35
⑳長野	264	88
㉑岐阜	35	10
㉒静岡	267	103
㉓愛知	152	44



中国地区	志願者	入学者
㉔鳥取	13	4
㉕島根	19	6
㉖岡山	39	13
㉗広島	48	20
㉘山口	17	3

四国地区	志願者	入学者
㉙香川	13	6
㉚徳島	13	6
㉛愛媛	34	15
㉜高知	10	2

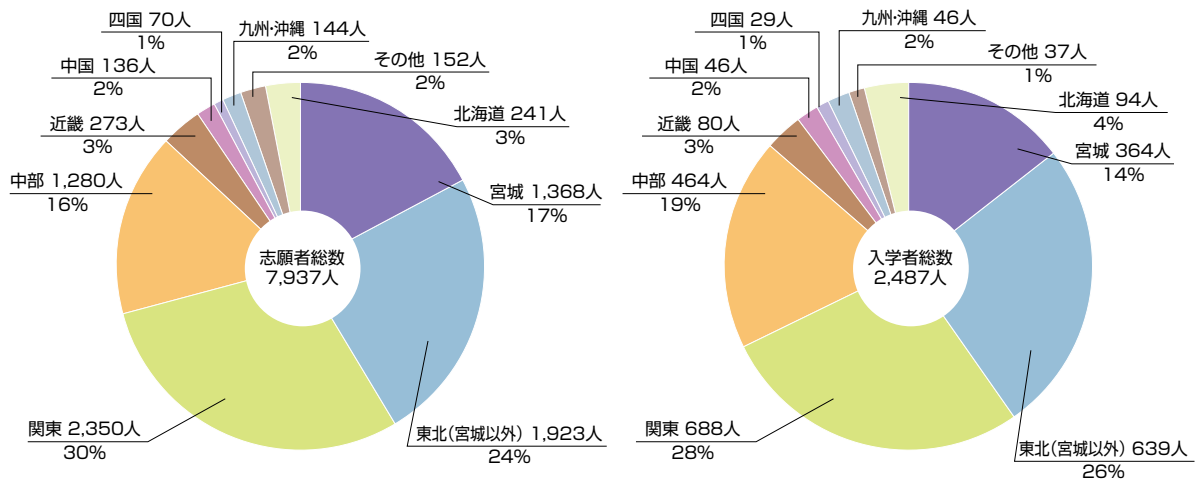
近畿地区	志願者	入学者
㉝三重	23	5
㉞滋賀	12	3
㉟京都	37	13
㊱大阪	86	27
㊲兵庫	74	20
㊳奈良	28	10
㊴和歌山	13	2

九州・沖縄地区	志願者	入学者
㊵福岡	41	11
㊶佐賀	7	2
㊷長崎	17	7
㊸熊本	11	4
㊹大分	10	3
㊺宮崎	12	3
㊻鹿児島	21	8
㊼沖縄	25	8

	志願者	入学者
その他	152	37

※その他は、帰国生徒、高専等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

平成23年度 学部入学者の出身地区別内訳



学部卒業生数・学位授与者数

学部卒業生数

(平成23年3月31日現在)

区分	旧制	新制	
		平成22年度	累計
文学部	1,277	209	9,931
教育学部	—	71	6,440
法学部	3,844	144	11,720
経済学部	1,446	284	12,825
理学部	2,747	335	14,861
医学部	3,290	270	6,547
歯学部	—	49	2,290
薬学部	—	61	3,478
工学部	3,953	880	43,013
農学部	679	146	8,213
計	17,236	2,449	119,318

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

学位授与者数(修士)

(平成23年3月31日現在)

区分	平成22年度	累計
文学研究科	76	3,097
教育学研究科	38	1,052
法学研究科	3	556
経済学研究科	51	1,092
理学研究科	249	8,498
医学系研究科	75	556
歯学研究科	10	42
薬学研究科	80	2,023
工学研究科	656	20,360
農学研究科	117	3,374
国際文化研究科	34	659
情報科学研究科	154	2,235
生命科学研究科	100	916
環境科学研究科	95	658
医工学研究科	29	61
教育情報学教育部	15	83
計	1,782	45,262

学位授与者数(専門職)

(平成23年3月31日現在)

区分	平成22年度	累計
公共法政策修士(専門職)	15	124
法務博士(専門職)	98	509
会計修士(専門職)	36	180
計	149	813

学位授与者数(博士)

(平成23年3月31日現在)

区分	旧制	新制(課程)		新制(論博)	
		平成22年度	累計	平成22年度	累計
文学研究科	96	33	378	5	270
教育学研究科	—	8	126	0	124
法学研究科	38	6	97	0	53
経済学研究科	50	13	222	3	111
理学研究科	944	66	2,641	3	1,245
医学系研究科	3,715	108	3,058	6	3,454
歯学研究科	—	47	582	0	203
薬学研究科	—	13	470	12	546
工学研究科	554	145	4,512	9	2,222
農学研究科	152	23	1,026	8	758
国際文化研究科	—	10	126	0	8
情報科学研究科	—	24	541	2	62
生命科学研究科	—	26	207	4	20
環境科学研究科	—	22	171	0	15
医工学研究科	—	7	9	0	0
教育情報学教育部	—	2	15	1	2
計	5,549	553	14,181	53	9,093

卒業後の状況 進路状況調(平成22年度卒業修了)

(平成23年4月1日現在)

学部

区分	卒業者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学部	209 (130)	30 (13)	—	144 (91)	35 (26)	109 (65)	35 (26)
教育学部	71 (47)	17 (12)	—	45 (28)	13 (12)	32 (16)	9 (7)
法学部	144 (41)	35 (11)	—	86 (26)	23 (11)	63 (15)	23 (4)
経済学部	284 (73)	21 (6)	—	218 (58)	31 (4)	187 (54)	45 (9)
理学部	335 (50)	282 (36)	—	29 (12)	2 (0)	27 (12)	24 (2)
医学部	6年	107 (21)	0 (0)	98 (21)	0 (0)	0 (0)	9 (0)
	4年	163 (113)	25 (14)	0 (0)	126 (94)	63 (44)	63 (50)
歯学部	49 (14)	1 (1)	45 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
薬学部	61 (10)	57 (10)	—	2 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
工学部	880 (79)	784 (69)	—	66 (8)	11 (2)	55 (6)	30 (2)
農学部	146 (54)	103 (34)	—	36 (15)	5 (2)	31 (13)	7 (5)
計	2,449 (632)	1,355 (206)	143 (33)	752 (332)	183 (101)	569 (231)	199 (61)

() は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:前期2年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学研究科	76 (35)	28 (11)	—	28 (12)	10 (3)	18 (9)	20 (12)
教育学研究科	38 (23)	10 (5)	—	17 (10)	6 (4)	11 (6)	11 (8)
法学研究科	3 (0)	0 (0)	—	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
経済学研究科	51 (21)	11 (4)	—	15 (5)	2 (0)	13 (5)	25 (12)
理学研究科	249 (41)	66 (10)	—	159 (28)	9 (3)	150 (25)	24 (3)
医学系研究科	51 (28)	14 (8)	0 (0)	35 (18)	20 (11)	15 (7)	2 (2)
薬学研究科	80 (22)	26 (5)	—	51 (16)	7 (3)	44 (13)	3 (1)
工学研究科	656 (58)	72 (8)	—	553 (48)	27 (2)	526 (46)	31 (2)
農学研究科	117 (38)	22 (7)	—	86 (29)	12 (4)	74 (25)	9 (2)
国際文化研究科	34 (23)	10 (7)	—	3 (1)	1 (1)	2 (0)	21 (15)
情報科学研究科	154 (21)	19 (5)	—	66 (5)	4 (0)	62 (5)	69 (11)
生命科学研究科	100 (35)	17 (5)	—	47 (21)	6 (2)	41 (19)	36 (9)
環境科学研究科	95 (18)	14 (4)	—	70 (10)	5 (1)	65 (9)	11 (4)
医工学研究科	29 (4)	4 (0)	—	25 (4)	1 (0)	24 (4)	0 (0)
教育情報学教育部	15 (8)	4 (2)	—	5 (1)	4 (1)	1 (0)	6 (5)
計	1,748 (375)	317 (81)	0 (0)	1,162 (208)	114 (35)	1,048 (173)	269 (86)

() は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:後期3年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
文学研究科	33 (8)	0 (0)	—	15 (3)	3 (1)	12 (2)	18 (5)	4 (1)
教育学研究科	8 (4)	0 (0)	—	5 (3)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	1 (0)
法学研究科	6 (1)	0 (0)	—	3 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)
経済学研究科	13 (5)	0 (0)	—	4 (1)	1 (0)	3 (1)	9 (4)	0 (0)
理学研究科	66 (10)	0 (0)	—	27 (4)	4 (0)	23 (4)	39 (6)	29 (2)
医学系研究科	4 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	3 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
薬学研究科	13 (2)	0 (0)	—	10 (1)	2 (1)	8 (0)	3 (1)	0 (0)
工学研究科	145 (12)	0 (0)	—	103 (8)	20 (1)	83 (7)	42 (4)	17 (1)
農学研究科	23 (4)	0 (0)	—	13 (2)	2 (0)	11 (2)	10 (2)	1 (1)
国際文化研究科	10 (5)	0 (0)	—	2 (1)	0 (0)	2 (1)	8 (4)	1 (0)
情報科学研究科	24 (5)	0 (0)	—	11 (2)	1 (0)	10 (2)	13 (3)	3 (1)
生命科学研究科	26 (11)	0 (0)	—	11 (3)	1 (0)	10 (3)	15 (8)	3 (2)
環境科学研究科	22 (5)	0 (0)	—	12 (2)	3 (1)	9 (1)	10 (3)	4 (1)
医工学研究科	7 (0)	0 (0)	—	5 (0)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	0 (0)
教育情報学教育部	2 (1)	0 (0)	—	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
計	402 (74)	0 (0)	0 (0)	226 (32)	47 (6)	179 (26)	176 (42)	63 (9)

() は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:修士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
医学系研究科	24 (9)	8 (2)	0 (0)	16 (7)	3 (1)	13 (6)	0 (0)
歯学研究科	10 (8)	2 (2)	0 (0)	8 (6)	3 (3)	5 (3)	0 (0)
計	34 (17)	10 (4)	0 (0)	24 (13)	6 (4)	18 (9)	0 (0)

() は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:博士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
医学系研究科	104 (34)	0 (0)	0 (0)	90 (28)	56 (17)	34 (11)	14 (6)	1 (0)
歯学研究科	47 (20)	0 (0)	0 (0)	35 (16)	25 (10)	10 (6)	12 (4)	1 (0)
計	151 (54)	0 (0)	0 (0)	125 (44)	81 (27)	44 (17)	26 (10)	2 (0)

() は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

研究科:専門職学位課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
法学研究科	15 (1)	0 (0)	—	14 (1)	1 (0)	13 (1)	1 (0)
法学研究科(法科大学院)	98 (18)	0 (0)	—	4 (0)	0 (0)	4 (0)	94 (18)
経済学研究科	36 (11)	1 (0)	—	7 (3)	1 (0)	6 (3)	28 (8)
計	149 (30)	1 (0)	0 (0)	25 (4)	2 (0)	23 (4)	123 (26)

() は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

産業別就職者数

(平成23年4月1日現在)

学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農業・林業・漁業	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	0	0	1	3	0	0	0	0	4	0	8
製造業	19	5	4	42	4	1	0	0	27	8	110
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0	4	13	1	0	0	0	1	0	21
情報通信業	16	2	3	13	6	0	0	0	8	1	49
運輸業・郵便業	4	1	2	6	0	0	0	0	1	1	15
卸売業・小売業	10	1	1	9	1	0	0	0	2	1	25
金融業・保険業	12	3	21	63	6	0	0	0	5	4	114
不動産業、物品賃貸業	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
学術研究、専門・技術サービス業	0	1	0	4	1	0	0	0	2	0	8
宿泊業、飲食サービス業	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5
生活関連サービス業、娯楽業	1	3	0	1	0	0	0	0	1	0	6
教育、学習支援業	27	8	2	6	6	0	0	0	1	4	54
医療、福祉	3	0	0	2	0	125	0	0	0	0	130
複合サービス事業	0	0	1	5	0	0	0	0	0	1	7
サービス業（他に分類されないもの）	4	2	1	2	0	0	0	0	1	0	10
公務（国家公務）	7	7	21	7	0	0	0	0	3	2	47
公務（地方公務）	34	12	25	37	3	0	0	2	8	14	135
その他	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
計	144	45	86	218	29	126	0	2	66	36	752

研究科

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	計
農業・林業・漁業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
建設業	0	0	0	2	3	0	0	0	26	1	0	2	1	2	0	0	37
製造業	3	1	1	9	88	8	3	28	398	47	0	26	30	52	24	1	719
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	1	0	2	0	0	0	57	1	0	1	0	3	1	0	67
情報通信業	3	0	2	2	26	1	0	0	25	2	0	28	4	3	3	1	100
運輸業・郵便業	2	0	0	0	2	2	0	0	17	0	1	2	0	0	0	0	26
卸売業・小売業	0	0	0	4	1	0	0	9	4	5	0	0	0	0	1	0	24
金融業・保険業	1	0	0	2	13	0	0	0	3	2	0	1	1	0	0	0	23
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
学術研究、専門・技術サービス業	3	0	3	3	16	6	0	3	60	6	0	2	6	10	0	0	118
宿泊業、飲食サービス業	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
教育、学習支援業	19	12	3	2	22	25	12	1	32	6	3	9	6	3	0	4	159
医療、福祉	1	2	0	0	0	98	26	10	0	3	1	0	2	1	1	0	145
複合サービス事業	0	0	0	0	1	0	0	3	3	6	0	0	2	0	0	0	15
サービス業（他に分類されないもの）	1	0	1	0	2	1	0	0	5	0	0	2	1	1	0	0	14
公務（国家公務）	1	1	2	1	5	0	0	0	4	1	0	2	1	1	0	0	19
公務（地方公務）	8	5	10	1	5	2	2	7	16	15	0	1	4	1	0	0	77
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	5
計	43	22	23	26	186	145	43	61	656	99	5	77	58	82	30	6	1,562

学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。

学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助）が行われています。

中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	東谷 篤志	生命科学研究所	総長補佐
文化部	末光 真希	電気通信研究所	教授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教授
報道部	大村 泉	経済学研究科	教授

文化部

部名	部長名	部局	職名
1 男声合唱部	境田 清隆	環境科学研究科	教授
2 混声合唱部			
3 交響楽部	松原 洋一	医学系研究科	教授
4 文芸部			
5 美術部	芳賀 京子	文学研究科	准教授
6 映画部	佐野健太郎	情報科学研究科	准教授
7 演劇部	三浦 隆史	薬学研究科	准教授
8 写真部	長岡 龍作	文学研究科	教授
9 茶道部	工藤 純一	東北アジア研究センター	教授
10 能楽部	牧原 出	法学研究科	教授
11 邦楽部	早川 美徳	教育情報基盤センター	教授
12 放送研究部	村岡 裕明	電気通信研究所	教授
13 アマチュア無線部	曾根 秀昭	サイバーサイエンスセンター	教授
14 落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15 E. S. S. 部	山田 誠	国際文化研究科	准教授
16 囲碁部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
17 奇術部	松木 英敏	医工学研究科	教授
18 軽音楽部	澤谷 邦男	工学研究科	教授
19 マンドリン楽部	川又 政征	工学研究科	教授
20 化学部	飛田 博実	理学研究科	教授
21 オーディオ研究部	金崎 芳輔	経済学研究科	教授
22 吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教授
23 将棋部	菅原 歩	経済学研究科	准教授
24 書道部	猪股 宏	工学研究科	教授
25 生活部	井上 千弘	環境科学研究科	教授

体育部

部名	部長名	部局	職名
1 陸上競技部	佐藤 源之	東北アジア研究センター	教授
2 硬式野球部	長谷川史彦	未来科学技術共同研究センター	教授
3 準硬式野球部	横堀 壽光	工学研究科	教授
4 硬式庭球部	宮澤 陽夫	農学研究科	教授
5 軟式庭球部	松木 英敏	医工学研究科	教授
6 ラグビー部	荒井 陽一	医学系研究科	教授
7 男子バレーボール部	長坂 徹也	環境科学研究科	教授
女子バレーボール部			
8 蹴球部	齋木 佳克	医学系研究科	教授
9 男子バスケットボール部	須藤 彰三	理学研究科	教授
女子バスケットボール部			
10 卓球部	後藤 光竜	工学研究科	准教授
11 山岳部	川村 宏	理学研究科	教授
12 水泳部	北村 勝朗	教育情報学教育部	教授
13 漕艇部	黒川 良望	未来工学治療開発センター	教授
14 ヨット部	高木 敏行	流体科学研究所	教授
15 スケート部	永富 良一	医工学研究科	教授
16 乗馬部	工藤 昭彦	教養教育院	総長特命教授
17 バドミントン部	玉川 明朗	医学系研究科	准教授
18 柔道部	村本 光二	生命科学研究所	教授
19 スキー部	日出間 純	生命科学研究所	准教授
20 ハンドボール部	風間 基樹	工学研究科	教授
21 航空部	伊藤 高敏	流体科学研究所	教授
22 剣道部	福土 審	医学系研究科	教授
23 弓道部	笹野 泰之	歯学研究科	教授
24 空手道部	大滝 精一	経済学研究科	教授
25 自動車部	和田 仁	工学研究科	教授
26 ワンダーフォーゲル部	植松 康	工学研究科	教授
27 ゴルフ部	西澤 松彦	工学研究科	教授
28 合気道部	珠玖 仁	環境科学研究科	准教授
29 フェンシング部	佐藤 明	医学系研究科	准教授
30 応援団	里見 進	病院	教授
31 サイクリング部	中井 裕	農学研究科	教授
32 ボディビル部	宮腰 英一	教育学研究科	教授
33 少林寺拳法部	佐藤 正明	医工学研究科	教授
34 体操部	中島 信博	教育学研究科	教授
35 アメリカンフットボール部	池尾 恭一	教育学研究科	准教授
36 オリエンテーリング部	窪 俊一	情報科学研究科	准教授
37 競技舞蹈部	福山 博之	多元物質科学研究科	教授
38 アーチェリー部	中山 亨	工学研究科	教授
39 トライアスロン部	宗政 昭弘	情報科学研究科	教授
40 男子ラクロス部	吉岡 敏明	環境科学研究科	教授
女子ラクロス部			
41 アイススケート部	中里 信和	医学系研究科	教授
42 レーシングカート部	福土 将	情報科学研究科	助教
43 極真カラテ部	石井 圭一	農学研究科	准教授
44 相撲部	阿部 宏	文学研究科	教授
45 ソフトボール部	徳山 豪	情報科学研究科	教授



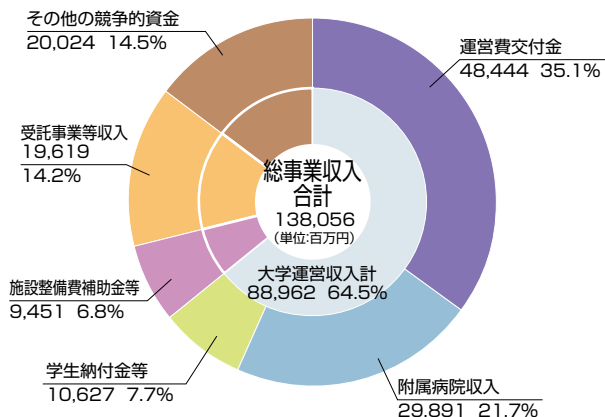
平成22年度大学祭



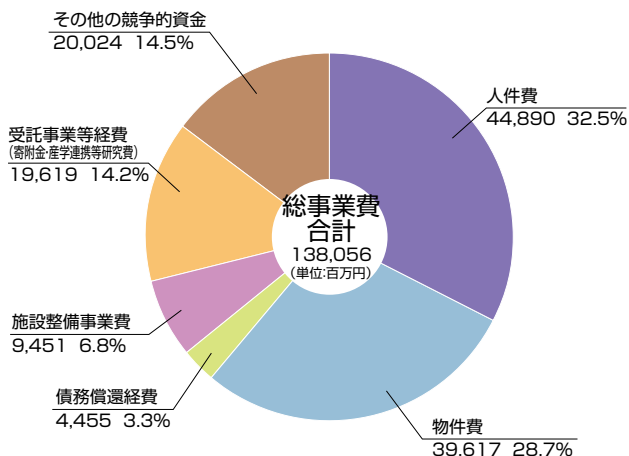
財 務

平成22年度収入・支出予算

収入予算総額



支出予算総額



研究費等受入状況

科学研究費補助金

(平成22年度)

研究種目	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
特別推進研究	11	941,400	282,420	1,223,820
特定領域研究	53	392,490	-	392,490
新学術領域研究	84	855,200	255,560	1,110,760
基盤研究(S・A・B・C)	1,017	4,150,300	1,245,090	5,395,390
挑戦的萌芽研究	198	269,300	-	269,300
若手研究(S・A・B)	569	1,133,204	339,961	1,473,165
研究活動スタート支援	70	73,460	22,038	95,498
奨励研究	11	5,920	-	5,920
研究成果公開促進費(学術図書・データベース)	6	15,000	-	15,000
特別研究員奨励費	384	274,100	-	274,100
学術創成研究費	3	178,600	53,580	232,180
計	2,406	8,288,974	2,198,649	10,487,623

寄付金・受託研究等

(平成22年度)

区分	件数(件)	受入金額(千円)
寄附金	2,904	4,089,563
民間等との共同研究	854	2,955,661
一般	355	4,619,212
受託研究等経費	234	5,389,267
受託研究	589	10,008,479
競争的資金	234	5,389,267
小計	1,443	12,964,140
学術指導	126	75,174
計	4,473	17,128,877

研究費等受入状況

その他補助金

経 費	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
科学技術総合推進費補助金	8	859,889	257,967	1,117,856
グローバルCOEプログラム	12	2,560,779	0	2,560,779
研究開発施設共用等促進費補助金	3	75,600	0	75,600
研究拠点形成費等補助金(グローバルCOEプログラムを除く)	2	34,739	0	34,739
原子力研究環境整備補助金	1	14,250	0	14,250
厚生労働科学研究費補助金	43	1,515,029	366,489	1,881,518
国際研究拠点形成促進事業費補助金	1	1,038,462	311,538	1,350,000
先端研究助成基金助成金(最先端研究開発支援プログラム)	2	2,184,020	232,345	2,416,365
先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)	31	38,736	11,621	50,357
最先端研究開発戦略的強化費補助金	6	418,567	925	419,492
産業技術研究助成事業助成金	19	226,500	67,950	294,450
循環型社会形成推進科学研究費補助金	6	73,160	19,844	93,004
障害者対策総合研究推進事業補助金	1	558	0	558
情報知能システム研究センター支援補助金	1	47,300	0	47,300
大学改革推進等補助金	8	364,313	0	364,313
大学等連携支援事業	1	30,000	0	30,000
地球観測衛星開発費補助金	1	223,958	0	223,958
老人保健事業推進費等補助金	1	25,000	0	25,000
計	147	9,730,860	1,268,679	10,999,539



農学研究科生物産業創成科学専攻 研究風景



医学系研究科医科学専攻 研究風景

■ 土地・建物

(平成23年4月1日現在)

(単位：㎡)

地区名/面積	土 地			建 物				
	所 有	借 入	計	所 有	借 入	計		
宮城県	仙台市	片平地区	237,532	31	237,563	169,133	—	169,133
		米ヶ袋地区	3,231	—	3,231	512	—	512
		川内・青葉山地区	2,582,709	16,394	2,599,103	437,471	—	437,471
		星陵地区	179,155	59	179,214	274,973	—	274,973
		雨宮地区	92,746	—	92,746	31,297	—	31,297
		三条地区	50,612	—	50,612	10,776	—	10,776
		富沢地区	113,877	—	113,877	8,859	—	8,859
		評定河原地区	18,668	—	18,668	781	—	781
		郷六地区	—	399	399	26	—	26
		秋保地区	—	4	4	—	20	20
		北中山地区	—	58	58	—	—	—
		八木山地区	12,810	—	12,810	—	—	—
		学生寄宿舍	40,972	—	40,972	22,660	—	22,660
		職員宿舎	80,834	—	80,834	42,458	—	42,458
		小計	3,413,146	16,945	3,430,091	998,946	20	998,966
	仙台市外	蔵王地区	—	30,287	30,287	399	—	399
		七ヶ浜地区	—	528	528	343	—	343
		女川・牡鹿地区	23,463	43,338	66,801	1,922	—	1,922
		鹿島台地区	10,077	—	10,077	270	—	270
		鳴子・川渡地区	18,541,862	1,568	18,543,430	18,661	—	18,661
		名取地区	1,863	454	2,317	1,029	—	1,029
		岩沼地区	—	—	—	—	33	33
		釜房地区	—	144	144	—	5	5
		小牛田地区	—	1,038	1,038	19	—	19
		気仙沼地区	—	112	112	—	149	149
		米山地区	—	1,600	1,600	101	—	101
		若柳地区	—	100	100	12	—	12
その他の地区	—	216	216	—	230	230		
職員宿舎	5,411	1,123	6,534	1,516	—	1,516		
小計	18,582,676	80,508	18,663,184	24,272	417	24,689		
計	21,995,822	97,453	22,093,275	1,023,218	437	1,023,655		
宮城県外	青森県	28,506	77,010	105,516	2,658	437	3,095	
	秋田県	1,049	6,903	7,952	686	—	686	
	山形県	—	1,593	1,593	298	—	298	
	岩手県	10,012	17,718	27,730	873	—	873	
	福島県	990	25,900	26,890	154	—	154	
	新潟県	—	315	315	6	—	6	
	埼玉県	660	1	661	739	—	739	
	茨城県	4,541	12,161	16,702	5,787	—	5,787	
	栃木県	—	695	695	70	—	70	
	岐阜県	—	694	694	424	—	424	
	福井県	—	107	107	—	—	—	
	計	45,758	143,097	188,855	11,695	437	12,132	
合計	22,041,580	240,550	22,282,130	1,034,913	874	1,035,787		

※ 震災の影響が反映されていない地区があります。

特色ある研究・教育・社会貢献活動

特色ある研究・
教育・社会貢献活動

世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)

原子分子材料科学高等研究機構 (WPI-AIMR)

文部科学省の「世界トップレベル研究拠点形成プログラム (World Premier International Research Center Initiative = WPI)」において、「国際高等原子分子材料研究拠点構想」が全国6拠点の1つとして採択され、平成19年10月に原子分子材料科学高等研究機構 (WPI Advanced Institute for Materials Research =WPI-AIMR) を発足しました。

WPI-AIMRは、世界中から第一線の物理学、化学、材料科学、バイオエンジニアリング、電子・機械工学の研究者が集い、異分野を融合させて、従来の既存概念を凌駕した斬新な原子分子制御法により、新物質・新材料の創製、これらを用いたデバイス開発を行います。また、2011年度より数学ユニットが加わり、触媒として研究グループ間の融合を活性化します。材料科学の新たな学理を創成し、社会還元を軸とする材料システムの構築など、唯一無比の国際材料科学研究拠点の形成を目指します。

バルク金属ガラス (BMG)

優れた物理的、化学的、機械的性質を示す先端非平衡金属材料、例えば、アモルファス、準結晶、ナノ結晶金属合金を研究対象としています。

ソフトマテリアル

有機π-電子系デバイス、ジェル、高分子コンポジット、メソ細孔高分子フィルム、ナノ構造材料触媒のようなソフトマテリアルの作成、物性評価を行っています。

材料物理

実際に役立つ電子デバイスや機能デバイスを創製するために、有用な基礎物理を追及しています。

デバイス・システム構築グループ

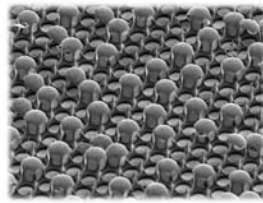
主にスピントロニクス、エレクトロニクス、マイクロ・エレクトロ・メカニカル・システム (MEMS) 材料およびバイオソフト材料を研究するグループから成り、各グループは革新的な材料の創製からデバイス化に至る研究を行っています。

数学ユニット

数学ユニットは、抽象化・普遍化の観点を与え、物理学、化学、材料科学、バイオエンジニアリング、電子・機械工学の研究者とともに、材料の階層構造を解き明かすことで、材料科学の新たな学理の創出を目指します。



超高強度と高い弾性を併せ持つ金属ガラスナノワイヤの電子顕微鏡像。ナノワイヤの先端が振動している様子



自己組織化により作製した超撥水性と吸着性を併せ持つ金属-高分子ハイブリッド膜

COE 等

グローバル COE

グローバル COE プログラムは、平成14年度から文部科学省において開始された「21世紀 COE プログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的として設置されたものです。

平成19年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
生命科学 大隅 典子 教授	脳神経科学	脳神経科学を社会へ還流する教育研究拠点	遺伝子から個体の行動までを扱う「ゲノム行動神経科学」、脳機能を身体との相互作用によって理解する「身体性認知脳科学」、人間を取り巻く環境や人間同士の関連性までを包括する「社会脳科学」という新規の脳神経科学分野を推し進める研究を通じ、脳神経基礎科学の研究者を国内外のアカデミアに輩出することを目指します。また、育成されるべき人材が社会で果たす役割を意識したアウトカム指向の教育を提供し、脳画像診断、脳数理、精神疾患診断治療、神経経済等の分野の研究者や、先端脳神経科学の素養を社会に還元する教育学者や福祉・介護従事者、創業や福祉機器の開発者、医療行政従事者等の新領域の人材を日本発に育成します。
化学、材料科学 山口 雅彦 教授	複合化学	分子系高次構造体化学 国際教育研究拠点	化学の学問的特性に原子・分子レベルの技術革新をもとにして、高度にシステム化するボトムアップ方法論を取りうる点があります。本プログラムでは物質による高機能発現を具現化する目的で、10nm-0.1mm サイズの物質を空間的に制御して配置するとともにその構造体が経時的に変化するプロセスを制御する分子系高次構造体化学の教育研究を行います。あわせて、幅広い物質の高度な研究開発を先端的に担うことのできる博士人材を育成します。
化学、材料科学 後藤 孝 教授	材料工学	材料インテグレーション 国際教育研究拠点	材料科学は、全ての産業の基盤をなす学問領域であり、その発展なくして人類の社会活動の発展はありません。本学は、最先端の物質・材料研究教育拠点として、世界を先導してきました。今後、研究開発における世界規模での競争と協調連携は、ますます重要です。本拠点では、社会基盤・生体材料、エレクトロニクス材料、エネルギー・環境材料、物質・材料基礎科学の4分野において、材料インテグレーションの概念 (材料科学における融合領域の形成と学際化) を基として、視野の広い世界の第一線で活躍できる人材の育成と、これまでにない新機能・新材料の創製、新材料科学の展開を目指します。

COE 等

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
情報、電気、電子 安達 文幸 教授	電気・電子工学	情報エレクトロニクス システム教育研究拠点	独創的研究を通じた教育により世界をリードする人材を育成し、教育と研究の両面で世界最強の拠点形成を目指しています。教育面では、複眼的視点をもち、独創的 科学技術の創出と国際性豊かで基礎からシステム応用に至る幅広い分野で世界的な 活躍ができる若手研究者を育成します。研究面では、人間性豊かなコミュニケーション を可能とするグローバルネットワークの構築をめざして、情報・デバイス基礎、 ネットワークから知能情報システムに至る幅広い分野が連携した研究を行います。
学際、複合、新領域 山口 隆美 教授	人間工学	新世紀世界の成長焦点に 築くナノ工学拠点	21世紀のキーテクノロジーであるナノ工学の成否は新たな学術の地平を切り開 く医工融合に基づく人材の育成にかかっています。ナノ工学グローバル COE プ ログラムでは、この分野を開拓し発展を担う学生・若手研究者を、国際的に組織さ れた融合領域の教育・研究に没入させます。これを通じ、ナノ工学を含む21世 紀の科学技術の担い手である東アジア・環太平洋地域の諸国、諸社会をリードする グローバルな拠点を形成します。
計/5件			

平成20年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
医学系 岡 芳知 教授	内科・糖尿病代謝	Network Medicine 創生拠点	疾患研究は、個々の分子の解析から、分子間、臓器間、またそれらが作る階層間で 形成されるシグナルネットワークの探求へとパラダイムシフトしています。本 GCOE ではこのシグナルネットワークを基盤とする新しい医学体系 "Network Medicine" を確立し、革新的な診断法・治療法・予防法の開発を目指します。疾患 横断・異分野融合型の先端研究と教育活動を一体化して推進し、広く科学を見渡せ る視野を持ち、自由な発想で既存の枠組みを超えた科学に挑戦できる研究者を育成 します。
数学、物理学、 地球科学 井上 邦雄 教授	物 理 学	物質階層を紡ぐ 科学フロンティアの新展開	21COE の実績に基づき、素粒子から宇宙に亘る物質階層を広くカバーする本拠点 では、数学の関与を強化し階層間の連携を蜘蛛の巣のように張り巡らすことでサイ エンスウェブを構築し、未踏の科学フロンティアを開拓します。さらに物理でカバー できなかった化学・生物・地学などの中間階層への波及を行い、哲学講座との連携 も開拓することで物質階層を鳥瞰する視点からの宇宙物質像の統一的究明を目指 します。また、この科学フロンティアの新展開を教育に活かし、産学官の広い分野に 多くの有能な人材を輩出します。
数学、物理学、 地球科学 大谷 栄治 教授	地球惑星科学	変動地球惑星学の 統合教育研究拠点	本拠点では、地球と惑星系の多様な変動現象のメカニズムを解明し、その統合理 解を目的とした「変動地球惑星学」の創出を目指します。本拠点では多様な時間ス ケールの現象を超高精度で観測・分析し、未踏再現実験を行いつつ、多様な空間ス ケールの不均質性を高解像度で解析し、地球惑星の変動と地球環境変動を解明しま す。そして、国際連携に基づく先端的研究とそれに連携する大学院教育を実施し、 課題発掘力、技術開発力を持ちフィールドに強く、統合力と総合力を有する国際的 若手研究リーダーを育成し、自然災害・環境変動など人類が直面する多様な課題に 取り組む優れた人材を育成します。
機械、土木、建築、 その他工学 圓山 重直 教授	総 合 工 学	流動ダイナミクス 知の融合教育研究世界拠点	本プログラムは、流動ダイナミクスを基軸に置き、情報科学、化学工学、医工学と の異分野融合、これまで形成してきた国際ネットワークを活用した多国間研究融合、 多面的な価値観を理解できる国際的な異文化融合などの知の融合によって、流動融 合分野の基礎学理を構築すると共に、国際連携フロンティアプロジェクト研究推進 によりイノベーション科学技術領域を創出し、総合学術領域としての流動ダイナミ クスの研究教育世界拠点を確立することを目的としています。
社会科学 佐藤 嘉倫 教授	社 会 学	社会階層と不平等教育 研究拠点の世界的展開	本プログラムでは、21世紀 COE プログラム「社会階層と不平等研究教育拠点の形 成」と特別推進研究「社会階層と社会移動調査研究」を基盤として、階層・不平等・ 格差の研究教育拠点を世界的に展開します。そして格差問題に対して融合的にアプ ローチし、格差の綿密な測定、格差を生み出す社会的メカニズムの解明、格差の影 響の研究を推進し、格差是正のための政策提言を行います。また教育面では、優れ た人材育成プログラムにより、世界で活躍する、タフで独創的な人材を育成します。
社会科学 辻村 みよ子 教授	法 学 ・ 政 治 学	グローバル時代の 男女共同参画と多文化共生	この拠点は、21世紀 COE 「男女共同参画社会の法と政策」の成果を継承・発展さ せて「グローバル時代の男女共同参画（ジェンダー平等）と多文化共生」に関する 世界的ネットワークを確立し、社会科学を総合する学際融合研究教育基盤を創生す ることを目的としています。東京大学社会科学研究所や海外の諸機関との連携に基 づいた人材育成プログラムにより、若手研究者・法書実務家・政策担当者など高度 な専門家を養成することを目指し、教育研究の成果を政策に還元します。
学際・複合・新領域 中静 透 教授	環 境 学	環境激変への生態系適応 に向けた教育研究	避けられない環境変化に対して、生物・生態系の適応力を生かした対策を行う複 合的分野の確立と、そのための人材育成および社会への発信を目的とした教育研究 拠点を創出します。生物・生態システムのもつ頑健性や回復力の基礎的解明を行うと 同時に、それを応用した技術の開発、さらに社会システムとしての定着まで一連の 学問体系を確立します。研究能力・専門性だけでなく、国際的視野、社会性・実践 力をもつ人材を育成し、国際機関、企業、NGO、自治体との環境機関コンソー シアムを通じて社会に発信します。
計/7件			

主な科学技術振興調整費

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費であり、各府省の施策の先鞭となるもの、各府省毎の施策では対応できていない境界的なもの、複数機関の協力により相乗効果が期待されるもの、機動的に取り組むべきもの等で、政府誘導効果が高いものに活用される経費です。

平成18年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
若手研究者の自立的な研究環境整備促進	工学研究科・加齢医学研究所	先進融合領域フロンティアプログラム	国際的な競争環境下で世界的なレベルで先端領域の開拓ができる人材の育成を推進することを目的としています。

平成19年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成	全学(工学研究科)	マイクロシステム融合研究開発拠点	集積化マイクロシステムを中核に、機械、電気・電子、材料、化学、電気化学、バイオ工学、医学などの様々な技術を融合させて、我が国の次世代産業の種を創るイノベーション創出拠点を形成するとともに、イノベーションに繋げるための研究開発システム、新しい産学連携モデルの構築を目的としています。

平成21年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
若手研究者養成システム改革イノベーション創出若手研究人材養成	全学	高度イノベーション博士人財育成プログラム	「高度イノベーション博士人財育成センター」を設置し、博士後期課程学生およびポスドクを対象とした実務応用力および人間力の養成、ならびに国内外企業等における長期インターンシップを通じて実践力を養成して、研究成果をイノベーション創出につなげられる人財を育成・輩出することを目的としています。
女性研究者支援システム改革女性研究者養成システム改革加速	全学(女性研究者育成支援推進室等)	社都ジャンプアップ事業 for 2013	能力・職階のジャンプアップを図り、世界トップリーダーとして必要な幅広い学問領域を見渡せる「自立し、共生し、未来を育み、サイエンスを拓く社都女性研究者」を育成することを目的としています。

平成22年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
地域再生人材創出拠点の形成	工学研究科	せんだいスクール・オブ・デザイン	東北大学と仙台市が連携し、地域の課題にもとづくプロジェクト駆動型のデザイン教育を通じて、多規範適応型のデザイン・マネジメント能力を身に付けたクリエイタを養成し、クリエイティブ産業による地域経済の活性化を図ることを目的としています。
アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進戦略的環境リーダー育成拠点形成	環境科学研究科	国際エネルギー・資源戦略を立案する環境リーダー育成拠点	アジア・アフリカ地域の拠点から修士・博士課程レベルの学生及び地域の行政官を選抜し、国際的なエネルギー・資源政策や企業の国際戦略を、鳥瞰的な視座から立案できる国際環境リーダーを育成する拠点を形成することを目的としています。



せんだいスクール・オブ・デザイン 2011年度春学期特別講座「復興へのリデザイン」ワールド・カフェ 写真：Izuru Echigoya



環境リーダープログラム長期コース「環境リーダーセミナー」授業風景

大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

「国際化拠点整備事業（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）」とは、2020年を目途に30万人の留学生受入れを目指す「留学生30万人計画」を推進する文部科学省の事業であり、東北大学は拠点大学の1つとして採択されました。本学では本事業を“Future Global Leadership”プログラムとし、「国際的な視野」「高度な教養と専門的知識」「確かな研究・実践能力」を合わせ持つ、地球規模で活躍する指導的人材の育成・輩出を目的とした様々な取り組みを開始しました。基軸となる取組みとして、英語による授業のみで学位を取得できるコースの増設、短期の留学生受入プログラムの拡充、留学生支援体制の強化、東北大学生の海外派遣の促進、キャンパスの国際化を進めています。

英語コース

M=修士コース、D=博士コース

	コース名	設置学部・研究科	開設年月	
学部	先端物質科学コース	Advanced Molecular Chemistry Course	理学部	2011年10月
	国際機械工学学士コース	International Mechanical and Aerospace Engineering Course - Undergraduate	工学部	2011年10月
	国際海洋生物科学コース	Applied Marine Biology Course	農学部	2011年10月
大学院 (開設順)	学際先端工学特別コース	International Doctoral Program in Engineering, Information Sciences and Environmental Studies (D)	工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科（後期）	2001年10月
	先端理学国際コース	International Graduate Program for Advanced Science (M/D)	理学研究科（前期・後期）	2004年10月
	ヒューマン・セキュリティ国際教育プログラム	International Post-Graduate Program in Human Security (M/D)	医学系研究科、環境科学研究科、農学研究科、国際文化研究科（前期・後期）	2005年 4月
	サステナブル環境学国際コース	International Program for Environmental Sustainability Science (M/D)	環境科学研究科（前期・後期）	2009年10月
	経済学・経営学国際コース	International Program in Economics and Management (M/D)	経済学研究科（前期・後期）	2010年10月
	国際機械工学修士・博士コース	International Mechanical and Aerospace Engineering Course - Graduate (M/D)	工学研究科（前期・後期）	2010年10月
	国際材料科学修士コース	International Materials Science and Engineering Course (M)	工学研究科（前期）	2010年10月
	生命科学国際コース	International Course of Life Sciences (M/D)	生命科学研究科（前期・後期）	2011年 4月
	インフォメーションテクノロジーアンドサイエンスコース	Information Technology and Science Course (M)	情報科学研究科（前期）	2011年 4月
	インターフェイス口腔健康科学	Interface Oral Health Science Course (D)	歯学研究科（後期）	2011年10月
	言語総合科学コース	International Graduate Program in Language Sciences (M)	国際文化研究科（前期）	2011年10月
	基礎医学コース	Basic Medicine Course (M)	医学系研究科（前期）	2012年 4月
	ネットワークメディスンコース	Network Medicine Course (D)	医学系研究科（後期）	2012年 4月



留学生支援ボランティア団体
Tohoku University Foreign Student Association
(TUFSA) の学生



文系学生向け短期受け入れプログラム IPLA 開講式

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

大学病院人材養成機能強化事業（大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成）

- ※20～21年度は大学病院連携型高度医療人養成推進事業
- ※22年度は医師不足解消のための大学病院を活用した専門医療人材養成（大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成）

国公立大学病院から申請されたプログラムの中から、質の高い専門医及び臨床研究者を養成し得る内容を有するプログラムに対し財政支援を行うことにより、大学病院及び地域医療の活性化を促進し、将来の医療を担う医師養成の推進を図っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成24年度	病院	東北高度医療人キャリアパス支援システム (ハブ連結型大学病院間連携専門医養成プラン)	東北地域において高度な専門医を効率よく養成するシステムを構築するとともに、各大学病院の医師キャリアパス支援センターを中心とし、医学生から初期研修医、専門研修医、大学院教育まで、一貫した医師の生涯キャリアパス支援体制を整備します。

大学病院人材養成機能強化事業（周産期医療に関わる専門的スタッフの養成）

- ※21年度は周産期医療環境整備事業（人材養成環境整備）
- ※22年度は医師不足解消のための大学病院を活用した専門医療人材養成（周産期医療に関わる専門的スタッフの養成）

産科・小児科などの医師不足を背景にした喫緊の課題である周産期医療に関わる専門的スタッフを養成する事業など、国公立大学病院における取組を支援し、優れた専門医・看護師等の高度な知識・技術を有する人材の養成を図るものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成21年度～ 平成24年度	病院	周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト	産科・新生児医師を増やすための医学生、研修医への積極的働きかけと女性医師の就業継続と復帰支援の2つを柱としています。「命の誕生プロジェクト」では、医学生・臨床研修医が命の誕生の感動を経験することによって将来的に周産期医療を志望してもらうことを目的とし、「東北レディオブスベトリシャン2009 (TOL09) プロジェクト」では、女性医師が妊娠出産・育児中も継続して就業できる環境を整え、自らの経験を生かした安全かつ満足度の高い周産期医療の実現を目標としています。

大学病院人材養成機能強化事業（看護師の人材養成システムの確立）

- ※21年度は看護職キャリアシステム構築プラン
- ※22年度は医師不足解消のための大学病院を活用した専門医療人材養成（看護師の人材養成システムの確立）

産科・小児科などの医師不足を背景にした喫緊の課題である周産期医療に関わる専門的スタッフを養成する事業など、国公立大学病院における取組を支援し、優れた専門医・看護師等の高度な知識・技術を有する人材の養成を図るものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成21年度～ 平成25年度	病院	看護キャリアプロモート支援システム開発	大学病院と医学部保健学科等が連携し学問的検討を加えながら、臨床研修体制やその効果的な方法を開発し、実施することによって看護職の実践能力および教育力の向上が図られること、また生涯を通じて看護職が活躍し続けられるキャリアパスを明示することにより、一人ひとりの看護職が自己のキャリアをプロモートできるためのシステムを構築することを目的としています。

大学病院における医師等の勤務環境改善のための人員の雇用

医師事務作業補助者等を雇用し、関係職種間の役割分担を推進することにより、医師・看護師の業務負担の軽減を図る大学病院の取組を支援するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成23年度	病院	東北大学病院業務改善推進事業	医療現場の医師や看護師の業務負担の改善を図り、医療安全や質の向上を図るために、医師の事務業務や看護師の業務の補助をおこなう医師事務作業補助者や看護補助者の雇用をすることで、医師や看護師の負担を軽減するだけでなく医師や看護師が本来の業務に専念する環境を整備することを目的としています。

がんプロフェッショナル養成プラン

がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師等、がんに特化した医療人養成の取組を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成23年度	医学系研究科	東北がんプロフェッショナル養成プラン	がん対策の一層の充実を図るため、がん専門医療者を目指す若い人材を育成し、専門資格取得のために必要な学識・技能習得と学際的かつ総合的な臨床研究推進能力を高める大学・地域一体の包括的教育プログラムです。

理数学生応援プロジェクト

将来有為な科学技術関係人材を育成するため、理系学部を置く大学において、理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力をさらに伸ばすことに重点を置いた取組を文部科学省が大学に委託するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成23年度	理学部	先端的数学・物理学の英才教育プロジェクト	数理に突出した素養を早期に引き出し、大学院における研究への橋渡しとすることを目的として、「数学」および「物理学」に特化した少人数の英才教育を行います。

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

特色ある教育への取り組み

実践的英語能力をさらに高めることを目的に、学部学生及び大学院学生を対象とした課外授業を実施しています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成17年度～	高等教育開発推進センター	プラクティカル・イングリッシュコース	ネイティブスピーカーを講師とし、ディスカッションやプレゼンテーションを中心に実践の場で必要とされる英語能力取得を目指します。

意欲的な学部学生を対象に、数学の演習を中心としたレベルの高い少人数教育（課外授業）を実施しています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成19年度～	高等教育開発推進センター	アドバンスト・マスマティクスコース	理工系のみならず、あらゆる分野に展開できる科学の基礎言語としての数学の学力をつけることを目指します。

寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成23年5月1日現在)

寄附講座

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成23年度	医学系研究科	上肢運動器学	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度(継続)	医学系研究科	造血管病理学	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度(継続)	医学系研究科	先進感染症予防学	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度(継続)	医学系研究科	ナノ医科学	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度	歯学研究科	生体適合性計測工学	平成23年 4月 1日～平成28年 3月31日
平成23年度	歯学研究科	次世代歯科材料工学	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度(継続)	歯学研究科	口腔ケア推進開発	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成23年度(継続)	環境科学研究科	環境物質制御学(DOWAホールディングス)	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度(継続)	農学研究科	家畜福祉学	平成23年 4月 1日～平成25年 9月30日
平成22年度(継続)	医学系研究科	多発性硬化症治療学	平成22年 5月 1日～平成25年 4月30日
平成22年度	医学系研究科	感染症診療地域連携	平成22年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成22年度	医学系研究科	周産期医療人材養成	平成22年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成22年度	医学系研究科	血液分子治療学	平成22年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成22年度	医学系研究科	大動脈疾患治療開発学	平成22年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成22年度	農学研究科	環境保全型牛肉生産技術開発学(アレフ)	平成22年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	統合癌治療外科学	平成21年10月 1日～平成24年 9月30日
平成21年度(継続)	医学系研究科	先進漢方治療医学(ツムラ)	平成21年10月 1日～平成24年 9月30日
平成21年度(継続)	医学系研究科	循環器先端医療開発学	平成21年10月 1日～平成24年 9月30日
平成21年度	工学研究科	環境機能利用工学(三菱マテリアル)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度(継続)	工学研究科	先端電力工学(東北電力)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	視覚先端医療学	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	創薬科学(持田製薬)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度(継続)	理学研究科	分子変換学	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	薬学研究科	地域薬局学(オオノひかり薬局)	平成21年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成21年度(継続)	情報科学研究科	先端情報共有技術論(KDDI)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	中心血圧研究	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成20年度	医学系研究科	臨床微生物解析治療学	平成21年 2月16日～平成24年 1月31日
平成20年度(継続)	医学系研究科	高齢者高次脳医学	平成20年11月 1日～平成24年 3月31日
平成20年度(継続)	薬学研究科	医薬開発構想	平成20年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成20年度	環境科学研究科	エネルギー・セキュリティ学(JAPEX)	平成20年 4月 1日～平成23年 9月30日
平成19年度	医学系研究科	循環器EBM開発学	平成19年10月 1日～平成24年 9月30日

寄附研究部門

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成23年度(継続)	未来医学治療開発センター	ニューロ・イメージング研究(住友電気工業)	平成23年 5月 1日～平成24年 3月31日
平成23年度(継続)	加齢医学研究所	加齢ゲノム制御プロテオーム(DNA修復)	平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成23年度(継続)	加齢医学研究所	認知機能発達(公文教育研究会)	平成23年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成23年度(継続)	学際科学国際高等研究センター	窒化物半導体デバイス基盤技術	平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成22年度	電気通信研究所	環境適応型高度情報通信工学	平成22年 5月 1日～平成25年 4月30日
平成22年度(継続)	工学研究科	電力エネルギー未来技術(東北電力)	平成22年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成22年度(継続)	加齢医学研究所	抗感染症薬開発	平成22年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成22年度(継続)	多元物質科学研究所	窒化物結晶	平成22年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	工学研究科	抗認知症機能性食品開発	平成21年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成21年度	工学研究科	エネルギー材料環境強度学	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成20年度	未来医学治療開発センター	未来医療モデル開発	平成20年 8月 1日～平成23年 7月31日
平成21年度	未来科学技術共同研究センター	未来情報産業創製	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日

産学官連携ポリシー

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、次の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立って産学官連携活動を進めます。
5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

産学連携

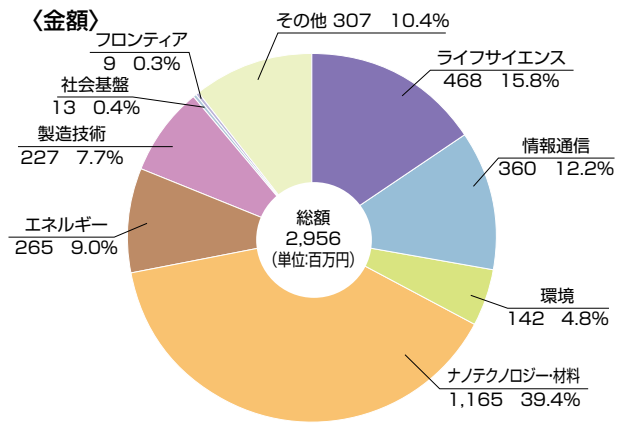
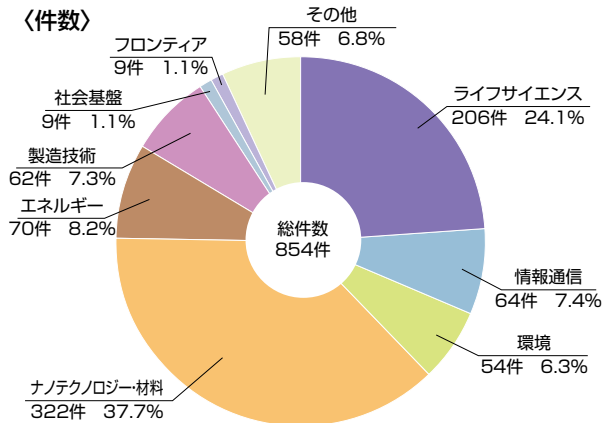
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数 (件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	284	1,129
平成16年度	392	1,675
平成17年度	479	1,827
平成18年度	519	2,028
平成19年度	698	2,086
平成20年度	786	2,459
平成21年度	837	2,692
平成22年度	854	2,956

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数 (件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	373	3,450
平成16年度	456	6,149
平成17年度	483	7,358
平成18年度	591	7,927
平成19年度	554	9,101
平成20年度	596	9,131
平成21年度	611	9,563
平成22年度	589	10,008

平成22年度 民間等との共同研究実施状況



※文部科学省産学連携等実施状況調査による区分

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年 1月19日	日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究を目指す。
平成18年 2月21日	放射線医学総合研究所	PET(陽電子断層撮像法)を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成18年 7月27日	セイコーエプソン	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	河北新報	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年 1月31日	七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWA ホールディングス	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成19年 8月 3日	宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	宇宙及び航空科学分野を中心に、生命科学など他分野を含めた共同研究や教育・人材育成を目指す。
平成20年 7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 2月19日	高エネルギー加速器研究機構 (KEK)	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 3月 9日	自然科学研究機構 核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 4月14日	独立行政法人理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成22年 2月12日	NTT、NTT 東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成22年 6月 4日	住友金属鉱山(株)	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。

特色ある研究・教育・社会貢献活動

社会との連携協力

サイエンスカフェ

サイエンスカフェとは、高校生など一般の方々と科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、社会の広い範囲の方達にサイエンスの楽しさに触れてもらう場です。

東北大学イノベーションフェア2010 in 仙台

開催日	内容	開催地
平成22年10月18日	ロボット、医工連携・ライフサイエンス、ナノテク・材料、情報通信、環境・エネルギー、社会科学関連などの各分野における最先端の研究及び若手研究者による萌芽的研究の紹介とプレゼンテーション	仙台国際センター



サイエンスカフェ in 秋田

社会との連携協力

公開講座

(平成22年度)

区分	講座の名称	実施部局	
部局主催	第46回東北大学教育指導者講座	教育学研究科	
	平成22年度 軽水炉高齢化対応セミナー	工学研究科	
	極限表面制御半導体プロセス工学講座		
	極限知能デバイスシステム工学講座		
	非平衡金属の材料科学と応用技術	環境科学研究科	
	低炭素社会のための建築リノベーション～耐震・エコ改修～		
	実態論ベースの安全学に向けて		
環境材料プロセス学特論			
みやぎ県民大学 大学開放講座	環境生命・生態学特論	環境科学研究科	
	地球環境計測学特論		
	人間理解の方法論2：世界・日本・仙台		文学研究科
	健康に生きることは口から始まる		歯学研究科
	食品関連のトピックス紹介		農学研究科
「学都仙台コン ソーシアム」 サテライトキャン パス公開講座	アジアの環境と社会	環境科学研究科	
	地球にやさしいエネルギーとエコ材料～太陽電池から水素まで～	金属材料研究所	
	ながれ	流体科学研究科	
	持続可能な社会創生のための物づくりプロセス・システム	多元物質科学研究所	
	「人間は機械である」と考える治療	加齢医学研究所	
	コーカサス史の魅力	国際文化研究科	
	半導体が拓く未来：自然と調和する環境とエネルギー～地球に優しい暮らしのために～	国際科学国際高等研究センター	
	政治環境の変化と政権交代	情報科学研究科	
	環境とエネルギーの安全科学	エネルギー安全科学国際研究センター	
	薬理学者からの市民への伝言	医学部	
宮城野高校	脳の画像と医学、哲学、心理学	加齢医学研究所	
	文化の翻訳～文化人類学入門	文学研究科	
	企業利益とは～その算出方法～	経済学研究科	
	地球物理学のスミメ～地震発生のメカニズム～	理学研究科	
	建築デザインの楽しみ方	工学研究科	
	人類の生存を支える農学研究	農学研究科	
	哲学の世界～アキレスと亀～	文学研究科	
	外国語（言語学）の世界～言語学と関連分野～	農学研究科	
	農学の世界～昆虫フェロモンの化学～	理学研究科	
	地球物理学のスミメ～地震発生のメカニズム～	工学研究科	
仙台一高 (地域開催)	材料製造への電磁気的应用～材料電磁プロセッシング	工学研究科	
	創造的思考の心理学	教育学部	
	心理学入門	文学部	
	最近の中国経済について	経済学部	
	地球大変動～生物は生き残れるか～	理学部	
	人間支援ロボット	工学部	
	血液型性格学の流行を行動科学で考える	文学部	
	生き残りを賭けた日本企業の経営戦略	経済学部	
	シミュレーション化学が描く分子の世界	理学部	
	「エックス線検査の放射線被ばく」：患者さんや医療従事者の被ばくは大丈夫？！	医学部	
白石高校 (地域開催)	ことばがわかるコンピュータはどこまでできたか～自然言語処理から人の「知」にせまる～	工学部	
	小惑星・彗星の探査計画と太陽系の起源と進化	理学研究科	
	宇宙へ行くってどうということ	工学研究科	
	地球物理学のスミメ～アスペリティモデルと想定宮城県沖地震～	理学研究科	
	ナノスケールの“ものづくり”	工学研究科	
	東北大学における医学教育	医学系研究科	
	哲学の始まり	文学研究科	
	大気圏突入の工学～はやぶさの帰還で得られるもの	工学研究科	
	「アリス」で学ぶ、英文学入門	文学研究科	
	粘土鉱物を利用した環境保全・浄化技術の開発	工学研究科	
佐沼高校 (地域開催)	エネルギーと新しい炎のサイエンス	工学研究科	
	物理学の世界：原子を見る	理学研究科	
	大学とは？科学とは？金属錯体とは？ナノテクノロジーとは？仙台一高卒業生からノーベル賞受賞者が出るか？	工学研究科	
	模擬授業「光と量子」	工学研究科	
	薬をはかる	薬学研究科	
	農学研究科の現在と次世代研究について	農学研究科	
	金融危機を題材に～金融工学の光と影～経済学部志望の高校生と考える～	経済学部	
	放射線診断学って何？	医学部	
	言葉の習得：学習が本能か？	文学部	
	企業活動と法 一株主有限責任制度を題材に～	法学部	
古川高校	土と植物をつなぐ、菌根菌（きんこんさん）の不思議	農学部	
	教育を科学しよう～教科内容と教授法をこえて～	教育学部	
	「源氏物語」とは何か？	文学部	
	ある日の東北大学法学部における民法の講義	法学部	
	大学における経済学の学び	経済学部	
	マイクロチップ インザボディ ～生体と機械の融合～	工学部	
	材料研究で東北大学から世界へはばたく	工学部	
	超分子化学の基礎と応用	工学部	
	東北大学における医学教育	医学部	
	生き物の進化の謎に迫る	生命科学研究所	
仙台二高	教育を科学しよう～教科内容と教授法をこえて～	教育学部	
	サンデル・ブームと民主党政権の「新しい公共」～政治を学問する～	法学部	
	模擬授業「ロボットとの対話～言葉を理解する機械に向けて～」	工学部	
	数値シミュレーションで創る社会環境	工学部	
	大学と有機合成化学	薬学部	
	ポアンカレ予想が解かれるまでの100年間	理学部	
	肥満や動脈硬化症を予防する食品成分の生理機構の解明	農学部	
	地球と宇宙の科学	農学部	
	日本文化の伝統と現代～国際共修ゼミ～	農学部	
	時代の文脈からみた「食」と「農」	農学部	
東北大学	言語としての手話入門	言語学	
	現代の保健医療の抱える問題	医学部	
	新聞から見た現代社会論	社会学部	
	身近な病気の基礎知識	医学部	
	日本文化を考える～国際共修ゼミ～	文学部	
	地球の資源と環境	環境科学研究科	
	ながれの科学～分子から宇宙まで～	工学部	
	学校を考える	教育学部	
	食から探る生物・生命・暮らしの科学	農学部	
	社会的ジレンマ：環境問題の基本メカニズム	社会学部	
科学と人間	理学部		
歴史の中かの東北大学	文学部		
世界の中の日本～国際共修ゼミ～	文学部		
英語	国際共修ゼミ		

高等教育開発推進センター

特色ある研究・
教育・社会貢献活動

■ 東北大学萩友会

東北大学萩友会は、創立100周年を迎えた2007年に次の100年の大学づくりの礎として発足しました。本会は14万人に及ぶ同窓生に加えて、約1万8千人の在校生、約6千人の教職員、そして在校生の家族等を会員とし、会員相互の親睦と交流、発展に資するとともに、大学と会員とのコミュニケーションを密にして「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成、強化などを目指していきます。

東北大学萩友会員が一体となる「東北大学コミュニティ」の形成

東北大学萩友会の会員（同窓生・在校生・現職の教職員・在校生の家族等）が親睦・交流を図るイベントとして、東北大学ホームカミングデー及び各地区での交流会を開催しております。

また、年次別同窓会を開催する際に世話役を担う第100～104期までの卒業生（各学部選出）を年次別同窓会幹事として信任しました。



東北大学103周年ホームカミングデー

東北大学ホームカミングデーとは、同窓生が旧友や恩師と再会し、在校生と親睦・交流を深めていただくため、そして何より「母校にかえってきていただきたい」という思いを込めた企画であり、2007年から毎年10月に開催しております。

平成22年10月9日（土）

・萩友会総会

11:15～12:00

百周年記念会館 川内萩ホール

同窓生・在校生代表者によるスピーチのほか、年次別同窓会幹事を信任・紹介しました。最後は、応援団のリードのもと会場全体で学生歌を斉唱しました。



会長挨拶



学生歌斉唱

・仙台セミナー

13:00～15:50

百周年記念会館 川内萩ホール

「東北の精神～場が生み出す価値と選択～」

東北の文化や歴史にスポットを当て、その奥にあるアイデンティティを、講師のリレートークから読み解きました。



伊集院静氏による講演



パネルディスカッション

講演

- 「東北の文化性」 作家 伊集院 静
- 「なぜ政宗は仙台を選んだか」—政宗の国造りにみる“場”の思想— 東北大学東北アジア研究センター教授 平川 新
- 「生者と死者が出会う場所」—霊地からみた東北の精神世界— 東北大学文学研究科教授 鈴木 岩弓
- パネルディスカッション

・在校生と卒業生との親睦会

第1部 12:00～16:30 川内サブアリーナ棟

第2部 17:00～ 川内の杜ダイニング

同窓の先輩に学生生活の体験談を聞いたり、将来に関する相談を行うなど、在校生と卒業生が親睦を深める場として開催しました。



在校生と卒業生との親睦会第1部



在校生と卒業生との親睦会第2部

平成22年10月10日（日）

・秋の文化フェスティバル

発表の部 13:00~15:30
 展示の部 13:00~17:20

百周年記念会館 川内萩ホール

学友会文化部加盟団体が日頃の活動の成果を発表しました。

参加団体 マンドリン楽部、ジャズオーケストラ、落語研究部、吹奏楽部、リコーダーアンサンブル、美術部、男声合唱団、写真部、書道部



ジャズオーケストラによる発表



写真部・美術部・書道部による展示

・ロビー・パフォーマンス

12:50~17:20

百周年記念会館 川内萩ホール

川内萩ホールのロビーをステージとして、学内外の参加団体が、日頃研鑽している名演・美技を披露しました。

参加団体 (学内) 奇術部、書道部、落語研究部、青葉城址男声合唱団、ブルークラス同好会、MUSICA、ジャズオーケストラ、学友会応援団(一般) ステラ、仙台サクソフォンアンサンブルクラブ、ザ・ウィンドオーケストラ仙台



落語研究部によるパフォーマンス



ザ・ウィンドオーケストラ仙台によるパフォーマンス

・東北大学103周年ホームカミングデー記念コンサート

17:30~19:30

百周年記念会館 川内萩ホール

記念コンサートでは空間を使った演劇の要素をも取り入れ、世代や経歴を越えた総勢300名の出演者がホームカミングデーのフィナーレを盛り上げました。

参加団体 混声合唱団、男声合唱団、OB会合唱団、演劇部・渡部ギユウ、混声合唱団同窓会「秋の子」、東北大学交響楽団



演劇部・渡部ギユウ



合同ステージ

各地区での交流会

同窓生や在校生の保護者等を対象に2009年から各地区で交流会を開催し、本学の現況や最先端の研究成果等の紹介しながら親睦・交流を深めることで、本学及び校友会の活動への理解と関心を深めていただくことにより、当該地区における大規模な「東北大学コミュニティ」の醸成を図っております。



東北大学103周年関東交流会



東北大学103周年九州交流会



東北大学104周年関西交流会

年次別同窓会幹事の信任

東北大学校友会年次別同窓会幹事は、10年後、20年後等の節目に東北大学コミュニティの醸成を目的とする「年次別同窓会」開催の折に世話役を担うものです。

平成22年度は今春卒業した第104期幹事のほか、第100~102期幹事が信任されました。





國際交流

大学間協定

29ヶ国・地域 155機関

ドイツ

- *アーヘン工科大学 (1998.5.19)
- *ドルトムント大学 (1999.3.2)
- *ザールラント大学 (1999.10.5)
- *ダルムシュタット工科大学 (2003.4.30)
- *ゲッティンゲン大学 (2003.10.23)
- *ドレスデン工科大学 (2006.6.26)
- *ベルリン工科大学 (2009.8.26)
- *ミュンヘン工科大学 (2010.8.3)

ベルギー

- ベルギー原子力研究センター (2005.6.16)

イギリス

- インペリアル・カレッジ・ロンドン (1988.5.4)
- ロンドン大学"The London School of Economics and Political Science" (1989.1.3)
- ロンドン大学"The School of Oriental and African Studies" (1989.4.10)
- *ノッティンガム大学 (2001.5.15)
- ヨーク大学 (2004.6.7)
- *シェフィールド大学 (2009.8.21)

フランス

- *ピエール・マリー・キュリー大学 (1999.8.19)
- *レンヌ第2大学 (1999.12.3)
- *グルノーブルコンソーシアム (2000.3.31)
グルノーブル第1大学ジョゼフ・フーリエ
グルノーブル第2大学ピエール・マンデス・フランス
グルノーブル第3大学スタンダール
グルノーブル理工科大学 (INPG)
- *ストラスブール大学 (2000.3.31)
- *レンヌ第1大学 (2000.12.20)
- *The Global Education for European Engineers and Entrepreneurs (GE4) (2002.11.14)
- *国立応用科学院リヨン校 (2004.7.13)
- *ポルドー第1大学 (2005.7.28)
- *国立中央理工学校 (Ecole Centrale) 5校 (2006.2.13)
リール校
リヨン校
マルセイユ校
ナント校
パリ校
- *アルピ鉱山大学 (2006.9.12)
- *リヨン政治学院 (2008.6.6)
- *リヨン高等師範学校 (2008.8.11)
- *エコール・ポリテクニーク (2009.9.9)
- *リヨン第2大学 (2009.10.20)
- *コンピエヌ工科大学 (2010.3.15)

スイス

- *スイス連邦工科大学ローザンヌ校 (2000.11.20)
- *スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (2010.7.21)

イタリア

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」 (1990.9.27)
- *フィレンツェ大学 (2009.8.21)
- *トリノ工科大学 (2010.11.24)

モロッコ

- *ムハンマド5世大学-アグダル (2001.4.30)

ウクライナ

- *ウクライナ国立工業大学 (キエフ工科大学) (2004.6.2)

イラン

- *テヘラン大学 (1999.8.25)

インド

- *インド工科大学ボンベイ校 (2000.8.21)
- *インド科学大学 (2008.12.18)

ベトナム

- *ベトナム国立大学ハノイ校 (2009.7.6)

スウェーデン

- *ウーメオ大学 (1997.8.18)
- *王立工科大学 (2000.9.20)
- *ウプサラ大学 (2002.3.20)
- *ストックホルム大学 (2003.1.14)
- *チャルマース工科大学 (2006.4.19)

フィンランド

- *アアルト大学 (2001.11.5)
- *オウル大学 (2004.8.9)
- *タンペレ工科大学 (2006.1.31)

オーストリア

- *ウィーン大学 (2010.2.24)

タイ

- *アジア工科大学院 (1998.11.9)
- *スラナリー工科大学 (2001.3.1)
- *キングモンクット工科大学
ラカパン校 (2004.4.15)
- *チュラロンコン大学 (2011.2.3)



南アフリカ

- *クワズルルー・ナタール大学 (2010.12.20)

シンガポール

- *シンガポール国立大学 (2000.9.16)

インドネシア

- *インドネシア大学 (2004.3.19)
- *ガジャマダ大学 (2006.12.16)
- *バンドン工科大学 (2008.6.4)
- *ボゴール農科大学 (2010.3.23)

ニュージーランド

- *オークランド大学 (2002.11.15)

(平成23年5月現在)



ポーランド

ポーランド科学アカデミー・触媒表面化学研究所
(1999.8.4)

モンゴル

モンゴル科学アカデミー (2000.8.21)
*モンゴル科学技術大学 (2001.11.16)

ロシア

ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (1992.8.10)
*モスクワ国立大学 (1998.2.19)
*ノボシビルスク国立大学 (2003.7.4)

カナダ

*ウォータールー大学 (2006.10.30)
*オタワ大学 (2009.6.26)

アメリカ

*ペンシルバニア州立大学 (1988.11.29)
*カリフォルニア大学 (1990.3.15)
バークレー校
デイビス校
アーヴィン校
ロサンゼルス校
リバーサイド校
サンディエゴ校
サンタバーバラ校
サンフランシスコ校
サンタクルス校
マーセド校
*ワシントン大学 (シアトル) (1996.7.3)
*パーデュー大学 (1997.9.23)
*アラスカ大学 (1999.1.12)
*コロラド鉱山大学 (2004.1.7)
*シラキュース大学 (2008.11.19)
*国際教育協会 (2009.1.27)
*テンプル大学 (2010.6.7)
ハーバード大学 (2010.7.22)

中国

*東北大学 (瀋陽) (1983.8.5)
*中国科学技術大学 (1998.6.15)
*清華大学 (1998.8.31)
*南京大学 (1999.9.1)
*北京大学 (1999.11.10)
*吉林大学 (2001.3.1)
*浙江大學 (2001.4.9)
*復旦大学 (2001.4.19)
*武漢理工大学 (2001.4.30)
*重慶大学 (2001.7.4)
*同濟大学 (2002.8.13)
*中国海洋大学 (旧：青島海洋大学) (2002.10.21)
*北京科技大学 (2002.10.25)
*南京航空航天大学 (2003.3.10)
*廈門大学 (2005.6.29)
*華中科技大学 (2005.10.12)
*西安交通大学 (2006.8.31)
*華東師範大学 (2006.9.20)
*北京航空航天大学 (2006.12.16)
*蘭州大学 (2007.4.17)
*天津大学 (2007.6.8)
*大連理工大学 (2007.6.16)
*揚州大学 (2008.6.20)
中国社会科学院 (2008.10.15)
*東南大学 (2009.6.29)
*上海交通大学 (2009.10.15)
*北京工業大学 (2010.10.16)
*北京郵電大学 (2010.10.17)
*香港科技大学 (2011.2.1)

韓国

*全北大学校 (1991.11.12)
*ソウル大学校 (1998.7.8)
*光州科学技術院 (2000.8.21)
*釜慶大学校 (2000.8.21)
*浦項工科大学校 (2000.9.22)
*韓国科学技術院 (2001.4.24)
*忠南大学校 (2001.7.9)
*慶北大学校 (2002.9.2)
*嶺南大学校 (2003.12.3)
*東義大学校 (2003.12.19)
*朝鮮大学校 (2004.3.18)
*高麗大学校 (2004.3.31)
*国立昌原大学校 (2005.10.2)
*西江大学校 (2007.2.2)
*延世大学校 (2007.5.29)
*釜山大学校 (2007.7.26)
*国立公州大学校 (2007.7.29)
*中央大学校 (2008.3.27)
*慶熙大学校 (2010.3.5)

ベネズエラ

*シモン・ボリバル大学 (2008.1.8)

台湾

*国立台湾大学 (2000.11.18)
*国立台湾海洋大学 (2002.3.8)
*国立中正大学 (2003.11.14)
*国立成功大学 (2005.8.9)
*国立交通大学 (2005.12.15)
*国立中興大学 (2009.3.30)
*国立清華大学 (2009.12.2)
*国立政治大学 (2011.4.22)

オーストラリア

*シドニー大学 (1993.1.8)
*ニューサウスウェールズ大学 (2001.4.7)
*オーストラリア国立大学 (2002.7.16)

注1) *印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2) 協定大学名の後の括弧は協定締結年月日。

■ 学術交流協定締結等

部局間協定

42ヶ国・地域 323機関

部局名	エリア	国・地域名	協定校名	
文学研究科・文学部 (6)	アジア	台湾	国立中山大学文学院中国文学系 中央研究院歴史語言研究所 中央研究院中国文哲研究所 天主教輔仁大学外語学院	
	ヨーロッパ	イタリア	ローマ大学「ラ・サピエンツァ」東洋学部 ローマ大学「ラ・サピエンツァ」文学・哲学学部	
教育学研究科・教育学部 (8)	アジア	韓国	明知大学校社会教育大学院 延世大学校教育科学大学 又松(ウソン)大学校保健福祉学部	
		中国	北京大学日本研究センター 南京師範大学教育科学学院 台東大学師範学院	
	ヨーロッパ	イギリス	ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション ヨーク大学教育学部	
	法学研究科・法学部 (7)	アジア	韓国	国民大学校社会科学大学
中南米		中国	中国社会科学院法学研究所	
		ブラジル	リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程	
ヨーロッパ		ドイツ	ゲッティンゲン大学法学部 ハイデルベルク大学法学部	
経済学研究科・経済学部 (10)	アジア	イタリア	ミラノ大学法学部	
		ポーランド	マリア・キュリー・スクロドゥスカ大学法学部	
		タイ	泰日工業大学 コーンケン大学管理科学学部	
		ベトナム	貿易大学国際経済学部	
		中国	中国人民大学商学院 東北財経大学会計学院 湖南大学金融学院	
		台湾	東呉大学商学院 国立政治大学社会科学学院 国立台北大学商学院	
	ヨーロッパ	イギリス	レスター大学社会科学部	
	理学研究科・理学部 (28)	アジア	タイ	スラナリー工科大学大学院加速物理学研究科 チュラロンコーン大学理学部 チュラロンコーン大学経済学部
			インドネシア	ディボネゴロ大学水産・海洋科学部
			韓国	国立公州大学校大学院 成均館大学校自然科学部
中国			中国科学院南海海洋研究所 蘭州大学理学系研究科 中国科学院上海有機化学研究所 中山大学環境科学・工程学院 大連理工大學化工学院	
オセアニア		台湾	中央研究院地球科学研究所	
		オーストラリア	メルボルン大学理学部	
北米		ニュージーランド	ニュージーランド地質・核科学研究所	
		アメリカ	アラスカ大学フェアバンクス校 イリノイ大学シカゴ校 カーネギー研究機構地球物理学研究所	
ヨーロッパ		デンマーク	コペンハーゲン大学	
		イギリス	サセックス大学化学、物理及び環境科学部	
		ベルギー	ルーバンカトリック大学理学研究科	
		オランダ	ユトレヒト大学生物学部	
		ドイツ	ゲッティンゲン大学化学研究科 ハイデルベルク大学化学研究科	
		フランス	ビーレフェルト大学共同研究センター701	
医学系研究科・医学部 (8)		アジア	ロシア	高等師範学校リヨン校
			ロシア	ロシア科学アカデミー・極東支部自動制御処理研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部 V.I. Il'ichev 太平洋海洋研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部ソボレフ地質学鉱物学研究所
	フィリピン		サンラザロ病院	
	韓国		又松(ウソン)大学校保健福祉大学	
	オセアニア	モンゴル	モンゴル医学アカデミー	
		中国	中国医科大学 衛生部北京医院 ハルビン医科大学	
	ヨーロッパ	オーストラリア	クイーンズランド工科大学衛生保健学部看護学科	
	歯学研究科・歯学部 (8)	チェコ	マサリク大学医学部	
アジア		韓国	全南大学校歯科大学	
		中国	四川大学華西口腔医学院 天津医科大学口腔医学院	
北米		カナダ	プリティッシュコロンビア大学歯学部	
		アメリカ	フォーサイス研究所	
ヨーロッパ		フィンランド	オウル大学歯学部	
	スウェーデン	ウーメオ大学歯学部		
薬学研究科・薬学部 (4)	アジア	イギリス	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート	
		韓国	成均館大学校薬学大学 忠北大学校薬学大学	
	ヨーロッパ	中国	四川大学華西薬学院	
	イタリア	ミラノ大学薬学部		

(平成23年5月現在)

部局名	エリア	国・地域名	協定校名
工学研究科・工学部 (72)	アジア	インド	ブネ国立化学研究所
		タイ	プリンス・オブ・ソクラー大学工学部
			タマサート大学シリントーン国際工学部
		タイ	泰日工業大学
		シンガポール	キングモンクット工科大学トンブリ校工学部
		インドネシア	ナンヤン工科大学工学部
			バンドン工科大学
		インドネシア	インドネシア科学院
			セプル・ノーベンパー工科大学
		フィリピン	ミンダナオ州立大学イリガン工科大学
		韓国	全北大学校工科大学
			釜慶大学校 (旧: 釜山水産大学校)
			ソウル大学校工科大学
			慶北大学校工科大学
			延世大学校工科大学
			嶺南大学校工科大学
			忠南大学校工科大学
			漢陽大学校工科大学及び大学院
			全南大学校工科大学
			建国大学校大学院、工学部、建築学部、情報通信学部、生命環境科学部
			ベトナム
		ベトナム	ベトナム科学技術アカデミー・材料科学研究所
		ベトナム	ハノイ工科大学
		ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン市・理科大学
		中国	東北大学 (旧: 東北工学院)
			浙江大学工学部
			重慶大学工学院
			ハルビン工業大学
			西安電子科技大学
			大連理工大学研究生院
			中国科学院化学研究所
			河北理工大学
			電子科技大学
	華東理工大学 機械・動力工学部		
	台湾		国立彰化師範大学理学院
	台湾	台湾工業技術研究院南分院	
	中近東	イラン	シラス大学工学部
	オセアニア	オーストラリア	グリフィス大学工学部・情報学部
		カナダ	ウォーターロー大学工学部
	北米	アメリカ	イリノイ大学工学部・バイオアクステクス研究所
			ワシントン大学工学部
		イリノイ工科大学	
		ジョージア工科大学工学部	
		ワイオミング大学工学部	
		ニューヨーク市立大学シティカレッジ工学部	
		中南米	メキシコ
	チリ	アタカマ大学	
ヨーロッパ	フィンランド	コンセプシオン大学	
		トゥルク応用科学大学電気通信・eビジネス学部	
	スウェーデン	王立工科大学	
	スウェーデン	リンショーピン大学工学部	
	スウェーデン	チャルマース工科大学	
	デンマーク	デンマーク工科大学	
	デンマーク	オールボー大学通信基盤研究センター	
	イギリス	マンチェスター大学物理工学部機械・航空・土木工学科	
	ベルギー	ブリュッセル自由大学建築学部	
	ドイツ	アーヘン工科大学機械工学部、鉱山冶金・地球科学部	
		ハンブルグ・ハールブルグ工科大学	
	ドイツ	フライブルグ大学マイクロシステム技術研究所	
	ドイツ	エルランゲン大学工学部	
	ドイツ	レーゲンスブルク大学物理学部	
	フランス	メッス大学	
		IFMA大学工学部	
		国立応用科学院トゥールーズ校	
		国立モンペリエ高等建築大学	
		国立ボルドー高等電気情報通信大学	
		トロイ工科大学	
サンテティエンヌ国立高等鉱山大学			
イタリア	ローマ大学「ラ・サピエンツァ」情報工学部		
スイス	スイス連邦工科大学ローザンヌ校		
チェコ	VSB-オストラハ工科大学		
スロベニア	リュブリャナ大学工学系4学部		
農学研究科・農学部 (14)	アジア	タイ	カセサート大学理学部
		タイ	カセサート大学農学部
		タイ	カセサート大学水産学部
		インドネシア	バジャジャラン大学大学院
		韓国	済州大学校農科大学
		中国	中国海洋大学 (旧: 青島海洋大学水産学院)
			上海海洋大学
		中国	揚州大学動物科学技術学院
		中国	中国科学院上海有機化学研究所
		台湾	台北医学大学公衆衛生栄養学院
	ヨーロッパ	スウェーデン	スウェーデン農科大学農業・景観計画・園芸学部及び獣医学部
		スペイン	ピゴ大学理学部
		イタリア	ラクユラ大学実験医学部
ハンガリー	セントイストヴァン大学農学部及び食品学部 (旧: ハンガリー農科・食品工科大学)		

部局間協定

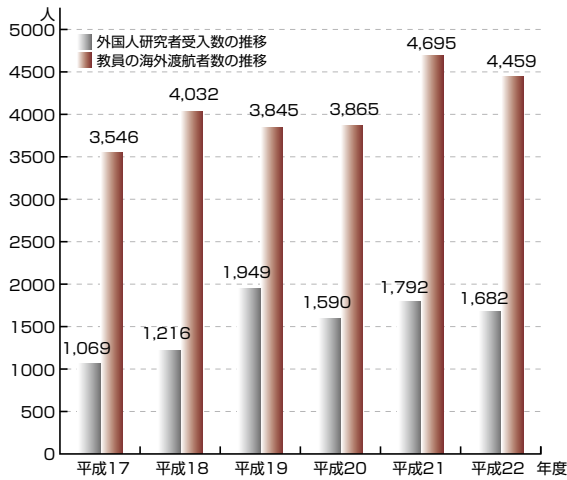
部局名	エリア	国・地域名	協定校名		
国際文化研究科 (2)	ヨーロッパ	ウズベキスタン	タシケント国立経済大学		
		キルギス	キルギスタン国際大学		
情報科学研究科 (15)	アジア	タイ	タマサート大学シリントーン国際工学部		
		中国	北京郵電大学情報通信工程学院 中国人民大学公共管理学院 ハルビン工業大学計算機科学・技術学院		
		台湾	国立台北大学社会科学学院 国立台北大学公共政策学院 開南大学資訊学院		
		北米	カナダ	ビクトリア大学工学部	
		ヨーロッパ	アイスランド	レイキャビク大学計算機科学学部	
		ドイツ	カールスルーエ工科大学		
	フランス	国立パリ高等情報通信大学			
	イタリア	ローマ大学トアヴェルガータ校ヴォルテラ・センター バジリカータ大学工学部 ローマ大学「ラ・サピエンツァ」情報工学部			
	ポーランド	ヴロツワフ大学数学・計算科学研究科			
	生命科学研究科 (4)	アジア	韓国	順天大学校農業生命科学大学	
		ヨーロッパ	イギリス	ユニバーシティカレッジロンドン (UCL) 生命科学部、生物医学部	
	環境科学研究科 (4)	アジア	オランダ	ユトレヒト大学生物学部	
			チェコ	マサリク大学理学部	
			インドネシア	バンドン工科大学	
			韓国	韓国生産技術研究院光州研究センター	
医工学研究科 (1)	ヨーロッパ	ドイツ	ライプニッツ応用地球科学研究所		
		ウズベキスタン	タシケント国立経済大学		
教育情報学研究部 (1)	アジア	オランダ	エラスムス大学メディカルセンター		
金属材料研究所 (47)	アジア	タイ	チュロンコンーン大学教育学部		
		シンガポール	シンガポール生産技術研究所		
		韓国	韓国科学技術研究院 産業科学技術研究所 釜山大学校生産技術研究所 延世大学校原子スケール表面研究所 漢陽大学校セラミックス工程研究センター 韓国科学技術院電子部品・材料設計人力教育センター 成均館大学校技術革新センター 仁荷大学校工科大学 東義大学校電子セラミックス研究センター 国立昌原大学校基礎科学研究所 高麗大学校・工科大学・材料工学科 釜山大学校素材技術研究所 韓国国立海洋大学校工科大学		
		中国	中国科学院固体物理研究所 中国科学院物理研究所 武漢理工大学 (旧: 武漢工業大学新材料研究所) 清華大学近代物理研究所及び応用物理系 香港科技大学 中国科学院金属研究所 中国科学院上海硅酸塩研究所 大連理工大学材料科学・工程学院 北京航空航天大学材料学院 天津大学材料科学工程学院 (旧: 天津大学材料学院) 中国地質大学 (武漢) 材料科学与化学工程学院		
		台湾	国立台湾大学工学院 財団法人工業技術研究院工業材料研究所		
		アフリカ	エジプト	アシウト大学	
		北米	アメリカ	ペンシルバニア大学工学部 ハーバード大学理工学部 スタンフォード大学シポール先端材料科学研究所 カリフォルニア大学サンタバーバラ校工学部 ヨーク大学電子工学部 ベルギー原子力研究センター材料研究部 ゲッティンゲン大学材料物理学研究所 マックス・プランク金属研究所 カールスルーエ工科大学 (旧: カールスルーエ研究所微細加工技術研究所) ロレーヌ国立総合工科大学 サンティエニス鉱山大学材料構造センター リヨンIクラウドベルナル大学発光材料物理化学研究所 グルノーブル国立理工科大学熱力学物理化学冶金研究所 ピザ大学物理学科 ポーランド真空工学研究所 ポーランド科学アカデミー・物理学研究所 ポーランド電子材料技術研究所 ロシア科学アカデミー・総合物理学研究所 ジョセフ・ステファン研究所 遼寧省腫瘍病院・遼寧省腫瘍研究所 マギル大学モントリオール神経研究所 イリノイ大学工学部・バイオアクステイクス研究所 キューバ・ニューロサイエンス・センター マサリク大学医学部 スモレンスクステートメディカルアカデミー	
			ヨーロッパ	イギリス	ヨーク大学電子工学部
			ベルギー	ベルギー原子力研究センター材料研究部	
			ドイツ	ゲッティンゲン大学材料物理学研究所 マックス・プランク金属研究所 カールスルーエ工科大学 (旧: カールスルーエ研究所微細加工技術研究所)	
			フランス	ロレーヌ国立総合工科大学 サンティエニス鉱山大学材料構造センター リヨンIクラウドベルナル大学発光材料物理化学研究所 グルノーブル国立理工科大学熱力学物理化学冶金研究所	
			イタリア	ピザ大学物理学科	
			ポーランド	ポーランド真空工学研究所 ポーランド科学アカデミー・物理学研究所 ポーランド電子材料技術研究所	
			ロシア	ロシア科学アカデミー・総合物理学研究所	
			スロベニア	ジョセフ・ステファン研究所	
	加齢医学研究所 (6)		アジア	中国	遼寧省腫瘍病院・遼寧省腫瘍研究所
			北米	カナダ	マギル大学モントリオール神経研究所
			アメリカ	イリノイ大学工学部・バイオアクステイクス研究所	
			キューバ	キューバ・ニューロサイエンス・センター	
	ヨーロッパ		チェコ	マサリク大学医学部	
	ロシア		スモレンスクステートメディカルアカデミー		

(平成23年5月現在)

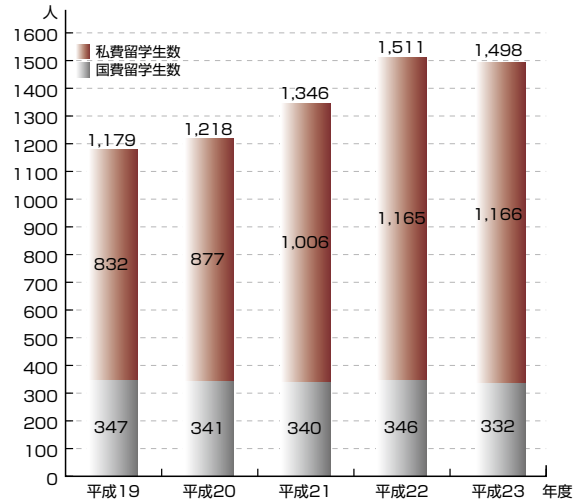
部局名	エリア	国・地域名	協定校名	
流体科学研究所 (25)	アジア	シンガポール	シンガポール国立大学工学部 ナンヤン工科大学機械・航空宇宙工学部	
		韓国	成均館大学校工学部	
		中国	清華大学水利水電工程系 中国科学院理論物理研究所 中国科学院物理研究所 南京航空航天大学機電学院	
		台湾	国立応用研究所・ナノデバイス研究所	
		オセアニア	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学工学部
		北米	カナダ	トロント大学航空宇宙研究所
			アメリカ	シラキュース大学工学部 ケンタッキー大学工学部 ライス大学工学部
		ヨーロッパ	イギリス	クランフィールド大学航空学部
			ドイツ	カールスルーエ工科大学 (旧:カールスルーエ大学流体力学研究所)
			フランス	国立応用科学院リヨン校
	イタリア		トリエステ大学工学部	
	ギリシア		アテネ工科大学機械工学部	
	チェコ		チェコ科学アカデミー・プラズマ物理研究所	
	ハンガリー		ハンガリー科学アカデミー・物理材料技術研究所 ブダペスト工科大学化学・生命工学部 センメルweis大学薬学部	
	ルーマニア		ブカレスト工科大学電気工学部	
	ロシア		ロシア科学アカデミー・シベリア支部理論及び応用力学研究所 モスクワ電力工学研究所 (工科大学) 電力機械工学部	
	電気通信研究所 (5)		アジア	中国
		北米	アメリカ	ラトガース大学ワイヤレスネットワーク研究所 (WINLAB)
		ヨーロッパ	ドイツ	アイエイチビー(IHP-Innovations for High Performance Microelectronics)
			フランス	国立科学研究所マルセイユ・ナノサイエンス学際センター
ポーランド			ポーランド科学アカデミー・物理研究所	
多元物質科学研究所 (27)	アジア	タイ	チェンマイ大学理学部	
		韓国	韓南大学校ハイブリッド材料研究所 成均館大学校情報通信新機能性素材及び工程研究センター	
		中国	東北大学 (旧:東北工学院) 北京大学ナノ科学技術研究センター 長春光学精密機械物理研究所 華僑大学材料科学工程学院 鄭州大学材料工程学院	
		台湾	台湾工業技術研究院南分院	
		北米	カナダ	マギル大学金属プロセス研究センター トロント大学金属・材料科学科
			アメリカ	コロンビア大学化学科 コロンビア大学理工学部地球・環境工学科 ユタ大学金属工学科
				ヨーロッパ
		ドイツ	ベルリン自由大学物理学科 イエナ・フリードリッヒ・シラー大学固体物理研究所 結晶成長研究所 マックスプランク核物理研究所	
		フランス	アルピニョ山大学	
		イタリア	トリエステ放射光研究所	
	ルーマニア	レーザー・プラズマ・放射物理国立研究所		
	ロシア	ロシア科学アカデミー・固体物理学研究所 トムスク工科大学原子核物理研究所 ロシア科学アカデミー・レベデフ物理研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部自動制御プロセス研究所		
	ウクライナ	材料科学基礎国立研究所		
	東北アジア研究センター(10)	アジア	韓国	高麗大学校中国学研究所 高麗大学校日本学研究センター
			モンゴル	モンゴル科学技術大学ジオサイエンスセンター(旧:モンゴル技術大学ジオサイエンスセンター)
			中国	広東省民族研究所 内モン古師範大学蒙古学学院 内モン古大学蒙古学学院
		ヨーロッパ	ロシア	ロシア科学アカデミー・シベリア支部 V.N. スカチ ヨフ森林研究所 ユゴラ情報技術研究所 ロシア科学アカデミー・極東支部経済研究所 ロシア科学アカデミー・シベリア支部人文学・北方民族問題研究所
			サイクロトロン RI センター(1)	アジア
	未来科学技術共同研究センター(1)	北米	アメリカ	アリゾナ大学
	学際科学国際高等研究センター(3)	アジア	韓国	国立昌原大学校産業技術研究院
			中国	山西経済管理幹部学院
		北米	アメリカ	スタンフォード大学集積化システム研究センター
	原子分子材料科学高等研究機構 (6)	アジア	韓国	浦項工科大学校先端材料科学機構 香港科技大学科学部 中国科学院化学研究所
			中国	中国科学院化学研究所
			北米	アメリカ
		ヨーロッパ	イギリス	ユニバーシティカレッジロンドン (UCL)・数物科学部 (MAPS) ケンブリッジ大学材料科学・金属学部

研究者等受入状況

教職員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数の推移



外国人留学生受入数の推移



海外拠点

リエゾンオフィス

締結機関 (設置場所)	国名 (締結日)	オフィス名	世話部局
① ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (ノボシビルスク学術センター)	ロシア (1997年 9月22日)	東北大学とロシア科学アカデミーシベリア支部間の共同ラボラトリノボシビルスク分室	東北アジア研究センター
② ニューサウスウェールズ大学 (国際交流センター)	オーストラリア (2002年 5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究科
③ モスクワ国立大学 (物理学部)	ロシア (2002年 6月21日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 金属材料研究所
④ シラキュース大学 (計算機科学・工学部)	アメリカ (2003年11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑤ 韓国科学技術院 (機械工学部)	韓国 (2003年12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑥ 国立応用科学院リヨン校 (金属材料物理研究所)	フランス (2004年 1月23日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所
⑦ 大連理工大学 (材料科学工程学院)	中国 (2005年10月 7日)	大連理工大学材料科学工程学院・東北大学金属材料研究所共同研究センター	金属材料研究所
⑧ 国立熱帯医学研究所 (国立熱帯医学研究所)	フィリピン (2007年 5月 1日)	新興・再興感染症研究センター	医学系研究科
⑨ 東部ビザヤ地域医療センター (東部ビザヤ地域医療センター)	フィリピン (2008年 1月11日)	新興・再興感染症研究センター・タクロバンオフィス	医学系研究科

海外事務所

	設立	
⑩ 米国代表事務所 Tohoku University US Office	2006年 5月24日	
⑪ 中国代表事務所 Tohoku University China office	2007年 4月20日	
⑫ ロシア代表事務所 Tohoku University Russia Office	2010年 9月11日	
⑬ ロシア代表事務所シベリア支部 Tohoku University Russia Office Siberia Branch	2010年 9月11日	



外国人留学生数

外国人留学生数(国・地域別、費用、学籍別)

(平成23年5月1日現在)

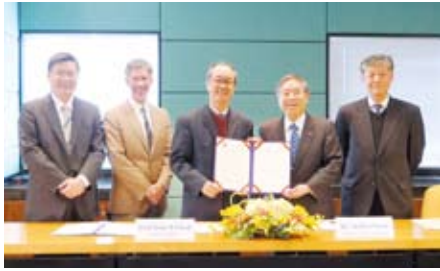
地域	国・地域	費用別人数						計	学籍別人数											
		国費		私費					学部生	大学院生			研究生			その他				
		男	女	政府派遣		その他				博士・前期	博士・後期	博士・四年	学部	大学院	研究所等	日本語研修コース	特別聴講学生(学部)	特別聴講学生(大学院)	特別研究生	科目等履修生
				男	女	男	女													
アジア (17カ国・地域) 1,294人 86.3%	インド	8	1			3	1	13	1	1	9	1				1				
	インドネシア	19	10	5	2	12	9	57	5	17	27	3	1		1	3				
	韓国	30	11	2		98	50	191	34	46	95	3	2	1	2		7		1	
	カンボジア	2	1					3	3											
	スリランカ		3					3			2						1			
	タイ	7	8	2	1	4	9	31	2	9	11			1	1	2	5			
	台湾					20	20	40	1	13	13	1	5				5			2
	中国	40	17	17	10	336	385	805	31	410	201	21	87	7	16		20		12	
	ネパール	3				1		4	1	2	1									
	パキスタン	2				1		3			2						1			
	バングラデシュ	13	1			6	4	24	1	2	15	4		1	1					
	フィリピン	7	2					10		2	5	1		2						
	ブルネイ		1					1			1									
	ベトナム	14	3	1		8	6	32	10	8	12								2	
	マレーシア	3	5	20	15	4		47	29	4	10	1	1	1		1				
	ミャンマー	1	2					4			3		1							
	モンゴル	5	8		1	5	7	26	7	3	10	1	3	1	1					
	中近東 (8カ国・地域) 39人 2.6%	イエメン	2						2		1	1								
		イラン	5	2			3	6	16	6	7	2	1							
		オマーン	1						1			1								
サウジアラビア				2				2				2								
トルコ		7	1	1		5	1	15		4	10			1						
バーレーン		1						1		1										
パレスチナ		1						1				1								
ヨルダン			1					1								1				
アフガニスタン								1												
アフリカ (15カ国・地域) 28人 1.9%		ウガンダ					1		1				1							
	エジプト	2		2		2	2	8		2	4	2								
	エチオピア	2						2		1	1									
	カメルーン					1		1		1										
	ガーナ		1					1		1										
	ケニア		1					1	1											
	コンゴ民主共和国	2						2			1	1								
	ザンビア	1						1								1				
	シエラレオネ	1						1							1					
	スーダン	1						1		1										
	タンザニア	1						1			1									
	ナイジェリア	1						1			1									
	モザンビーク	1						1			1									
	モロッコ	1			1			2			2									
	リビア	4						4		1	3									
	オセアニア (3カ国・地域) 4人 0.3%	オーストラリア	1				1		2		1			1						
		ソロモン	1						1								1			
		トンガ		1					1								1			
北米 (2カ国・地域) 18人 1.2%	アメリカ合衆国	3	1			11	2	17	1	6	6						4			
	カナダ	1						1								1				
中南米 (12カ国・地域) 37人 2.5%	エクアドル	1						1		1										
	キューバ					1		1			1									
	コロンビア	1				1		2			2									
	チリ	1						1		1										
	ニカラグア					1		1				1								
	パナマ	1	1					2		1	1									
	ブラジル	8	1			2		11	2	2	3	3				1				
	ベネズエラ	2	1			1		4		3		1								
	ペルー	5						5	1	1	1					2				
	ボリビア		1			1		2					1			1				
	ホンジュラス	2						2		1						1				
	メキシコ	4	1					5		2	2					1				
	ヨーロッパ (27カ国・地域) 78人 5.2%	アイスランド	2						2		1					1				
		アイルランド					1		1			1								
アゼルバイジャン						1		1			1									
アルバニア						1		1	1											
イギリス		2				1		3		1	2									
イタリア						2	2	4			2							2		
ウズベキスタン							1	1			1									
エストニア			1					1			1									
オーストリア			1					1			1									
キルギス			1			1		2		1			1							
スウェーデン						10	2	12		1							5			
スペイン						2		2			1								1	
スロバキア			1				1	2	1			1								
デンマーク						1		1									1			
ドイツ						3	2	5			3						1		1	
トルクメニスタン			1					1			1									
ブルウェー		1						1			1									
ハンガリー		2	1					3			1		1				1			
フィンランド						2	1	3									3			
フランス		1				12	1	14		1	8						1	1	3	
ブルガリア		2						2		1			1							
ボスニア・ヘルツェゴビナ		1						1		1										
ポルトガル			1					1						1						
ポーランド		1	1			1	1	4			1	1	1	1			1			
リトアニア		1						1		1										
ルーマニア		1	1				1	3		1	1	1								
ロシア		1	3					5		1	3						1			
合計(84カ国・地域)			234	98	52	29	568	517	1,498	135	569	487	53	104	19	22	19	61	3	26

(平成23年5月1日現在)

外国人留学生数(国・地域別、部局別)

地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																								
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	経済学部・経済学研究科	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	会計大学院	金属材料研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	東北アジア研究センター	学際型国際高等研究センター	高等教育開発推進センター	原子分子材料科学高等研究機構
アジア (17カ国・地域)	インド	13				1	1		1	7				1	1											1	
	インドネシア	57	6			2	7	3		24	5		3		5	1										1	
	韓国	191	13	5	4	14	8	8	3	2	92	5	16	8	3	5	2	1				1	1				
	カンボジア	3				1				1	1																
	スリランカ	3	1							1	1					1											
	タイ	31	4			5	2	1		9		1	4	1	1								1			2	
	台湾	40	9	4		3	2	3		8	2	8				1											
	中国	805	74	15	26	117	42	49	5	20	173	39	77	65	11	46	8	18	4	3	2	2	3	6			
	ネパール	4					1				2				1												
	パキスタン	3				1	1																			1	
	バングラデシュ	24	1			2	5	5		2	6				1	1									1		
	フィリピン	10					1	1			1	3		2	1	1											
	ブルネイ	1																									
	ベトナム	32				5	4			2	16		1	2		2											
	マレーシア	47				4	2	1		1	33	2	1		1	1										1	
	ミャンマー	4								2		1			1	1											
	モンゴル	26	1	3		5	3	1		3	1	5	1		2									1			
中近東 (8カ国・地域)	イエメン	2				1				1																	
	イラン	16	2				3	3	1	4				1	1		1										
	オマーン	1								1																	
	サウジアラビア	2							2																		
	トルコ	15					1			9	1	2	1	1													
	バーレーン	1											1														
	パレスチナ	1							1																		
	ヨルダン	1																								1	
	アフリカ (15カ国・地域)	ウガンダ	1								1																
		エジプト	8					1	3							1	3										
エチオピア		2					1			1																	
カメルーン		1							1																		
ガーナ		1								1																	
ケニア		1								1																	
コンゴ民主共和国		2							1	1																	
ザンビア		1								1																1	
シエラレオネ		1																								1	
スーダン		1									1																
タンザニア		1												1													
ナイジェリア		1									1																
モザンビーク		1												1													
モロッコ		2									2																
リビア		4							3		1																
オセアニア (3カ国・地域)	オーストラリア	2					1		1																		
	ソロモン	1																								1	
	トンガ	1																								1	
北米 (2カ国・地域)	アメリカ合衆国	17	2				3			7		2	2		1												
	カナダ	1																								1	
中南米 (12カ国・地域)	エクアドル	1													1												
	キューバ	1												1													
	コロンビア	2								2																	
	チリ	1												1													
	ニカラグア	1							1																		
	パナマ	2					1			1																	
	ブラジル	11	1					1	3		2				1	1	1									1	
	ベネズエラ	4					1			1			1		1												
	ペルー	5					1			2																2	
	ボリビア	2														1										1	
	ホンジュラス	2									1															1	
	メキシコ	5					1	1						1	1											1	
ヨーロッパ (27カ国・地域)	アイスランド	2	1																							1	
	アイルランド	1				1																					
	アゼルバイジャン	1											1														
	アルバニア	1					1																				
	イギリス	3	1			1					1																
	イタリア	4	2			1		1																			
	ウズベキスタン	1																								1	
	エストニア	1					1																				
	オーストリア	1												1													
	キルギス	2	1				1																				
	スウェーデン	12	3					4			1		1	1		2											
	スペイン	2									2																
	スロバキア	2							1	1																	
	デンマーク	1								1																	
	ドイツ	5					2		1		1			1													
	トルクメニスタン	1						1																			
	ノルウェー	1									1																
	ハンガリー	3	1												1	1											
	フィンランド	3									2																
	フランス	14	1				4		1		4		1	2								1					
	ブルガリア	2						1						1													
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1									1																
	ポルトガル	1																								1	
ポーランド	4	1				1			1					1													
リトアニア	1								1																		
ルーマニア	3								1	1																	
ロシア	5	2				3																					
合計(84カ国・地域)	1,498	127	27	42	171	102	92	12	29	431	59	120	103	23	79	16	20	4	3	2	3	5	7	1	19	1	

国際交流戦略の基本指針等



香港科技大学との大学間学術交流協定調印



Tohoku University Engineering Summer Program



第5回東北大学中国校友会総会

国際交流戦略の基本指針

2005年3月8日 東北大学

東北大学は、真理を探究して、新たな知識の創造とその普及に努め、それによって、人類が尊厳を保ちながら平和のうちに共生する社会の実現に貢献することを使命にしている。より具体的には、本学は、多様な分野の学芸が集い相互に協力・刺激し合いながら研鑽を積む総合大学として、世界と歴史の知の成果に学び、現在と未来の学問的課題を見極め、新たな知識の発見・創出と社会における公開・応用に取り組むと共に、知を以て人類社会に貢献する意欲と能力を備えた人材を育成することを目指すものである。

本学は、既にこれまで1世紀の間、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」を精神的支柱として掲げてきた。このことは、本学構成員が、開学以来一貫して、研究・教育の国際化が本学の使命・目標を達成するための不可欠の条件をなすと明確に意識してきたことを示している。

近年に目を向けると、本学は、2000年8月に国際交流を通じて世界最高水準の研究・教育拠点作りを目指すことを世界に向けて宣言した。また、2004年4月の法人化に当たり、本学は、「国際競争力のある研究・教育拠点」として発展することを主要目標に挙げた。さらに2004年11月には、本学が今後、「Tohoku University, Creating Global Excellence」(「東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します」)を標榜することを表明した。

このような宣言・表明からも明らかなように、今日、国際交流の推進は、本学の使命・目標の達成にとってますます重要な位置を占めるものとなっている。また、それ故に、今後の国際交流の立案・実施に当たっては、それを本学の使命・目標の実現に可能な限り役立てるという戦略性が強く求められるに至っている。

したがって、本学は、今後、以下の主要目的を最大限に果たすことを基本指針にして国際交流戦略を立案・実行していかなければならない。

- (1) 国際学術ネットワークを通じた世界最高水準の研究を推進する。
- (2) 広く世界から意欲と能力を備えた俊秀を受け入れて世界の発展に役立つ指導的人材を育成する。
- (3) 研究教育を国際社会に発信するとともに、国際貢献に活用する。
- (4) 上記を達成するために研究・教育基盤を強化し、本学の国際的知名度・信頼性を向上させる。

国際的な大学連合への加盟

(2011年5月1日現在)

	環太平洋大学協会 (APRU) (Association of Pacific Rim Universities)	東アジア研究型大学協会 (AEARU) (The Association of East Asian Research Universities)	T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe)
設立年月	1997.6	1996.1	1989.10
設立の経緯	環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として設立された。 日本からは、慶應義塾大学、京都大学、大阪大学、東北大学、東京大学、早稲田大学が加盟。	東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、および教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として設立された。 日本からは、京都大学、大阪大学、東北大学、東京工業大学、東京大学、筑波大学が加盟。	ヨーロッパの理工系大学間において、修士課程レベルでのダブル・ディグリープログラムによる交流を通じてトップレベルのエンジニアを養成することを視野に入れて設立された。 ヨーロッパ以外では、ブラジルのサンパウロ大学、日本の慶應義塾大学及び東北大学、中国の西安交通大学が加盟。
加盟国・地域 (加盟大学)	16(42)	4(17)	21(54)
本学の加盟年	2008年	1998年	2007年

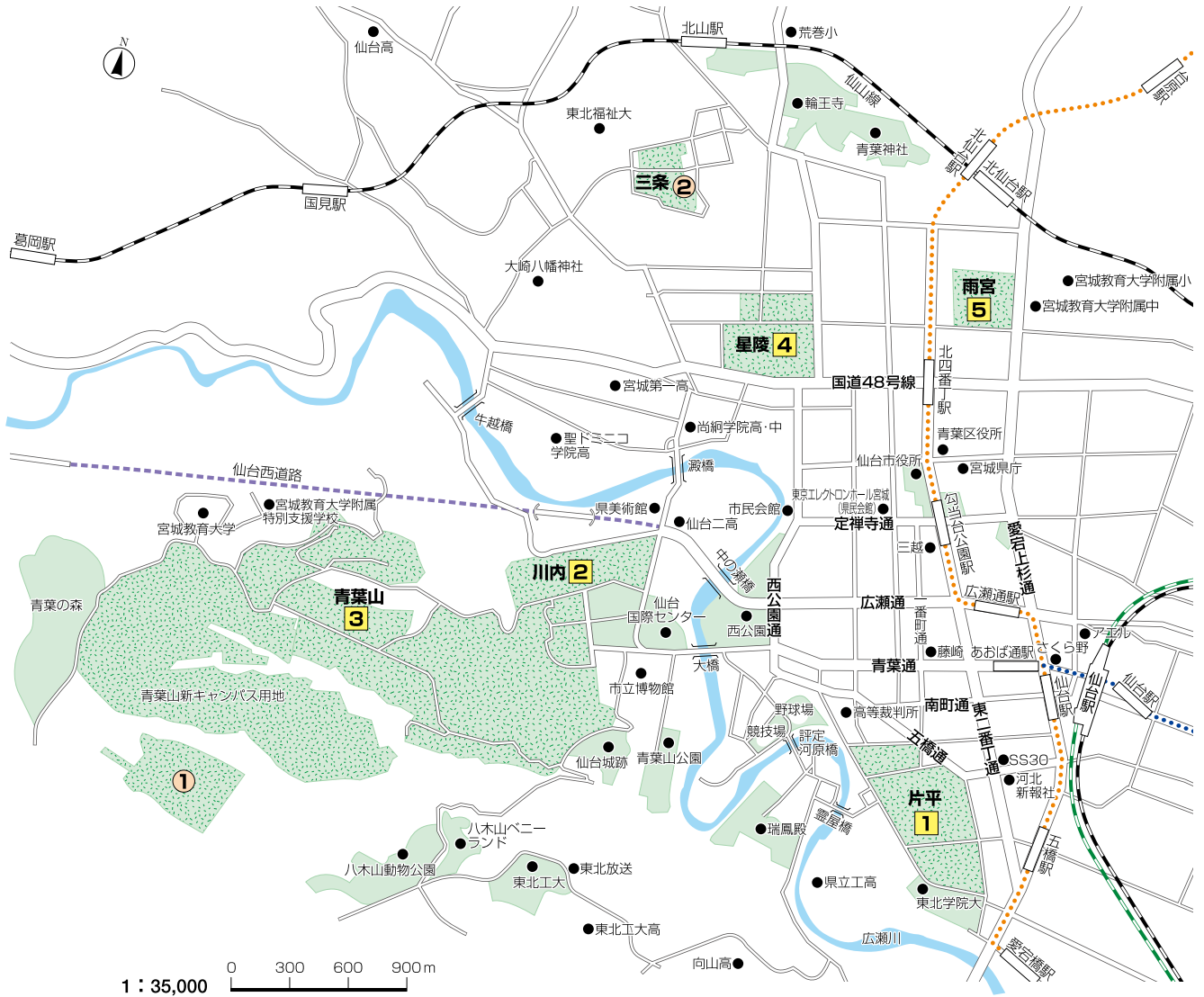


キャンパス

施設所在地一覧

主要地区

- 1 片平キャンパス 2 川内キャンパス 3 青葉山キャンパス 4 星陵キャンパス 5 雨宮キャンパス



施設所在地一覧

その他の地区

施設名	住所・郵便番号 (県名のないものは宮城県)	代表電話番号
① 西澤潤一記念研究センター(マイクロシステム融合研究開発センター)	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
② 国際交流会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(275)9901
③ 電子光物理学研究センター	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3440
④ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏観測所	〒986-2204 牡鹿郡女川町桐ヶ崎字桐ヶ崎	0225(53)3374
⑤ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986-2242 牡鹿郡女川町小乗浜字向15	0225(53)2436
⑥ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター (教育関係共同利用拠点)	〒989-6711 大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
⑦ 川渡共同セミナーセンター	〒989-6711 大崎市鳴子温泉字原75	0229(84)7309
⑧ 生命科学研究所附属水生生態系野外実験施設	〒989-4104 大崎市鹿島台町広長字内ノ浦134-2	0229(56)2020
⑨ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏観測所	〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原	0224(34)2743
⑩ 生命科学研究所附属浅虫海洋生物学教育研究センター	〒039-3501 青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑪ 学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	〒030-0111 青森県青森市大字荒川字南荒川山1-1	017(738)0621
⑫ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (秋田県地震観測所)	〒011-0936 秋田県秋田市將軍野南1-14-46	018(845)8716
⑬ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (本庄地震観測所)	〒015-0091 秋田県由利本荘市大築	0184(29)2124
⑭ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (三陸地震観測所)	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
⑮ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (遠野地震観測所)	〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
⑯ 金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町2145-2	029(267)3181
⑰ 金属材料研究所附属研究施設関西センター	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-2 大阪府立大学内 産学官連携機構3階	072(254)6372
⑱ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏観測所	〒960-1636 福島県相馬郡飯舘村前田	0244(42)0530
⑲ ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506-1205 岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
⑳ 東北大学東京分室	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階	03(3218)9612
㉑ 東北大学米国代表事務所 (Tohoku University US Office)		
㉒ 東北大学中国代表事務所 (Tohoku University China Office)	北京市中关村北四环西路33号 中国科学院文献情报中心616号室 日本学術振興会北京研究連絡センター内	+86-10-6253-8332
㉓ 東北大学ロシア代表事務所 (Tohoku University Russia Office)	Department of Low Temperature Physics and Superconductivity, Faculty of Physics, M.V.Lomonosov Moscow State University, Leninskie gory, 1, Moscow 119899, Russia	+7-495-961-4489
㉔ 東北大学ロシア代表事務所シベリア支部 (Tohoku University Russia Office Siberia Branch)	Exhibition Center, Zolotodolinskaya Street, 11, Novosibirsk, 630090, Russia	+7-383-330-2392
㉕ 東北大学大学院環境科学研究科エネルギー・セキュリティー学 (JAPEX) 寄附講座 (インドネシア・バンドン工科大学内)	JL Ganesha 17, Bandung, 40132, Indonesia Institut Teknologi Bandung	+62-22-2510-440

学寮、ユニバーシティ・ハウス

施設名称	概要	所在地	電話番号
日就寮 (男子)	収容定員103名	〒982-0832 仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-1858
以文寮 (男子)	// 96名	〒982-0832 //	022-229-5392
霽風寮 (男子)	// 81名	〒982-0832 //	022-229-4954
如春寮 (女子)	// 64名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857
明善寮 (男子)	// 160名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目3-2	022-234-0134
松風寮 (男子)	// 150名	〒980-0011 //	022-275-1221
ユニバーシティ・ハウス三条 (男子、女子、留学生)	// 416名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305

課外活動施設

施設名称	住所	代表電話番号
評定河原運動場・合宿所	〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1	
名取ボート艇庫・合宿所	〒981-1201 名取市下増田字屋敷10-1	022-384-0455
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園5-50	048-447-0658
七ヶ浜ヨット艇庫・合宿所	〒985-0802 宮城県七ヶ浜町吉田浜字 浜屋敷61-5	022-357-2659
秋雪ヒュッテ	〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉 荒敷820-1	0236-94-9094
清溪小屋	〒980-0800 刈田郡蔵王町字倉石岳 国有林305口林小班	
片平中央体育館	〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1	
片平 (1・2・4・5・6) ホール	//	
片平武道場	//	
片平テニスコート	//	
富沢野球場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-5	
富沢自動車部練習場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-6	
青葉山馬場	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	
川内ホール	〒980-8576 仙台市青葉区川内41	
川内サークル会館	//	
課外活動施設A	//	
サークル部屋E・F・G	//	
川内サブアリーナ棟	//	

国際交流会館

区分	(入居収容室数)			
	単身室	夫婦室	家族室	計
留学生	147	42	31	220
研究者	12	14	8	34
計	159	56	39	254



ロシア代表事務所

建物配置図

片平キャンパス

●土地: 237,563㎡ ●建物: 169,133㎡ (平成23年4月1日現在)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 電話番号案内 022(717)7800

大学本部、研究所



エクステンション教育研究棟

- 総長室経営企画スタッフ室、総務部総務課 25
- 総務部法務課、総務部人事課、財務部、研究協力部、産学連携推進本部 29
- 監査室、利益相反マネジメント事務局 29
- 総務部広報課、情報公開室 28
- 施設部 33
- 情報部情報推進課 27
- 国際交流課 30
- 環境・安全推進室 39

- エクステンション教育研究棟 70
- 法科大学院、公共政策大学院事務局 70
- ジェンダー平等と多文化共生研究センター 70
- 会計大学院 34 70
- 経済学研究科地域イノベーション研究センター 70

- 生命科学研究所 事務室 35
- 生命科学研究所棟 36
- 生命科学プロジェクト総合研究棟 35
- 環境制御実験棟 37
- 医工学研究所 研究室 57
- 金属材料研究所 事務室 9
- 附属金属ガラス総合研究センター 13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター 14
- 本多記念館 9
- 金研1号館 10、2号館 11、3号館 12、4号館 17
- 金研10号館(放送大学宮城学習センター) 1
- 共同研究プロジェクト棟 4
- 金研スーパーコンピュータ棟 5
- アルファ放射体実験室 6
- 金研技術棟 7 8
- 金研共通ラボ棟 15
- 金研国際教育研究棟(COE棟) 16
- 流体科学研究所 事務室 40
- 附属流体融合研究センター 40
- 流体研1号館 40、2号館 42、3号館 43
- 高速流実験棟 44
- 衝撃波学際応用実験棟 45
- 環境流体研究棟 67
- GCOE棟 41
- ジョイントラボ棟 46
- 電気通信研究所 事務室 60
- 附属ブレインウェア実験施設 62 63 65
- 附属ナノ・スピニング実験施設 57
- 附属21世紀情報通信研究開発センター 68 69
- 通研1号館 59、2号館 60 61
- 研究基盤技術センター 評価部 64

- 多元物質科学研究所 事務部棟 49
- 多元研素材工学研究棟 50 51 52
- 多元研反応化学研究棟 19 21
- 多元研科学計測研究棟 22 23
- 多元研工場棟 24
- 多元研工業化試験工場(共同研究棟) 53
- 材料・物性総合研究棟 55 56
- 原子分子材料科学高等研究機構(WPI-AIMR) 事務室 15
- WPI-AIMR研究棟 17
- WPI-AIMRアネックス 20

- 史料館 22
- 研究教育基盤技術センター片平分室 35
- 極低温科学センター 3
- 百万ボルト電子顕微鏡室 31
- 埋蔵文化財調査室 33 38
- 省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター 57

- キャンパス計画室 33
- 片平会館 2
- 厚生施設(北門食堂) 18
- 片平さくらホール 54
- 文化財収蔵庫 47
- 厚生施設(片平売店) 48
- 厚生施設(学生ホール) 59
- 体育館 66



建物配置図

2川内キャンパス

人文社会科学学部、全学教育

●土地:818,641㎡ ●建物:128,991㎡ (平成23年4月1日現在)

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41
 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1
 電話番号案内 022(717)7800



- 教育・学生支援部(管理棟) ⑦
- 教育・学生支援部入試課 ⑱
- 教育・学生支援部留学生課 ①
- 附属図書館 本館 ⑳

- 文学部・文学研究科 事務室 ㉒
- 文学研究科・法学研究科合同研究棟 ㉔
- 教育学部・教育学研究科 事務室 ㉕
- 文科系総合研究棟 ㉖
- 法学部・法学研究科 事務室 ㉓
- 経済学部・経済学研究科 事務室 ㉑
- 経済学研究科演習室 ㉙ ㉚
- 国際文化研究科 事務室 ⑥
- 附属言語脳認知総合科学研究センター ⑥
- 教育情報学研究部・教育情報学教育部 事務室 ㉗

- 東北アジア研究センター ③
- 東北アジア研究センター分室 ⑱
- 高等教育開発推進センター ③
- 保健管理センター・学生相談所・ハラスメント全学学生相談窓口 ④
- 入試センター ⑱

- キャリア支援センター ⑦
- 植物園本館 ㉓
- 植物園記念館 ㉔

- 国際交流センター ①
- 教養教育院 ⑦
- 教育情報基盤センター ⑪

- 学生実験棟 ②
- 川北合同研究棟 ③
- 講義棟 A棟 ⑧、B棟 ⑨、C棟 ⑩
- マルチメディア教育研究棟 ⑪
- サークル部室 ⑤ ⑫
- 厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) ⑬
- 川内体育館 ⑮
- 川内ホール ⑯
- 課外活動室A棟 ⑰
- 川内サークル会館 ⑱
- 川内サブアリーナ棟 ⑭
- 百周年記念会館(川内萩ホール) ㉒
- 中講義棟 ㉖
- 大講義棟 ㉗
- 文科系合同研究棟 ㉘
- 厚生施設(文系食堂) ㉙

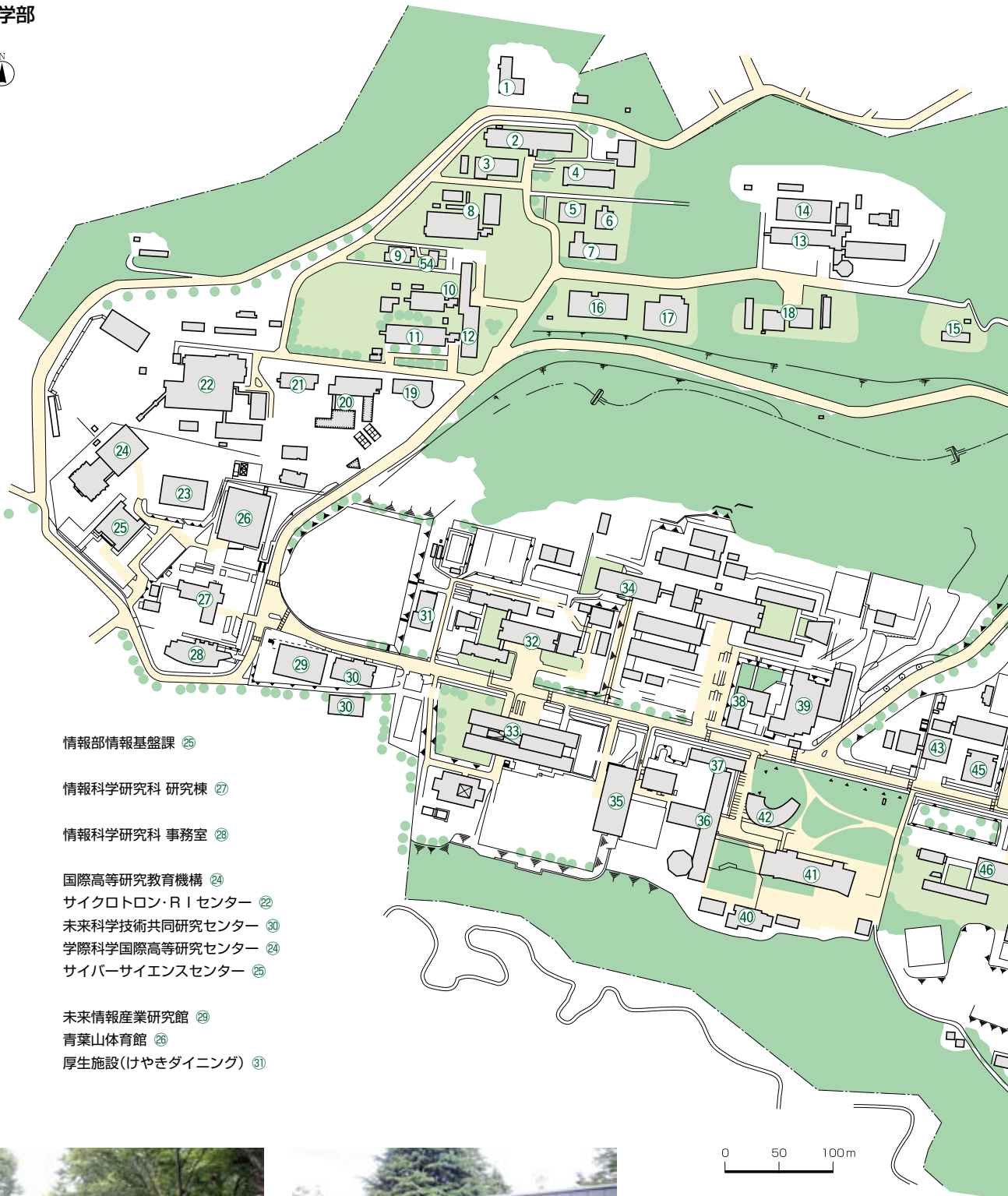


川内キャンパス



3 青葉山キャンパス

理工系学部



情報部情報基盤課 25

情報科学研究科 研究棟 27

情報科学研究科 事務室 28

国際高等研究教育機構 24

サイクロトロン・RIセンター 22

未来科学技術共同研究センター 30

学際科学国際高等研究センター 24

サイバーサイエンスセンター 26

未来情報産業研究館 29

青葉山体育館 26

厚生施設(けやきダイニング) 31



青葉山キャンパス



けやきダイニング

●土地:784,239㎡ ●建物:297,547㎡ (平成23年4月1日現在)

工学研究科・工学部・環境科学研究科・医工学研究科 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
 工学研究科・工学部・環境科学研究科・医工学研究科以外 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
 電話番号案内 022(717)7800

附属図書館 北青葉山分館 ⑰

- 理学部・理学研究科 事務室(管理棟) ⑫
- 附属巨大分子解析研究センター ⑨
- 附属大気海洋変動観測研究センター ⑳
- 附属惑星プラズマ・大気研究センター ㉑
- 附属地震・噴火予知研究観測センター ⑸
- ニュートリノ科学研究センター ⑱
- 超伝導核磁気共鳴装置室 ⑤④
- 数学棟 ⑦
- 物理棟 ②③④
- 化学棟 ⑧
- 地学棟 ⑪
- 生物棟 ⑩
- 理学系総合研究棟 ㉒
- 大講義棟 ⑤
- 数理科学記念館 ⑥
- 自然史標本館 ⑲
- 薬学研究科・薬学部 事務室 ⑬
- 附属薬用植物園 ⑮
- 応用薬学総合研究棟 ⑭
- 生命科学研究科 研究室 ⑧⑩⑳㉑
- 総合学術博物館 ⑲
- 極低温科学センター ①
- 厚生施設(理薬生協) ⑯

附属図書館 工学分館 ㉓

- 工学部・工学研究科 事務室(中央棟) ④①
- 工学部・工学研究科 事務室(管理棟) ③⑥
- 附属災害制御研究センター ⑤⑤
- 附属エネルギー安全科学国際研究センター ⑤⑤
- 附属超臨界溶媒工学研究センター ⑤⑤
- 技術社会システム専攻事務室 ⑤⑤
- 附属マイクロ・ナノマシニング研究教育センター ④⑦
- 機械・知能系事務室 ④④
- 電子情報システム・応物系事務室 ③④
- 化学・バイオ系事務室 ③②
- マテリアル・開発系事務室 ③⑥
- 人間・環境系事務室 ③⑥
- 工学系総合研究棟 ③⑤
- 創造工学センター ③⑧
- 応用物理研究棟 ②⑦
- 建築実験所 ②③
- 環境科学研究科 事務室 ④③
- エコラボ ④⑤
- 医工学研究科 事務室 ③⑥
- 研究室 ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓
- 環境保全センター ⑤⑩
- ハッチェリースクエア ③⑦
- 厚生施設(あおば食堂) ④①
- 青葉記念会館 ④①
- 厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) ④⑧
- 自動車の過去・未来館 ④⑨
- 厚生施設[B000K](ブックカフェ、売店) ④②

青葉山植物園ゲート



エコラボ

4 星陵キャンパス

●土地: 179,214㎡ ●建物: 274,973㎡ (平成23年4月1日現在)

医・歯学部、病院

病院 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
 医学部・医学系研究科 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
 歯学部・歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
 電話番号案内 022(717)7000



附属図書館 医学分館 37

- 病院 事務室(管理棟) 31
- 外来診療棟 35
- 中央診療棟 32
- 総合研究施設棟(仮称) 27
- 西病棟 28
- 東病棟 29
- 南病棟 30

- 医学部・医学系研究科 事務室 19
- 医学部O号館 16
- 1号館 19
- 2号館 33
- 3号館 34
- 4号館 17
- 5号館 21
- 保健学科 12 13
- フロンティア研究棟 14
- プリオン研究実験棟 23
- 動物実験施設 24
- 実習講義棟 18
- 臨床講義棟 35
- 創生応用医学研究センター 20
- オートシー・イメージングセンター 12
- 環境遺伝医学総合研究センター 19

- 歯学部・歯学研究科 事務室 8
- 基礎研究棟 6
- 実習講義棟 9
- 臨床研究棟 10

- 生命科学研究科 研究室 3
- 医工学研究科 研究室 3 17 19 20 21 33 34
- 医工学実験棟 21
- 加齢医学研究所 事務室 4
- 加齢研実験研究棟 3
- プロジェクト総合研究棟 4
- スマート・エイジング国際共同研究センター棟 39
- ブレインイメージング研究棟 6
- ブレインダイナミクス研究棟 7
- 腫瘍動物実験棟 5
- 先進フロンティア研究棟 11
- 遺伝子実験センター 4
- 未来医工学治療開発センター 27 28

- RI星陵サブセンター 25
- 星陵学生サークル棟 1
- 星陵体育館 2
- 厚生施設(星陵会館) 15
- 医学部長陵会館 36
- 動物実験センター 26
- 臨床薬学教育研究棟 22



医学部棟

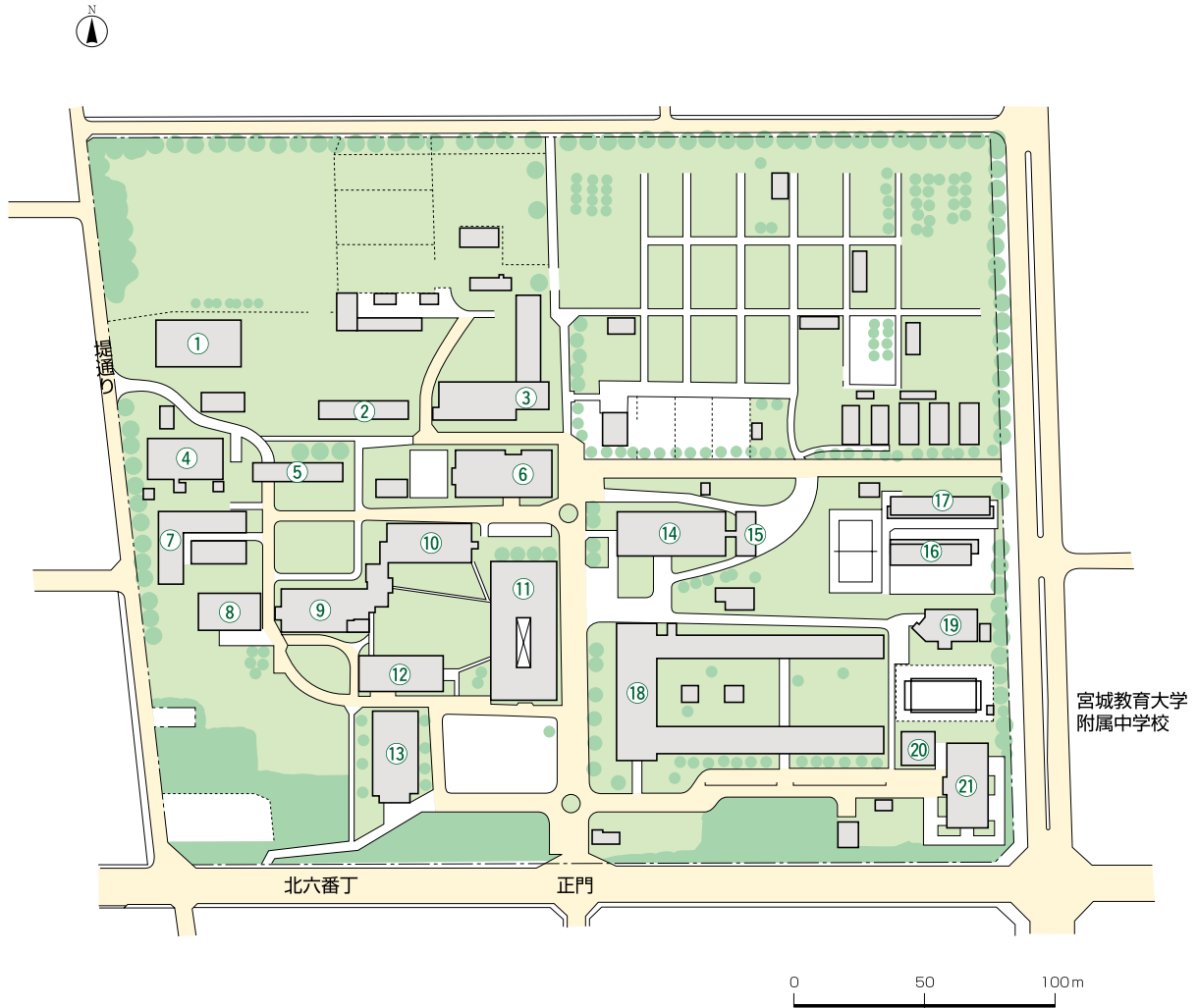
建物配置図

5 雨宮キャンパス

●土地:92,746㎡ ●建物:31,297㎡(平成23年4月1日現在)

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 電話番号案内 022(717)8603

農学部



附属図書館 農学分館 ⑥

農学研究科 事務室(管理棟) ⑫

農学研究科本館 ⑮

第一研究棟 ⑨

第二研究棟 ⑩

研究実験棟第一 ⑮

研究実験棟第二 ⑰

研究実験棟第三 ⑤

研究実験棟第四 ②

研究実験棟第五 ⑳

動物飼育実験棟 ③

食品加工実験棟 ④

水産生物飼育実験棟 ⑦

植物環境応答実験施設 ㉑

講義棟 ①

講堂 ①

R1実験施設 ⑰

パワーセンター ⑧

旧体育館 ⑬

厚生施設 ⑭

学生談話室 ⑮



雨宮キャンパス

東北大学概要 2011

●
【編集・発行】
平成23年8月

東北大学総務部広報課

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
Tel.022-217-4977

●
<http://www.tohoku.ac.jp/>

